

Canon

動画ディスプレイ

DP-V3010

使用説明書

ご使用前に、必ずこの使用説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、この使用説明書はいつでもご覧になれるよう、大切に保管してください。

日本語

目次

はじめに	4
本書について	4
商標	4
規格	4
安全上のご注意	5
取り扱い上のご注意	9
本機の特長	10
付属品の確認	12
各部名称	13
ディスプレイ本体	13
ディスプレイコントローラー	15
設置／接続のしかた	17
本体の持ち運びかた	17
転倒・落下防止の処置をする	17
本体と入力機器を接続する	18
本体とディスプレイコントローラーを接続する	21
ディスプレイコントローラーをラックに取り付ける	22
本体をスタンドや壁に取り付ける	23
電源の入れかた	24
本体の電源を入れる	24
ディスプレイコントローラーから本体の電源を入れる	24
ペアリングのしかた	25
本体とディスプレイコントローラーのペアリングをする	25
再度ペアリングをする	26
ディスプレイコントローラーの操作のしかた	27
画質を調整する	27
CDLで画質を調整する	27
調整値を一時保存する(アンカーポイントの設定)	28
ファンクション(F)ボタンを使う	28
チャンネル(CH)ボタンを使う	29
信号情報や本体の状態を確認する	29
OSDメニューの操作のしかた	30
基本操作	30
映像全体を見ながら画質を調整する	31
PCレスでキャリブレーションする	33
エクスポート／インポートする	34
日時を設定する	36
文字を入力する	37

OSDメニュー	38
OSDメニューインデックス	38
画質設定	43
チャンネル設定	53
ディスプレイ設定	55
マーカー設定	58
ファンクション設定	63
システム設定	68
シグナルインフォメーション	72
システムインフォメーション	72
主な仕様／性能	73
ディスプレイ本体	73
ディスプレイコントローラー	74
外形寸法	75
付録	76
対応信号フォーマット	76
画像・フレーム表示	91
エラーメッセージ	93
こんなときは	95
保証書と修理対応	97
修理について	98
本機で使用しているソフトウェアについて	99
索引	101

はじめに

このたびは、動画ディスプレイDP-V3010をご購入いただき、誠にありがとうございます。
ご購入時、本機のOSD(On Screen Display)メニューや表示されるメッセージは、英語表記になっています。必要に応じて、OSDメニューで言語を切り換えてください(68)。

本書について

本書では、見やすくするために加工した画面を一部、使用しています。

本文中の表記

- 📖：参照ページを示します。
- 📝：メモ：知っておいていただきたいことを示します。
- 📄：参考：参考情報を示します。
- 🚫：ご注意：守っていただきたいことを示します。

商標

- DisplayPortおよびVESAは、Video Electronics Standards Associationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

規格

この装置はクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると、電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。









VCCI-A






本機はJIS C 61000-3-2適合品です。

安全上のご注意


安全上の注意を表す記号

本書で使用している記号について説明します。本書では製品を安全にお使いいただくため、大切な記載事項には次の記号を使用しています。これらの記載事項は必ずお守りください。

 警告	この記号を無視して取り扱いを誤った場合に、死亡または重症を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全にお使いいただくために、必ずこの警告事項をお守りください。
 注意	この記号を無視して取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れのある注意事項が書かれています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
	この記号を無視して取り扱いを誤った場合に、火災の発生が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
	この記号を無視して取り扱いを誤った場合に、感電の可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
 禁止 接触禁止 分解禁止 ぬれ手禁止 水濡れ禁止	これらの記号は、行ってはいけない行為(禁止事項)を示しています。
 アース線を 接続する	これらの記号は、行わなければならない行為を示しています。
 電源プラグ を抜く	
	この記号は、必ず実行していただく指示の内容を示しています。

 警告	
	ディスプレイを分解・改造しないでください。 内部には高電圧・高温・可動部があり、火災や感電、やけど、けがの原因となります。内部の点検・整備は販売店にご依頼ください。
	付属のディスプレイコントローラーおよびコンパクトパワーアダプターを分解・改造しないでください。 火災や感電の原因となります。内部の点検・整備は販売店にご依頼ください。
	異物を入れないでください。液体を置かないでください。 本製品内部に金属、燃えやすい物や液体が入ると、火災や感電、故障の原因となります。万一、本製品内部に液体をこぼしたり、異物を落とした場合には、販売店にご相談ください。
	正しい電源電圧で使用してください。 指定の電源電圧以外で使用すると火災や感電の原因となります。 本製品付属(指定)のAC電源コードをご使用ください。また、このAC電源コードは、安全のため他の機器には使用できません。





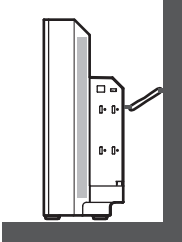



⚠ 警告

	<p>ディスプレイコントローラーは付属のコンパクトパワーアダプターおよびACケーブル、指定の接続ケーブルを使用してください。</p> <p>付属のACアダプターや電源コード、およびこの使用説明書に記されている接続ケーブルを使わないと、火災や故障の原因となることがあります。</p>
	<p>次のような場所で使用しないでください。</p> <p>火災や感電、故障の原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 雨天や積雪中の窓際 • 湿気やほこりの多い場所 • 水滴のかかる場所。浴室、水場など • 油煙や湯気が直接当たる場所や熱器具、加湿器の近く • 可燃性ガスのある環境 • 直射日光の当たる場所
	<p>直射日光の当たる場所に設置・保管しないでください。</p> <p>内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。</p>
	<p>電源コードを傷つけないでください。</p> <p>電源コードに重い物をのせる、引っ張る、加工する、加熱する、束ねて結ぶなどをしないでください。電源コードが破損(芯線の露出、断線など)し、火災や感電の原因となります。</p>
	<p>アース付き3ピンプラグの場合 アースを接続してください。</p> <p>アースが接続されないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因となることがあります。</p> <p>本機の電源プラグはアース付き3ピンプラグです。</p>  <p>付属の電源プラグアダプター(二芯変換アダプター)を使用する場合 電源コードの取り扱いについて以下の点にご注意ください。感電またはけがの原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 電源コードのアース端子を必ずアースに接続してください。 アース端子を接続しないと感電の原因となります。 • アース端子の接続は、必ず電源プラグをコンセントに接続する前に行ってください。またアース端子をはずすときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。 
	<p>雷が鳴り出したら、電源プラグや電源コードには触れないでください。</p> <p>感電の原因となります。</p>
	<p>ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。</p> <p>ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。</p>

⚠ 警告

	<p>電源および電源プラグの取り扱いについて以下の点にご注意ください。火災や感電の原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。また、傷んだ電源プラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。 ● 電源プラグを抜くときはプラグ部分を持ってください。コードを引っ張るとコードが傷ついて火災や感電の原因となります。 ● 電源プラグはほこりなどが付着しないように定期的に清掃してください。 ● 電源プラグの周囲に物を置かないでください。 ● タコ足配線をしないでください。 ● コンセント付き延長コードを使う場合は、接続する機器の消費電力の合計が延長コードの定格電力を超えない範囲でお使いください。
	<p>本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりした場合は、すぐに本製品の主電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。</p> <p>本製品は精密機器です。そのまま使用を続けるとショートして、火災や感電の原因となります。販売店にご相談ください。</p>
	<p>お手入れの際は、主電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。</p> <p>感電の原因となることがあります。</p>
	<p>本製品の移動や取り付け・取りはずし、周辺機器との接続の際は、本製品に接続している機器および本製品の主電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。</p> <p>火災や感電、故障の原因となります。</p>
	<p>万一、異常現象(煙、異音、においなど)が発生した場合は、すぐに主電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。</p> <p>そのまま使用を続けると火災や感電の原因となります。販売店へご相談ください。</p>
	<p>いつでも電源プラグが抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。</p> <p>万一、本製品に異常が起きたとき、すぐに電源プラグが抜けないと、火災や感電の原因となることがあります。</p>
	<p>通気孔をふさがないでください。</p> <p>通気孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。</p> <p>風通しをよくするために次の項目をお守りください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 密閉された狭い場所に押し込めないでください。 ● 布などで包まないでください。 ● あお向けや横倒し、逆さまにしないでください。
	<p>設置および取り扱い上のご注意</p> <p>長期間、機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグにほこりがたまり、火災の原因となることがあります。</p>
	<p>画面が破損して漏れた液晶(液体)には、触れないでください。</p> <p>誤って液晶パネルを破損し、中の液晶(液体)が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけないようにしてください。万一、液体が目や口に入った場合は、すぐに水ですすいでください。また、皮膚や衣服についた場合は、すぐにアルコールなどでふき取り石鹸で洗い流してください。付着したまま放置すると、皮膚や衣服を傷めることがあります。</p>
	<p>梱包用の袋は子供の手の届かない場所に保管してください。</p> <p>梱包用の袋をかぶったりすると、窒息の原因となります。</p>

⚠ 注意

	<p>本製品の上に物を置いたり、上に乗ったりしないでください。 倒れたり、落下したりしてけがの原因となることがあります。</p>
	<p>不安定な場所に設置しないでください。 ぐらついた台の上や傾いたところなどに設置すると、ディスプレイが落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を十分にお確かめください。</p>
	<p>開梱や持ち運びは必ず2人以上で行ってください。ハンドルだけを持たないでください(☞17)。 ハンドルだけを持つと前に傾くため、手足をぶつけてけがをしたり、本機が破損する恐れがあります。</p>
	<p>転倒・落下防止の対策をしてください。 地震の場合などに倒れる恐れがあります。安全のため、付属の転倒防止フックを使用し、必ず転倒・落下防止処置をしてください(☞17)。 転倒・落下防止対策は、けがなどの危害を軽減するためのものであり、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。</p> 
	<p>本体やディスプレイコントローラーを設置するときは、指定手順に従って行ってください(☞22、23)。 設置が正しく行われないと、本機が傾いたり落下したりすることにより、けがの原因となることがあります。</p>
	<p>一年に一度程度、取り付け状態を点検してください。 取り付け状態に不備があると、落下してけがの原因になります。</p>
	<p>付属のCD-ROMをCD-ROM対応ドライブ以外では絶対に再生しないでください。 音楽用CDプレーヤーで再生してヘッドホンなどを使用すると、大音量により聴力障がいの原因となります。また、音楽用CDプレーヤーで使用すると、スピーカーなどの破損の原因となります。</p>

取り扱い上のご注意

画面について

- 画面を強い光に向けたままにすると、画面を傷めてしまいます。窓際や室外などで使用するときにはご注意ください。
- 画面を強く押ししたり、引っかいたり、画面上に物を置いたりしないでください。画面にムラが出たり、パネルの故障の原因となります。
- 使用中に画面やキャビネットが温かくなることがありますが、故障ではありません。

バックライトについて

バックライトには寿命があり、経年劣化により輝度の低下や色の変化などが起こる恐れがあります。

焼き付きについて

同じ画像を長時間表示していると、画像が変わったときに前の画像が残像として見えることがあります。これは、液晶ディスプレイの特性であり、故障ではありません。なお、残像は通常の動画をしばらく表示すれば解消されます。

輝点・減点について

液晶ディスプレイは、非常に精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、黒い点があらわれたり、赤や青、緑の点が常時点灯することがあります。また、これは、液晶パネルの特性上、長期間の使用により増加する場合があります。これらの現象は、故障ではありません。

結露について

本機を冷えた状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、室温を急に上げたりすると、製品の表面や内部に露が発生することがあります(結露)。そのままの状態で使用すると、故障の原因となることがありますのでご注意ください。結露した場合は、水滴が消えるまで製品の電源を入れずに放置してください。

お手入れについて

- お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 画面には特殊な表面処理をしていますので、直接手で触れないようにしてください。また、シールなどの粘着物は絶対に貼らないでください。
- アルコールやベンジン、シンナー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、研磨剤入り洗剤、化学ぞうきんなどは、画面を傷めますので絶対に使用しないでください。
- 画面の汚れは、クリーニングクロスやメガネ拭きなどの乾いた柔らかい布でそっと拭いてください。強く拭くと、画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。また、クリーニングクロスにゴミなどが付着したまま強く拭くと、画面に傷が付くことがありますのでご注意ください。
- 画面の汚れがひどいときは、クリーニングクロスやメガネ拭きなどの柔らかい布に、水で薄めた中性洗剤を少し含ませて軽く拭いてください。
- 画面の表面からほこりを取り除くときは、ブローアをお使いください。
- 画面周辺のキャビネットは特殊な処理をしているため、汚れなどを拭き取る際、塗料が色落ちすることがあります。
- キャビネットの汚れは、柔らかい布で拭き取ってください。汚れがひどい場合は、布に水または水で薄めた中性洗剤を少量含ませてください。また、アルコールやベンジン、シンナー、殺虫剤をかけると、表面の仕上げを傷めたり、キャビネット上の文字などが消えてしまうことがあるので、使用しないでください。

廃棄するときは

- 一般の廃棄物と一緒にしないでください。ごみ廃棄場で処分されるごみの中にディスプレイを捨てないでください。
- 廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

本機の特長

動画ディスプレイDP-V3010は、高精細のIPS液晶パネルとディスプレイエンジンやバックライト技術など、キャノンの作り手のノウハウを凝縮したディスプレイです。カラーグレーディング、VFX(Visual Effects)などの映像制作分野に最適な性能・機能を実現しています。

忠実な色再現

豊かな色彩を再現する独自設計のRGB LEDバックライトシステムとIPS液晶パネルを搭載。DCI(Digital Cinema Initiatives)色域に加え、複数の放送規格ITU-R BT.709、ITU-R BT.2020、EBU、SMPTE-CやAdobe RGBの色域表示にも適しています。

高解像・高精細

解像度10.5メガピクセル(4096x2560)、ピクセルピッチ157.5 μ mの高精細ディスプレイにより、4Kコンテンツをドット・バイ・ドットで表示します。

高コントラスト

高コントラストパネルとキャノン独自のアルゴリズムを搭載した画像処理技術を採用することにより、DCI-P3規格のコントラスト比2000:1以上を実現しています。

映像制作に最適なアスペクト比「16:10」

カラーグレーディングでの映像確認時には、デジタルシネマ(1.896:1)、ハイビジョン放送(16:9)のコンテンツをドット・バイ・ドットで表示でき、かつ、標準パソコン信号(16:10)にも対応したアスペクト比でVFX作業にも最適です。

2K / フルHD高画質表示

2K / フルHDコンテンツを拡大する際、キャノン独自のアルゴリズムによりジャギーが少ない滑らかな表示が可能です。

映像制作ディスプレイとしての特長的性能・機能

- キャノン機器連携
 - CINEMA EOS SYSTEMのデジタルシネマカメラで撮影したCinema GamutやDCI-P3+の映像をモニタリングするための色域の設定値や、Canon Log / Canon Log 2 / Canon Log 3を最適に表示するための専用のピクチャーモードとガンマを搭載しています。
 - ACESproxy(ACES 0.7 / 1.0)に対応することにより、ACESproxyに対応したCINEMA EOS SYSTEMのデジタルシネマカメラと連携して、ACESワークフローを実現します。
- HDR(High Dynamic Range)表示機能を搭載
- ITU-R BT.1886で規格化されているCRT同等のガンマに対応
- ASC CDL対応
ASC(American Society of Cinematographers)が推奨するCDL(Color Decision List)上での色調整が可能のため、映画の制作フローにおいて、異なるアプリケーションでも同じパラメーターでの色再現が可能になります。
- LUTのインポートが可能
簡単な操作で1D/3D-LUTのインポートが可能で、映像制作現場で制作者の意図に応じた色、階調表現を再現します。
- バックライトスキャン
画像表示中にバックライトを部分的に消灯し、画像のホールド期間を短くする「バックライトスキャン」機能を搭載することで、液晶パネル特有の動画ボヤケを低減しています。

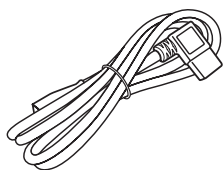
- PCレスキャリブレーション
専用のアプリケーションがなくても簡単にキャリブレーションができ、工場出荷時の色、輝度を長期に確保します。また、使用環境や用途、目的に合わせた表示状態にすることもできます。
- 操作性
すべての設定はディスプレイコントローラーでの操作が可能です。本体でも必要最小限の操作を可能とし、ユースケースに応じた操作手段を提供します。

その他

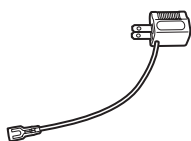
- 映像確認用機能
ピーキング、フォルスカラー、波形モニター、ベクトルスコープ、ズーム、スクリーンキャプチャー、各種マーカーなどの機能を搭載しています。
- 各種インターフェースに対応
 - ー放送業界において標準で使用されている3G/HD-SDI端子と、PCで使用される高解像度対応のDisplayPort端子を搭載しています。
 - ーカラーグレーディング用コントローラー(Tangent Wave社製 element-Tk)や外付けセンサー、USBメモリーが接続できるUSB端子を搭載しています。
- マルチフォーマット対応
1280x720 / 24.00P、25.00P、30.00P、50.00P、60.00P ~ 4096x2160 / 24.00P、25.00P、30.00P、48.00P、50.00P、60.00P、50.00i、60.00iのSDI信号と640x480 ~ 4096x2560のDisplayPort信号に対応、多様な信号を表示できます。
- 設置性の高いメカ設計
独自の放熱構造により、壁につけて設置できるため、スペースを有効に活用できます。

付属品の確認

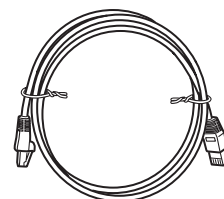
本機には、次の物が付属されています。ご使用になる前にお確かめください。



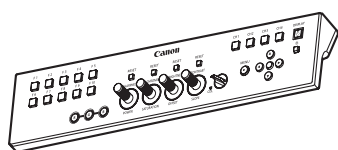
AC電源コード VT-20



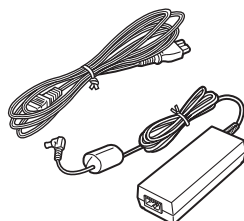
電源プラグアダプター PU-01
(二芯変換アダプター)



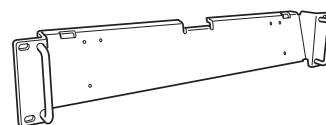
LANケーブル LN-30
(3 m)



ディスプレイコントローラー CL-01



コンパクトパワーアダプター
CA-PS700とACケーブル



ラックマウント金具 RB-01



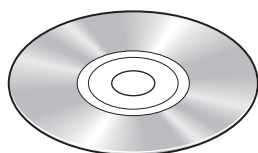
ラックマウント取り付けネジ SW-02
(M3×6 mm 4本)



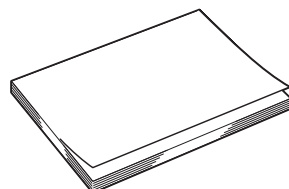
スタンドマウント用工具 HK-01
(六角レンチ 3 mm)



転倒防止フック TP-01
(M6×10 mm 2本)



使用説明書ディスク*



DP-V3010使用説明書(本書)

* 使用説明書ディスクについて

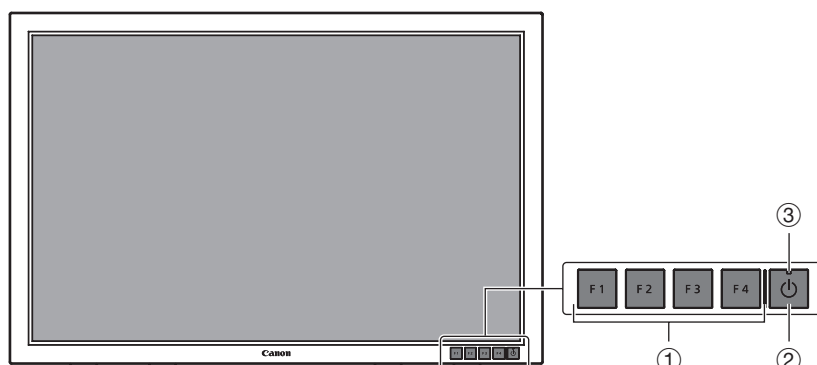
本ディスクには、使用説明書(日本語、英語、フランス語、ドイツ語、簡体中文)がPDF形式で保存されています。ご覧いただくためには、以下のソフトウェアがコンピューターにインストールされている必要があります。

・ Adobe Reader 11.0以上

各部名称

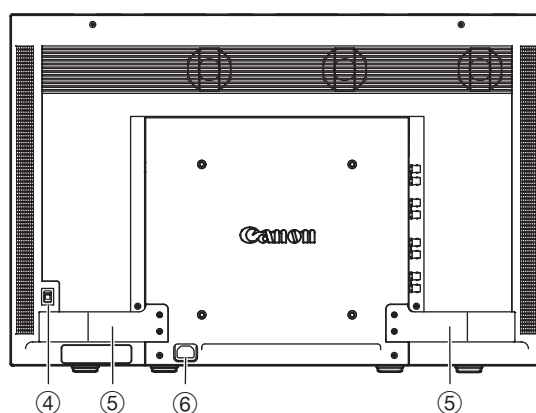
ディスプレイ本体

■ 前面



①	F1～F4ボタン	登録した機能を実行します。 工場出荷時に次の機能が登録されています。登録する機能は変更できます。 F1：チャンネルアップ F2：チャンネルダウン F3：タイムコード(オン/オフ) F4：アスペクトマーカ(オン/オフ)	28
②	電源ボタン(電源ボタン)	電源を入/切します。	24
③	電源ランプ	本体の状態を表示します。電源ランプの明るさを「オフ」、「1(暗い)～5(最も明るい)」に設定できます。「オフ」でも、ファームウェアアップデート中/ネットワーク設定リセット中/異常検出時は点滅します。 消灯：主電源「切」時 緑点灯：主電源「入」/電源「入」時 緑点滅：キャリブレーション中/ファームウェアアップデート中/ネットワーク設定リセット中/ディスプレイコントローラとペアリング時 橙点灯：スタンバイ(主電源「入」で電源「切」)時 橙点滅：異常検出時	69 95

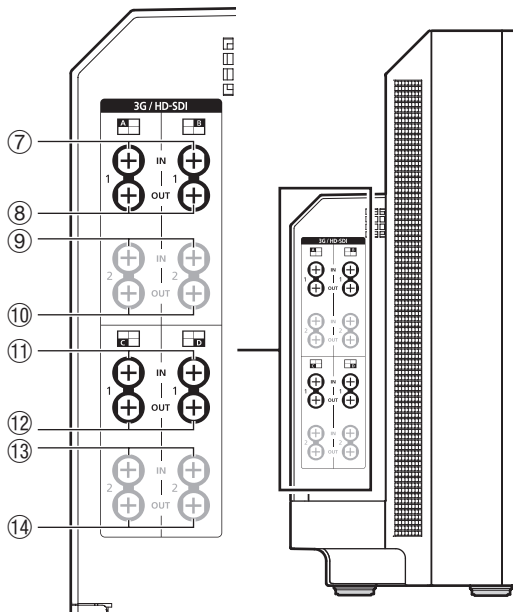
■ 背面



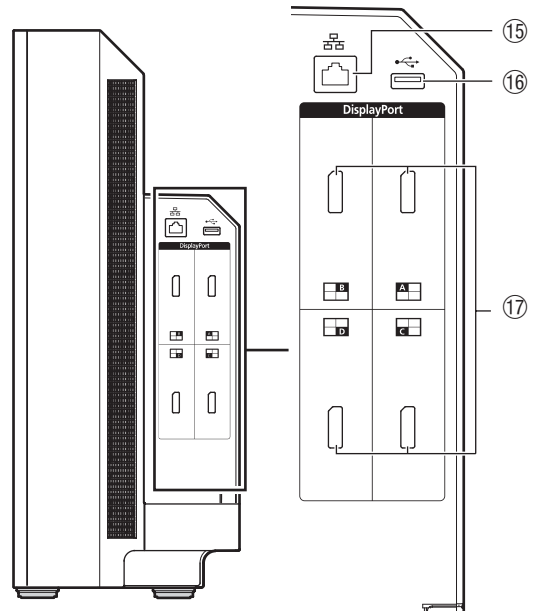
④	主電源スイッチ	主電源を入/切します。	24
⑤	ハンドル	本体を持ち運ぶときに使います。	—
⑥	AC電源入力端子	付属の電源コードを接続します。	24

■ インターフェース部

左側面



右側面



⑦⑪	3G/HD-SDI 入力端子 1	2系統の入力を持ち、 Input 1に該当します。
⑧⑫	3G/HD-SDI 出力端子 1	⑦⑪に対応するモニター出 力です。
⑨⑬	3G/HD-SDI 入力端子 2	2系統の入力を持ち、 Input 2に該当します。
⑩⑭	3G/HD-SDI 出力端子 2	⑨⑬に対応するモニター出 力です。

⑮	LAN (10/100 BASE)端子	ディスプレイコントロー ラーに接続します。 本体と付属のディスプレ イコントローラーは1対1の接 続です。ハブを介しても接 続できます。
⑯	USB端子	キャリブレーション用外付 けセンサー(☐33)、USB メモリー、ハブ、カラーグ レーディング用コントロー ラー(Tangent Wave社製 element-Tk)を接続します。
⑰	DisplayPort 入力端子	1系統の入力を持ってい ます。

🔍 ご注意

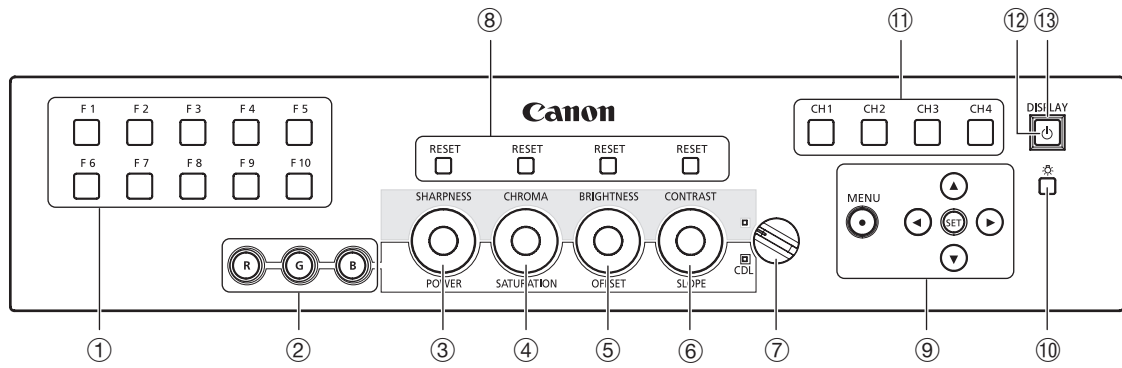
- USB端子にキャリブレーション用外付けセンサーを接続する場合、3 mを超える長さのケーブルは使わないでください。通信エラーが起き、正しくキャリブレーションできない可能性があります。
- 外付けセンサーは、ハブを介さずに直接接続してください。
- 周辺機器を接続するときは、安全のために、過大電圧を持つ可能性があるコネクタを本体の端子に接続しないでください。

📌 メモ

- Dual Link HD-SDIは、2系統双方を使用して接続します(☐19)。
- USBメモリーは、FAT16または FAT32でフォーマットされたものに対応しています。
- すべてのUSBメモリーの動作を保証するものではありません。
- USBメモリーが認識されるまで、10秒以上かかる場合があります。認識中にUSBメモリーを使用すると、「USBメモリー検出中です。」が表示されます。

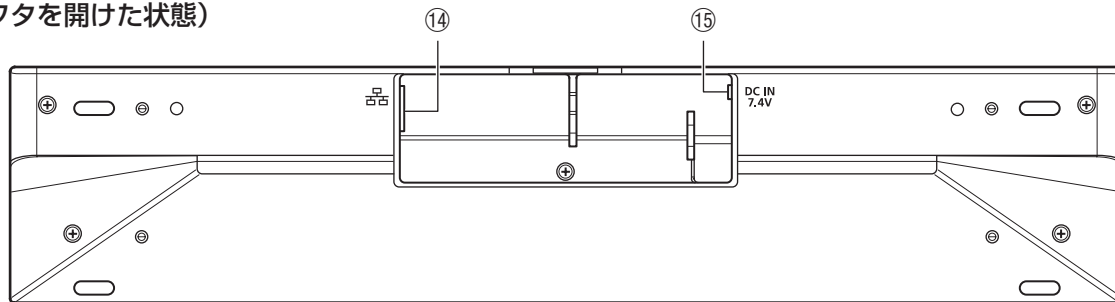
ディスプレイコントローラー

■ 正面



①	F1-F10ボタン	登録した機能を実行します。	28
②	RGB切り換えボタン(CDL選択時)	CDL調整時にRGBを選択して調整します。	
③	SHARPNESSツマミ(通常時)	画像の鮮明さを調整します。	OSDメニュー内では ▲▼ ボタンと同じ機能を実行します。
	POWERツマミ(CDL選択時)	画像のガンマを調整します。	
④	CHROMAツマミ(通常時)	画像の彩度を調整します。	OSDメニュー内では ◀▶ ボタンと同じ機能を実行します。
	SATURATIONツマミ(CDL選択時)		
⑤	BRIGHTNESSツマミ(通常時)	画像の黒レベルを調整します。	27 30
	OFFSETツマミ(CDL選択時)		
⑥	CONTRASTツマミ(通常時)	画像の白レベルを調整します。	
	SLOPEツマミ(CDL選択時)		
⑦	CDL切り換えスイッチ	通常モードとCDLモードを切り換えます。	
⑧	RESETボタン	③～⑥の各調整値を初期値に戻します。OSDメニューのスライドバーで調整している場合、SHARPNESSまたはCHROMAの上にあるRESETボタンを押すと、初期値に戻ります。	
⑨	MENUボタン	OSDメニューを開く／閉じます。メニュー内では1つ上の階層に戻ります。	30
	▲▼◀▶	OSDメニュー内でフォーカスを移動したり、設定内容を変更します。	
	SETボタン	OSDメニューの設定内容を決定したり、1つ上／下の階層にフォーカスを移動します。OSDメニューを閉じているときは、各種バナーを表示します。	29 30
⑩	☀️ボタン	ボタンの明るさを設定します。ボタンを押すごとに、「オフ→1(暗い)→2(中間)→3(明るい)」を繰り返します。電源ランプ(⑬)は、「オフ」でも、ファームウェアアップデート中／ネットワーク設定リセット中／異常検出時は点滅します。	—
⑪	CH1-CH4ボタン	チャンネルをダイレクトに切り換えます。	29
⑫	🔌ボタン(電源ボタン)	接続しているディスプレイ本体の電源を入／切します。	24
⑬	電源ランプ	消灯：電源切断時 緑点灯：接続ディスプレイの主電源「入」または電源「入」時／キャリブレーション中 緑点滅：ディスプレイコントローラーから本体の電源を入にしたとき／ファームウェアアップデート中／ネットワーク設定リセット中 橙点灯：接続ディスプレイの主電源「切」またはスタンバイ時／接続ディスプレイとペアリングされていないとき 橙点滅：異常検出時	—

■裏面(フタを開けた状態)



⑭	LAN端子	LANケーブルでディスプレイ本体と接続します。	📖 21
⑮	DC IN端子	コンパクトパワーアダプター CA-PS700を接続します。	

設置／接続のしかた

📌 ご注意

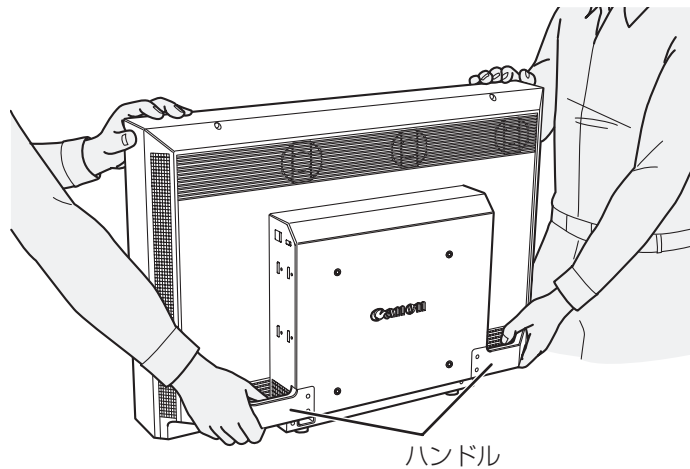
- 開梱や本体の持ち運び、設置／接続などの作業は、必ず2人以上で行ってください。
- 作業中は、画面に触れたり、画面を傷つけないようにご注意ください。

本体の持ち運びかた

本体を持つときは、必ず図のように持ってください。

📌 ご注意

- 本体を持つときは、ハンドルだけを持たないでください。ハンドルだけを持つと、本体が前に傾くため、手足をぶつけてけがをしたり、本体が破損する恐れがあります。



転倒・落下防止の処置をする

付属の転倒防止フック TP-01で、本体の転倒・落下を大幅に減少できます。この処置をする前に、電源や入力機器との接続を行ってください。

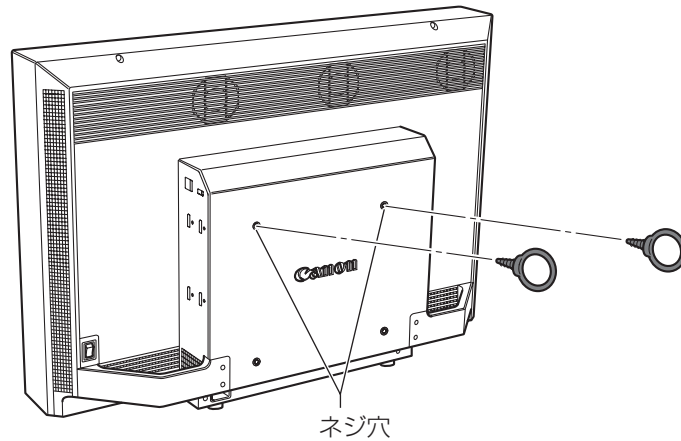
📌 ご注意

- 台に固定する場合には、本体の重量に耐えうる堅牢な物をご使用ください。
- 固定後は、本体を動かさないでください。

1. 本体背面の上2つのネジを、付属のスタンドマウント用工具 HK-01ではずす

はずしたネジは紛失しないように保管してください。また、このネジは他の用途に使用しないでください。

2. 上2つのネジ穴に、付属の転倒防止フック TP-01を差し込んで固定する



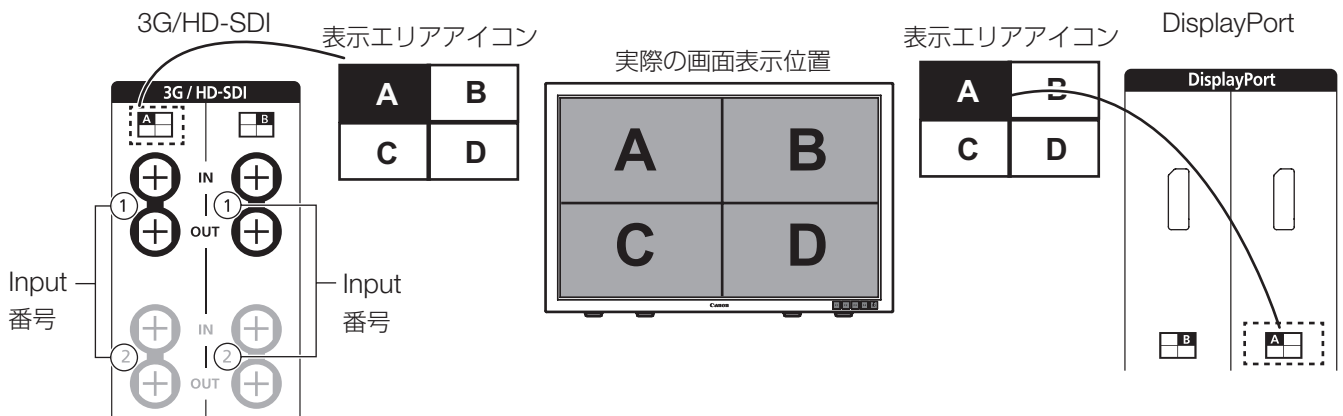
3. 転倒防止フック TP-01のリング部に丈夫なひもなどを通して、壁面や台に固定する

本体と入力機器を接続する

本体には4つの入力があり、それぞれの入力と表示エリアが対応しています。入力端子部にある表示エリアアイコンは、入力映像が画面のどこに表示されるかを表しています。このアイコンに従って、正しく接続してください。また、SDIは2系統の入出力を持っています。Input番号に従って、正しく接続してください。

📌 ご注意

- 接続する前に、本体と入力機器の主電源が入っていないことをご確認ください。
- 周辺機器を接続するときは、安全のために、過大電圧を持つ可能性があるコネクタを本体の端子に接続しないでください。



■ SDIで4KまたはQFHD信号を入力するとき

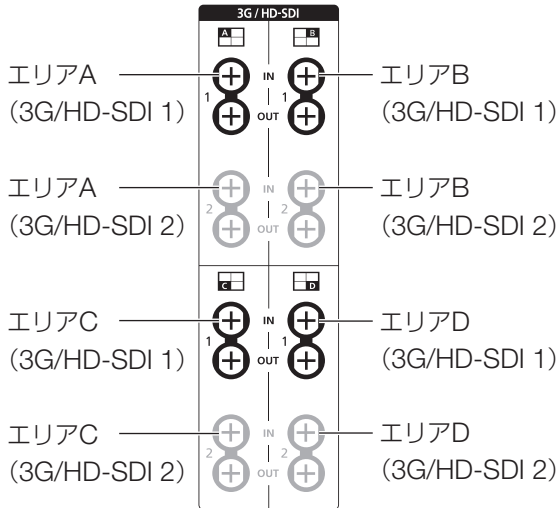
4つの入力を使って表示します。

3G/HD-SDIの場合

3G/HD-SDIは2系統の入力ができます。

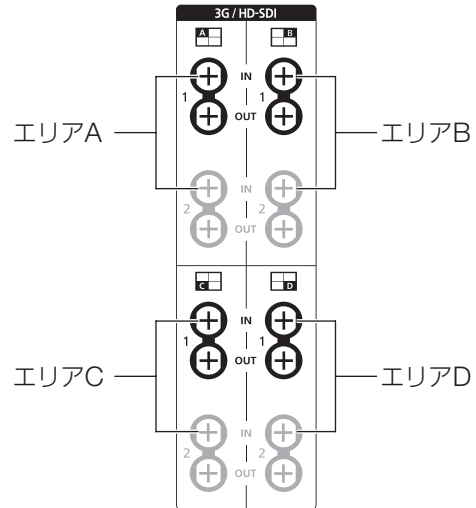
3G/HD-SDI 1はInput 1に、

3G/HD-SDI 2はInput 2に入力します(「入力設定」53)。



Dual Link HD-SDIの場合

リンクA信号はInput 1に、リンクB信号はInput 2に入力します。



■ SDIで2KまたはフルHD信号を入力するとき

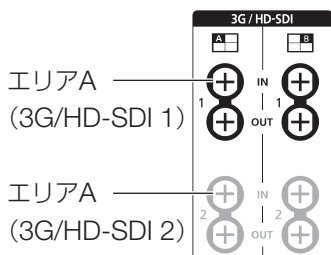
1つの入力に表示します。中央に表示したい場合は、「チャンネル設定」→「入力信号選択」→「Single Input」を選び、A～Dの中から表示したいエリアを設定してください(53)。

3G/HD-SDIの場合

3G/HD-SDIは2系統の入力ができます。

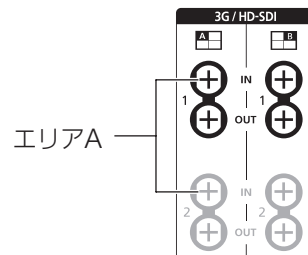
3G/HD-SDI 1はInput 1に、

3G/HD-SDI 2はInput 2に入力します(「入力設定」53)。



Dual Link HD-SDIの場合

リンクA信号はInput 1に、リンクB信号はInput 2に入力します。

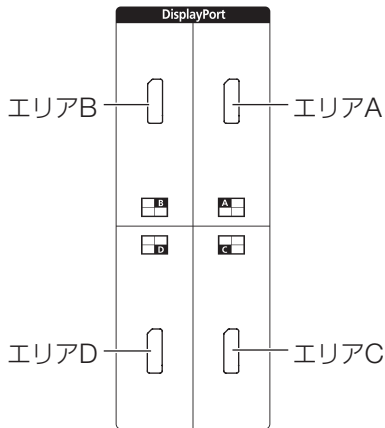


参考

- カナレ電気株式会社製 BNCケーブル(マルチ) 4VS03A-5Cで動作確認しています。

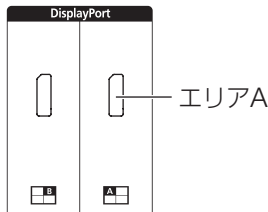
■ DisplayPortで4KまたはQFHD信号を入力するとき

4つの入力を使って表示します。



■ DisplayPortで2KまたはフルHD信号を入力するとき

1つの入力だけで表示します。中央に表示したい場合は、「チャンネル設定」→「入力信号選択」→「Single Input」を選び、A～Dの中から表示したいエリアを設定してください(☞53)。



DisplayPortケーブルで接続する場合、次の結線仕様を持つケーブルをお使いください。

DisplayPortオス	DisplayPortオス	DisplayPortオス	DisplayPortオス
1	12	11	2
2	11	12	1
3	10	13	13
4	9	14	14
5	8	15	15
6	7	16	16
7	6	17	17
8	5	18	18
9	4	19	19
10	3	SHELL	SHELL

🔍 ご注意

- ノイズによる誤動作を防ぐため、必ず3 m以内のシールドタイプのケーブルを使用してください。

📖 参考

- エレコム株式会社製 DisplayPortケーブル CAC-DP30BKで動作確認しています。

本体とディスプレイコントローラーを接続する

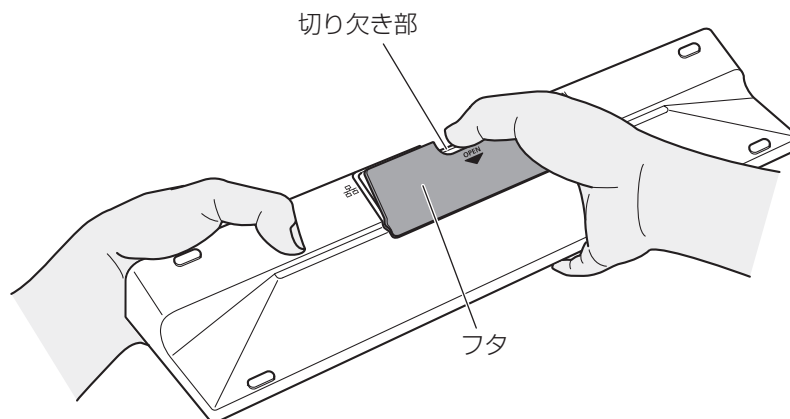
本体とディスプレイコントローラーの接続のしかたを説明します。

☑ ご注意

- 市販のLANケーブルを使用する場合は、ノイズによる誤動作を防ぐため、必ず3 m以内のシールドタイプのケーブルを使用してください。

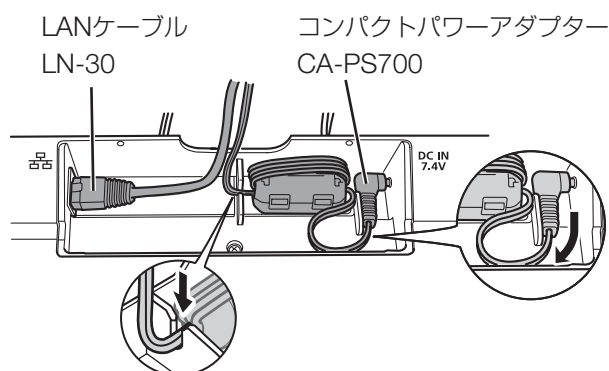
1. ディスプレイコントローラー裏面のフタを開ける

ディスプレイコントローラーを片手で押さえながら、フタの切り欠き部に指を入れて手前に引きます。

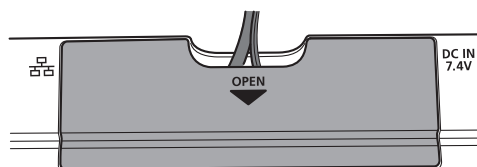


2. 付属のLANケーブル LN-30とコンパクトパワーアダプター CA-PS700を接続する

LANケーブル LN-30のコネクターと、コンパクトパワーアダプター CA-PS700のプラグ部をそれぞれ図のよう差し込みます。ケーブルは切り欠き部に置きます。



3. ケーブルを切り欠き部から出した状態で、フタを閉める



4. LANケーブルを本体のLAN端子に接続する

ディスプレイコントローラーをラックに取り付ける

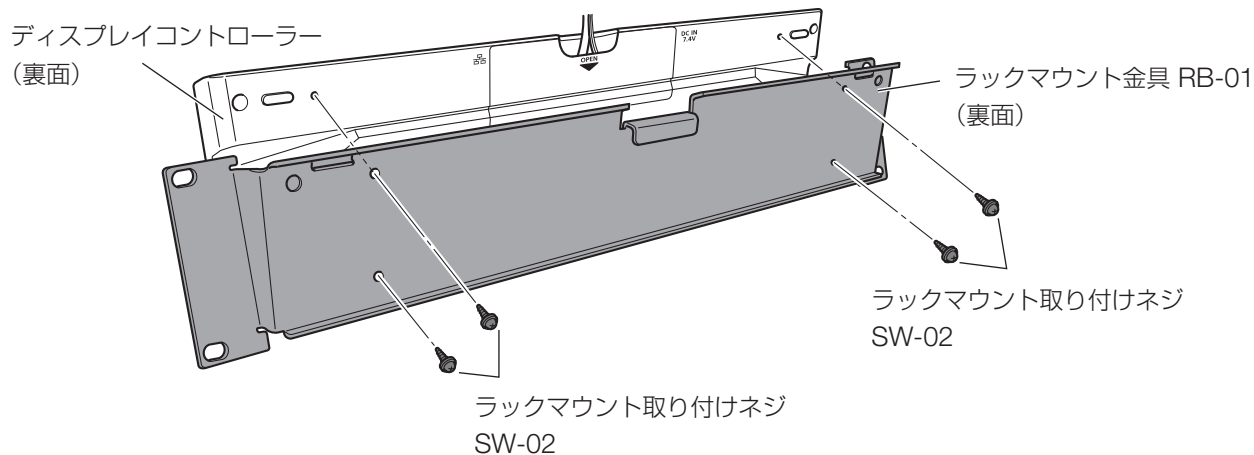
ディスプレイコントローラーは、EIA規格準拠の19インチラックに取り付けることができます。

📌 ご注意

- 取り付け、取りはずしの際には、落下にご注意ください。

1. 付属のラックマウント金具 RB-01にディスプレイコントローラーを図のように重ね、それぞれのネジ穴を合わせる

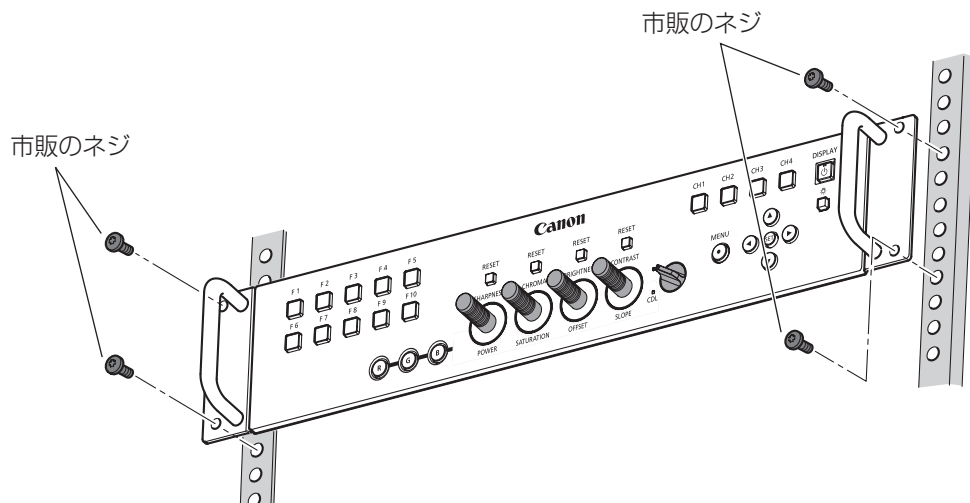
ラックマウント金具にケーブルを挟まないように設置してください。



2. 裏面のネジ穴にラックマウント取り付けネジ SW-02を差し込み、ネジを回してディスプレイコントローラーを固定する

3. ラックに市販のネジで取り付ける

ラックに合ったネジをお使いください。



本体をスタンドや壁に取り付ける

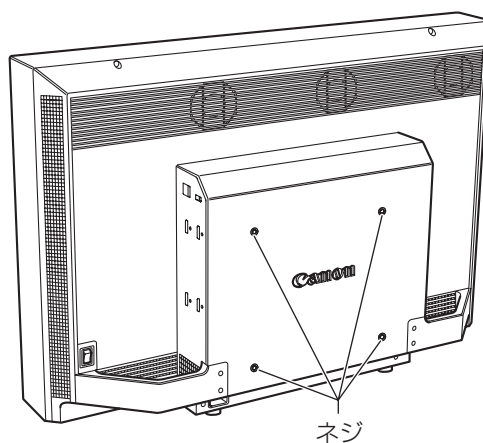
市販のスタンドや壁掛け金具などに、本体を取り付けることができます。
本体対応のネジタイプは、M6×10 mm (VESA規格準拠 200 × 200 mm) です。

ご注意

- 必ず2人以上で作業してください。
- 本体を壁に取り付ける際には、壁の強度を確認のうえ、適切な補強を行ってください。また、スタンドや壁掛け金具の耐荷重もご確認ください。
- 取り付け、取りはずしの際には、落下にご注意ください。

1. 本体背面の4つのネジを付属のスタンドマウント用工具 HK-01ではずす

はずしたネジは紛失しないように保管してください。また、このネジは他の用途に使用しないでください。



2. 市販のスタンドや壁掛け金具に取り付ける

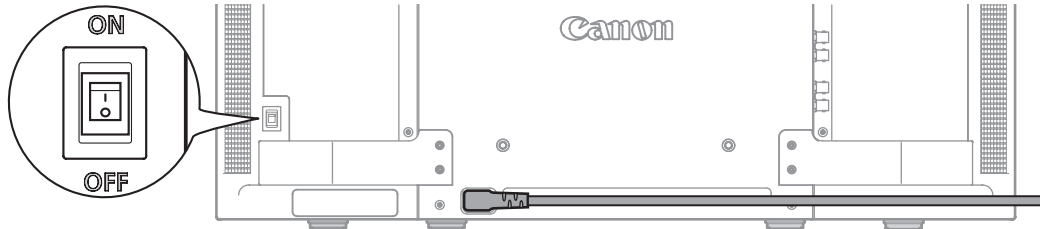
電源の入れかた

本体の電源の入れかたを説明します。

本体の電源を入れる

1. 本体背面のAC電源入力端子に付属のAC電源コード VT-20を差し込む

付属の電源プラグアダプター PU-01を使用する場合は、必ずアース端子をアースに接続してください。



2. 背面の主電源スイッチを入(I)にする

スタンバイ状態になり、電源ランプが橙色に点灯します。

3. 前面の電源ボタン を押す

電源ランプが緑色に点灯します。

メモ

- 本機の輝度を安定させるためにウォームアップが必要です。電源を入れて10分以上経ってからご使用ください。

ディスプレイコントローラーから本体の電源を入れる

ディスプレイコントローラーの電源ボタンは、それ自体の電源の入/切ではなく、本体の電源をリモートで入/切します。

1. 本体とディスプレイコントローラーを接続する(21)

2. ディスプレイコントローラーの電源ボタン を押す

ディスプレイコントローラーの電源ランプが緑色に点滅後、点灯します。

メモ

- ディスプレイコントローラーの電源ランプは、本体の主電源「切」/スタンバイのとき橙色に点灯します。点灯していても、本体の主電源が「切」のときは、ディスプレイコントローラーからの電源の入/切はできません。

ペアリングのしかた

ディスプレイコントローラーで本体を操作するためには、ディスプレイコントローラーに本体を登録する(ペアリング)作業が必要です。

本体とディスプレイコントローラーのペアリングをする

1. 本体とディスプレイコントローラーを接続する(📖21)

2. 本体の電源を入れる(「本体の電源を入れる」📖24)

これで自動的にペアリングが完了し、本体の電源ランプが緑色に点滅し、ディスプレイコントローラーの電源ランプが緑色に点灯します。

📌 メモ

- 本体とディスプレイコントローラーを直接ペアリングしてから、お客様が構築しているネットワーク環境に接続してください。ネットワーク上で複数台接続されている状態では、正しくペアリングされない場合があります。
- ディスプレイコントローラーのボタンの明るさが「オフ」になっているときは、ペアリングが完了しても点灯しません。ペアリングが完了したことを確認する場合には、明るさを「オフ」以外に設定してください(📖15)。
- 必要に応じて、「IPアドレス」と「サブネットマスク」を手動で設定してください(📖68)。

■ 1台のディスプレイコントローラーで複数台のディスプレイを制御する

接続したディスプレイは、ディスプレイコントローラーのFボタン(F1～F10)に、F1ボタンから順に登録され、最大10台のディスプレイを登録できます。制御したいディスプレイの切り換えかたは、次のとおりです。

1. 制御したいディスプレイとディスプレイコントローラーを接続する

2. ディスプレイの電源を入れる

3. ディスプレイコントローラーのSETボタンを押しながら、ディスプレイが登録されているFボタンを押す

ディスプレイの電源ランプが緑色に点滅し、ディスプレイコントローラーの電源ランプが緑色に点灯します。

📌 メモ

- 「システム設定」の「接続ディスプレイリスト」で、F1～F10ボタンに登録されているディスプレイを確認できます(📖69)。Fボタンに登録したディスプレイを解除したり、登録ボタンを変更できます。

再度ペアリングをする

ペアリングしたディスプレイコントローラーの付け替えをした場合など、再度ペアリングをしたい場合の操作方法は次のとおりです。

1. 本体とディスプレイコントローラーを接続する(📖21)

2. 本体とディスプレイコントローラーを通信可能な状態にする

本体のネットワーク設定をリセットする

本体のF3、F4ボタンを約3秒同時に押すと電源ランプが緑色に点滅し、「IPアドレス取得」が「自動」になり、ペアリング情報もリセットされます。

ディスプレイコントローラーのネットワーク設定をリセットする

ディスプレイコントローラーの◀、▶、SETボタンを約3秒同時に押すと電源ランプが緑色に点滅し、「IPアドレス取得」が「自動」になり、ペアリング情報と「接続ディスプレイリスト」もリセットされます。

双方のペアリング情報がリセットされ再ペアリングが完了すると、ディスプレイコントローラーの電源ランプが緑色に点灯します。

📌 メモ

- 本体とディスプレイコントローラーを直接ペアリングしてから、お客様が構築しているネットワーク環境に接続してください。ネットワーク上で複数台接続されている状態では、正しくペアリングされない場合があります。
- ディスプレイコントローラーのボタンの明るさが「オフ」になっているときは、ペアリングが完了しても点灯しません。ペアリングが完了したことを確認する場合には、明るさを「オフ」以外に設定してください(📖15)。
- 必要に応じて、「IPアドレス」と「サブネットマスク」を手動で設定してください(📖68)。

ディスプレイコントローラーの操作のしかた

ディスプレイコントローラーでは、画質調整や入力信号の設定を、簡単に操作することができます。また、専用ボタンによく使う機能を登録することができます。

画質を調整する

1. 各ツマミを回転して画質を調整する

画面の下部に表示されるスライダーを目安にしてください。

- SHARPNESS
画像の鮮明さを調整します。
- CHROMA
画像の彩度を調整します。
- BRIGHTNESS
画像の黒レベルを調整します。
- CONTRAST
画像の白レベルを調整します。

CDLで画質を調整する

1. CDL切り換えスイッチをCDL側に切り換える

2. RGB切り換えボタンで、調整したいカラーを選択する

3. 各ツマミを回転して画質を調整する

- POWER
画像のガンマを調整します。
- SATURATION
画像の彩度を調整します。
SATURATIONでは、RGBは選択できません。
- OFFSET
画像の黒レベルを調整します。
- SLOPE
画像の白レベルを調整します。

項目	設定内容 (下線は工場出荷時の設定内容)
POWER	0.50 ~ 4.00 (<u>1.00</u>) (0.01刻み)
SATURATION	0.000 ~ 2.000 (<u>1.000</u>) (0.001刻み)
OFFSET	-1.000 ~ 1.000 (<u>0.000</u>) (0.001刻み)
SLOPE	0.000 ~ 2.000 (<u>1.000</u>) (0.001刻み)

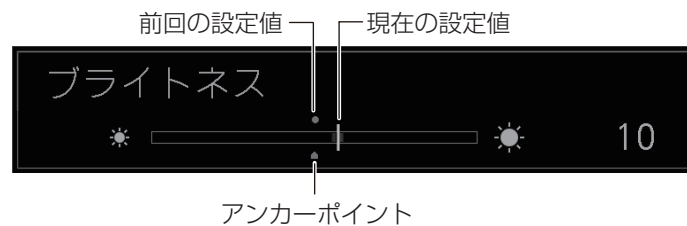
メモ

- 工場出荷時の設定内容に戻すときは、戻したい調整項目の上にあるRESETボタンを押します。なお、キャリブレーションを実行している「User 1-7」モードは、工場出荷時ではなくキャリブレーション後の設定内容に戻ります。
- 本機の輝度を安定させるためにウォームアップが必要です。電源を入れて、10分以上経ってから実施してください。
- OSDメニューは約1分間、スライダーは約10秒間何も操作をしないと自動的に消えます。
- 設定できない項目は、グレー表示になります。

調整値を一時保存する(アンカーポイントの設定)

SHARPNESS / CHROMA / BRIGHTNESS / CONTRASTを調整中に調整値を一時的に保存して、その値に戻ることができます。CDL調整時のアンカーポイントの設定は 48をご覧ください。

1. MENUボタンを押して、OSDメニューを開く
2. ▲▼ ボタンで「画質設定」を選択し、SETボタンを押す
フォーカスがサブメニューに移動します。
3. ▲▼ ボタンで「画質設定アンカー」を選択し、SETボタンを押す
確認画面が表示されたら「OK」を選択します。調整値が保存され、アンカーポイントが設定されます。
4. 再度画質を調整後、ディスプレイコントローラーのRESETボタンを押す
戻したい調整項目の上にあるRESETボタンを押すと、それぞれのアンカーポイントに戻ります。



メモ

- 「画質設定」の「画質設定リセット」または「システム設定」の「全設定リセット」を実行すると、アンカーポイントを破棄し、工場出荷時の値に戻ります。
- 「ピクチャーモード」の「User 1-7」でキャリブレーションをした場合、その値がアンカーポイントとして上書きされます。

ファンクション(F)ボタンを使う

ディスプレイコントローラーのFボタンに機能を登録し、ワンタッチで実行できます。

1. MENUボタンを押して、OSDメニューを開く
2. 「システム設定」→「ファンクション／チャンネルボタン」→「コントローラーファンクション」を選択し、SETボタンを押す
別ウィンドウが開き、F1～F10のボタン名が表示されます。
3. ▲▼ でボタン名を選択し、SETボタンを押す
フォーカスが次の階層に移動します。
4. ▲▼ で登録したい機能を選択する
設定できる機能は「コントローラーファンクション」(68)をご覧ください。
5. SETボタンを押す
設定内容が決定されます。

参考

- 本体のF1～F4ボタンにも機能を登録できます。手順2で「ディスプレイファンクション」を選択してください(68)。
- 「ファンクション設定」→「各種ファンクション」→「ファンクションガイド」を「オン」に設定すると、OSDメニュー非表示中にSETボタンを押すことで、本体およびディスプレイコントローラーのFボタンに登録されている機能の一覧を確認できます(67)。

チャンネル(CH)ボタンを使う

ディスプレイコントローラーのCHボタンにチャンネル(入力信号に関する各種設定)を登録し、ワンタッチでチャンネルを切り換えることができます。

1. MENUボタンを押して、OSDメニューを開く
2. 「システム設定」→「ファンクション／チャンネルボタン」→「コントローラーチャンネル」を選択し、SETボタンを押す
別ウィンドウが開き、CH1～CH4のボタン名が表示されます。
3. ▲▼でボタン名を選択し、SETボタンを押す
フォーカスが次の階層に移動します。
4. ▲▼で登録したいチャンネルを選択する
設定できる内容は「チャンネル設定」(P53)をご覧ください。
5. SETボタンを押す
設定内容が決定されます。

工場出荷時、ディスプレイコントローラーの各CHボタンには、次の内容が登録されています。

	CH1	CH2	CH3	CH4
入力設定	3G/HD-SDI 1	3G/HD-SDI 2	Dual Link HD-SDI	DisplayPort
入力信号選択	オート	オート	オート	オート
フォーマット	オート	オート	オート	オート
インターナルシンク	オフ	オフ	オフ	オフ
チャンネル名	(空欄)	(空欄)	(空欄)	(空欄)
ピクチャーモード	DCI-P3	DCI-P3	DCI-P3	DCI-P3
カラーレンジ	オート	オート	オート	オート

信号情報や本体の状態を確認する

本機にはバナーを表示する機能があります。これには、信号情報や本体の状態が表示されます。

1. OSDメニューを閉じているときに、SETボタンを押す

バナーにチャンネル名や信号情報、本体の状態が表示されます。6秒後に自動的に消えます。

メモ

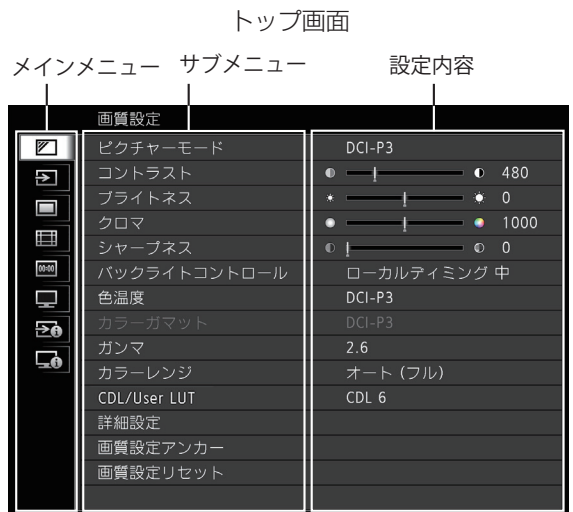
- 詳細な信号情報を確認したい場合には、「シグナルインフォメーション」(P72)をご覧ください。
- 入力信号が同期するまでは「同期検出中」というバナーが表示されます。

OSDメニューの操作のしかた

ディスプレイコントローラーで、OSDメニューの操作ができます。

基本操作

1. MENUボタンを押して、OSDメニューを開く



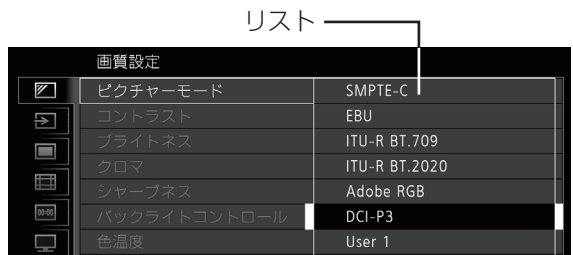
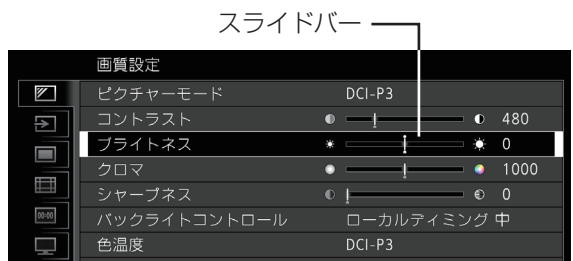
2. ▲▼ ボタンで項目を選択し、SETボタンを押す フォーカスがサブメニューに移動します。



3. ▲▼ ボタンで項目を選択し、SETボタンを押す フォーカスが設定内容に移動します。

4. ▲▼ ◀▶ ボタンで設定内容を選択する 設定内容を選択するときのボタンの動作は次のとおりです。

スライダー		リスト	
◀	▶	▲	▼
数値が減る	数値が増える	フォーカスが上に移動	フォーカスが下に移動



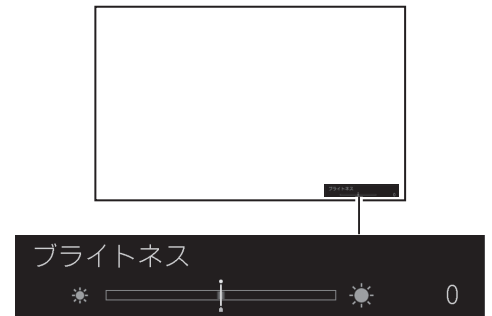
5. SETボタンを押す フォーカスがサブメニューに戻ります。

6. メニューを終了する メニューを終了させるときは、トップ画面のメインメニューまでフォーカスを移動させてMENUボタンを押します。

映像全体を見ながら画質を調整する

OSDメニューを表示している際に、画面下部にスライダーだけを表示させ、映像全体を見ながら画質を調整できます。

1. 設定内容にフォーカスがあるときに、SETボタンを押す
スライダーが画面の下部に表示されます。
2. スライダーを目安に ▲▼ ◀▶ ボタンで調整する
3. 調整が終了したら、SETボタンを押す
元のOSDメニュー画面に戻ります。

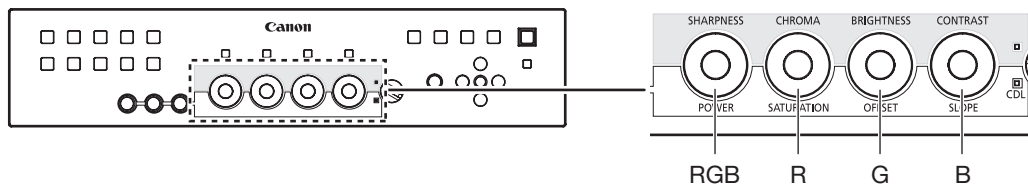


■「色温度」の「ゲインR/G/B、バイアスR/G/B」の操作

「ゲインR/G/B」と「バイアスR/G/B」の調整用スライダーが表示されているとき、RGBをまとめて、またはそれぞれ個別に調整できます。



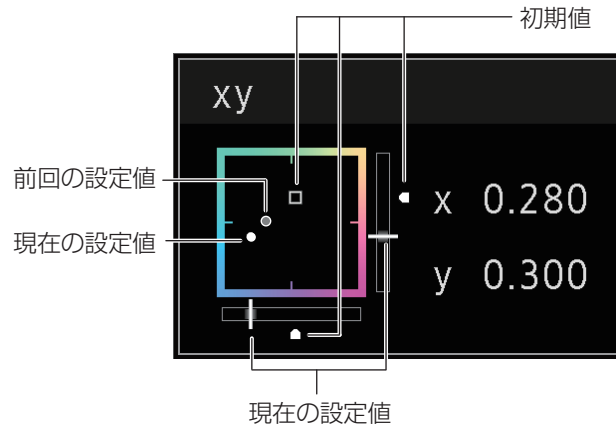
1. スライダー画面右上のガイドを▲▼ボタンで切り換え、◀▶ボタンで調整する
「RGB」、「R」、「G」、「B」と表示が切り換わります。
ディスプレイコントローラーのSHARPNESS / CHROMA / BRIGHTNESS / CONTRASTツマミで、RGBを同時に、またはRGBを個別に調整できます。



2. 調整が終了したら、SETボタンを押す
元のOSDメニュー画面に戻ります。

■「色温度」の「x, y」の操作

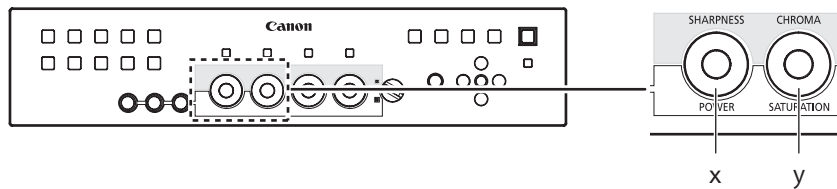
カラーマップ上で、「x, y」を調整できます。



1. 「x」は◀▶ボタンで、「y」は▲▼ボタンで調整する

設定した値がカラーマップ上に(○)で表示されます。

ディスプレイコントローラーのPOWERツマミで「x」を、SATURATIONツマミで「y」を調整できます。



2. 調整が終了したら、SETボタンを押す

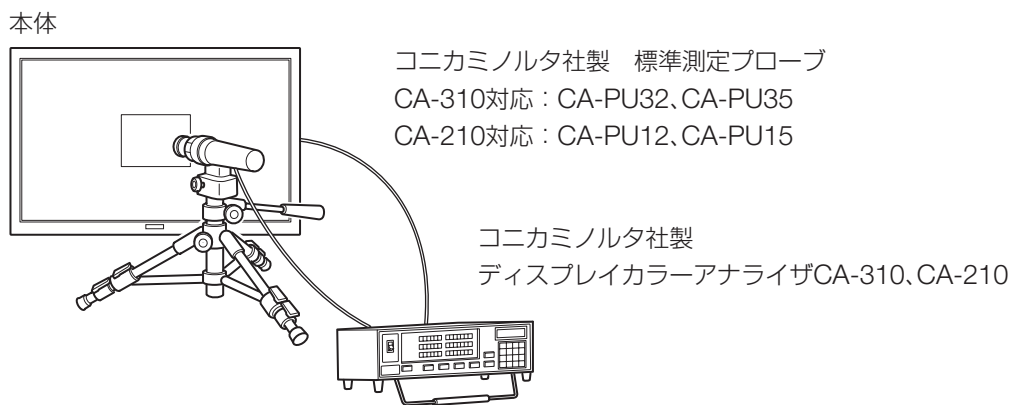
元のOSDメニュー画面に戻ります。

PCレスでキャリブレーションする(📖50)

「ピクチャーモード」の「User 1-7」選択時に、外付けセンサーを使用して、コンピューターを使用せずにキャリブレーションできます。

対応の外付けセンサーは、コニカミノルタ株式会社製ディスプレイカラーアナライザ CA-310、CA-210です。CA-310、CA-210の説明書も合わせてご覧ください。

1. ディスプレイカラーアナライザを本体のUSB端子に接続する
2. OSDメニューを開いて、「画質設定」→「詳細設定」→「キャリブレーション」を選択する
各目標値を設定します。
3. SETボタンで「スタート」を選択する
ディスプレイに表示される案内に従い、操作してください。
4. センサーを初期化する
標準測定プローブのモードダイヤルを「0-CAL」にセットします。
ディスプレイコントローラーのSETボタンで「OK」を選択して、初期化を実行します。
5. センサーを本体の中央に向けて設置する
標準測定プローブのモードダイヤルを「MEAS」にセットし、表示にしたがって図のとおりプローブを設置してください。ディスプレイコントローラーのSETボタンで「OK」を選択してキャリブレーションを実行します。



6. キャリブレーションを終了する
「キャリブレーションを終了しました。」が表示されたら、SETボタンで「OK」を選択します。
- 「エラーが発生したため、キャリブレーションを終了しました。」が表示されたとき
エラーによりキャリブレーションが強制的に終了しました。本体はキャリブレーション実行前の状態に戻り
ます(📖93)。
 - キャリブレーションを中止したいとき
キャリブレーション実行中にSETボタンで「中止」を選択します。本体はキャリブレーション実行前の状態に戻
ります。

メモ

- 液晶パネルの特性およびCA-310、CA-210の個体差により、キャリブレーションの結果が異なる場合があります。
- キャリブレーション前にディスプレイカラーアナライザのマトリクス校正を行ってください。マトリクス校正を行わずにキャリブレーションを実行すると、エラーになる場合があります。操作方法は、CA-310、CA-210の説明書をご覧ください。
- 本機の輝度を安定させるためにウォームアップが必要です。電源を入れて10分以上経ってからキャリブレーションを実施してください。
- センサー部に外光が入らないように、室内を暗くしてキャリブレーションを行ってください。外光が入ると低輝度部の特性が正しく補正されません。

エクスポート／インポートする

LUTやCDLの調整値、各メインメニューの設定内容をエクスポート／インポートできます。USBメモリーを本体のUSB端子に接続してください。

■ LUTをインポートする (📖49)

「ピクチャーモード」の「Canon Log(「カラーガマット」→「ACESproxy」を選択)」または「ACESproxy」以外を選択時に設定できます。

1. MENUボタンを押して、OSDメニューを開く

2. 「画質設定」→「詳細設定」→「LUTインポート」を選択する

3. ファイルを選択する

「ファイル名」の箇所に、ルートフォルダー内の拡張子「.clut」を検索して表示します。

4. LUTのタイプを選択する

- 「User LUT」、「Gamma LUT」または「Gamut LUT」から、LUTの種類を選択します。
- 「ディスプレイの画像処理とユーザー LUTの概念図」をご参照ください。また、キヤノンのホームページにある「ユーザー LUT作成ガイド」を合わせてご覧ください。

5. 「LUT選択」でファイルの保存先を選択する

User LUT/Gamma LUT/Gamut LUT 1～8から、保存先を選択します。

6. 基準となる色域を選択する

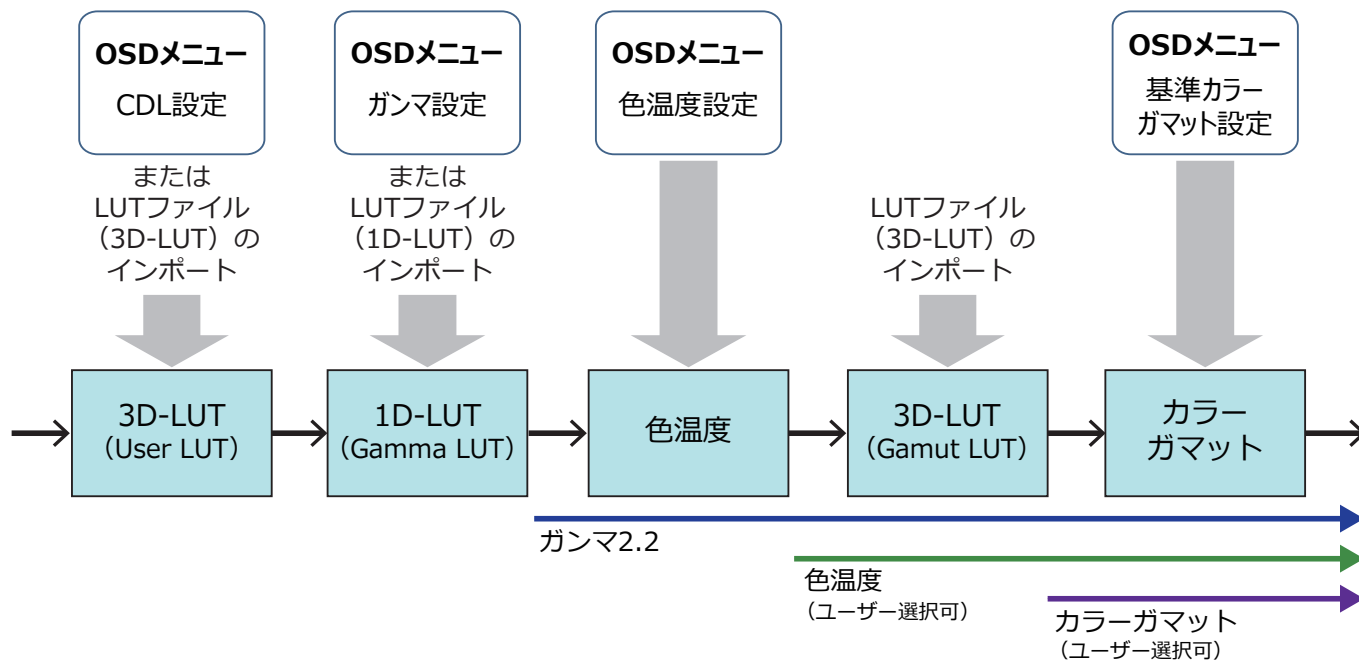
「LUTタイプ」で「Gamut LUT」を選択した場合に、LUT作成時に使用した色域を選択します。

7. 「実行」を選択する

確認画面が表示されたら「OK」を選択します。インポートが開始されます。

メモ

- LUTのファイルは、キヤノンディスプレイ独自のものです。ファイルフォーマットや作成のしかたなどについては、キヤノンのホームページでご確認ください。
- LUTのインポートファイルは、最大1000個まで認識します。
- インポートしたLUTは消去できます。LUT名を変えることもできます(📖49)。



ディスプレイの画像処理とユーザー LUT の概念図

■ メインメニューの設定内容をエクスポート／インポートする (📖 70)

1. MENU ボタンを押して、OSD メニューを開く
2. 「システム設定」→「エクスポート／インポート」を選択する
3. 「エクスポート」または「インポート」を選択する

エクスポートの場合

- ① 「ターゲット」を「USB」または「User 1-3」から選択する
「USB」はUSBメモリーに、「User 1-3」は本体内のメモリーにエクスポートします。
- ② 「ファイル名」を選択する
工場出荷時の初期値は「dinfo.dat」です。USBメモリーにエクスポートするファイル名は半角英数記号16文字以内で変更できます。
- ③ 「実行」を選択する
確認画面が表示されたら「OK」を選択します。エクスポートを開始します。

インポートの場合

- ① 「ターゲット」を「USB」または「User 1-3」から選択する
インポートするファイルの保存先を指定します。
- ② 「ファイル名」を選択する
- ③ 「設定種別」から「すべて」またはメインメニュー名を選択する
- ④ 「実行」を選択する
確認画面が表示されたら「OK」を選択します。インポートを開始します。

📌 メモ

- 「User 1-3」にエクスポートすると、「システム設定」の「パワーオン設定」で、起動時の設定状態を「User 1-3」から選択できます (📖 70)。

■ CDLの調整値をエクスポート／インポートする(📖48)

1. MENUボタンを押して、OSDメニューを開く
2. 「画質設定」→「CDL/User LUT」→「タイプ」を選択する
「CDL」を選択します。
3. 「詳細設定」→「CDLエクスポート」または「CDLインポート」を選択する

エクスポートの場合

- ①「CDLプリセット」を選択する
- ②ファイル形式「.ccc」または「.cdl」を選択する
- ③「実行」を選択する
確認画面が表示されたら「OK」を選択します。エクスポートを開始します。

インポートの場合

- ①「ファイル名」を選択する
- ②「CDLプリセット」を選択する
- ③「実行」を選択する
確認画面が表示されたら「OK」を選択します。インポートを開始します。

① 参考

- エクスポート時のファイル名は、「YYYYMMDDhhmmss_プリセット名.ccc (cdl)」で自動的に保存されます。
- CDLのインポートファイルは、最大1000個まで認識します。
- 本機からエクスポートした「.cdl」形式のデータは、ファームウェアのバージョンが本機より前の製品にはインポートできません。インポートしたいときは、最新のファームウェアのバージョンにアップデートしてからお使いください。

日時を設定する(📖69)

日時の設定のしかたを説明します。本機は、約20日間主電源を入れないと、日時がリセットされます。

1. MENUボタンを押して、OSDメニューを開く
2. 「システム設定」→「日時」を選択する
日時を入力する画面が表示されます。
3. ▲▼◀▶ ボタンで日時を設定する
◀▶ ボタンでフォーカスを移動させ、▲▼ ボタンで数値を選択します。年／月／日／時／分すべてを入力するまで、繰り返します。
4. すべての入力が終了したら、SETボタンを押す
フォーカスが「OK」に移動します。
5. 内容を確認し、正しければSETボタンを押す

① 参考

- 「キャンセル」を選択、または「OK」を選択する前にMENUボタンを押すと、設定値を破棄し1つ前の画面に戻ります。

文字を入力する

文字の入力のしかたを説明します。チャンネル名やディスプレイ名、各種ファイル名の入力に使用します。

1. MENUボタンを押して、OSDメニューを開く

2. 文字の入力が必要な場合、文字入力画面が表示される

入力したい場所に ◀▶ ボタンでフォーカスを移動させます。

3. ▲▼ ボタンで文字を選択する

入力できる文字は次のとおりです。▲▼ を押し続けると順番に表示されます。16文字まで入力できます。

英数(半角): A～Z, a～z, 0～9

記号(半角): , . : ; ' ` - + / = % & ! ? # _ | \$ ^ ~ @ { } [] < > () スペース

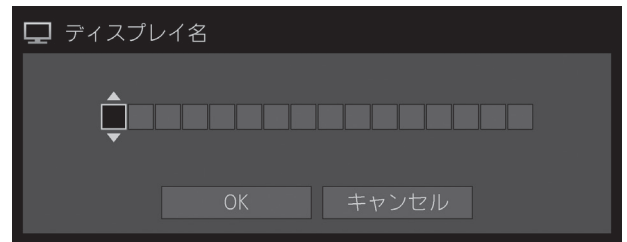
ファイル名では入力できない文字があります。その場合は自動でスキップします。

4. 入力したい内容が終了するまで、手順2、3を繰り返す

5. すべての入力が終了したら、SETボタンを押す

フォーカスが「OK」に移動します。

6. 内容を確認し、正しければSETボタンを押す



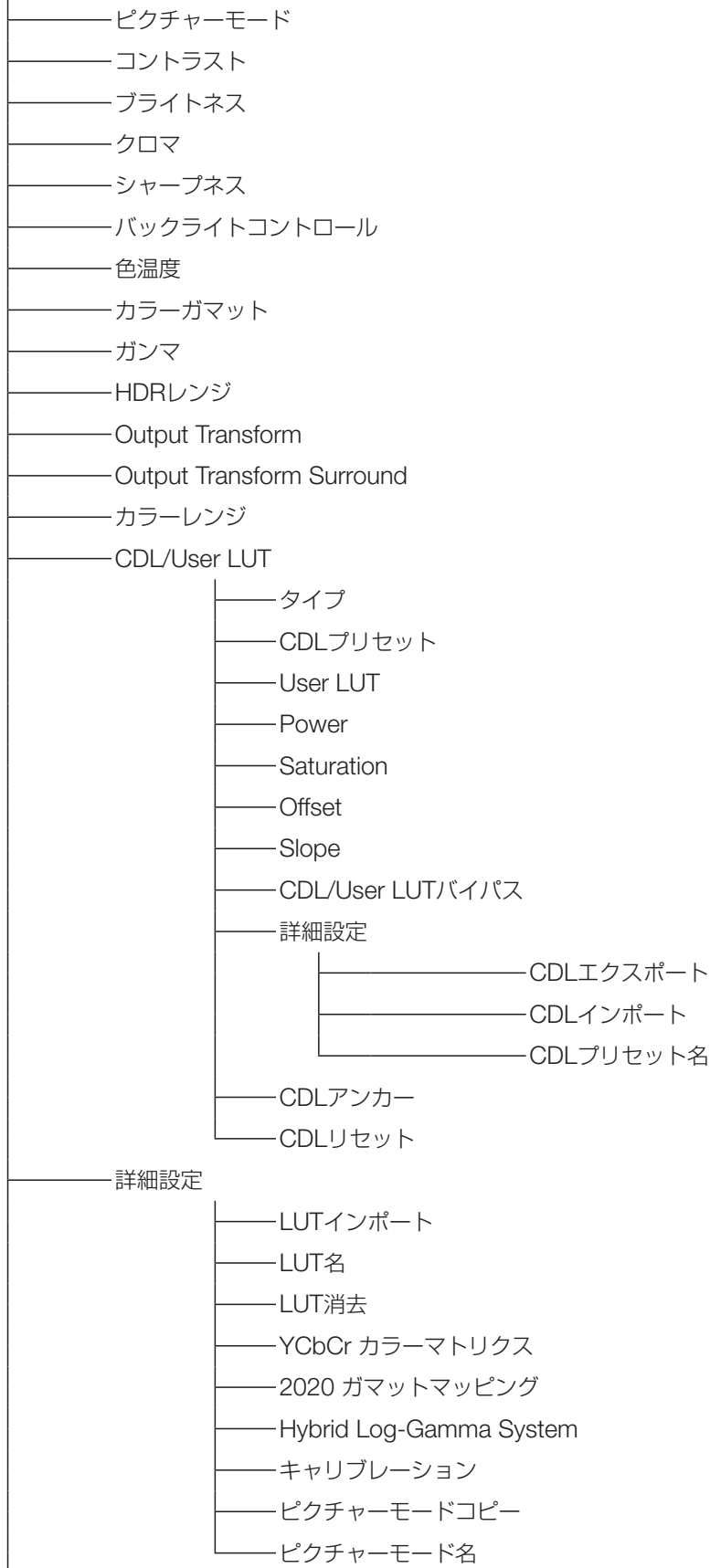
① 参考

- 「キャンセル」を選択、または「OK」を選択する前にMENUボタンを押すと、設定値を破棄し1つ前の画面に戻ります。
- SHARPNESSまたはCHROMAの上にあるRESETボタンを押すと、フォーカスされている文字を消去できます。

OSDメニュー

OSDメニューインデックス

画質設定 (43)



- 画質設定アンカー
- 画質設定リセット

チャンネル設定 (F53)

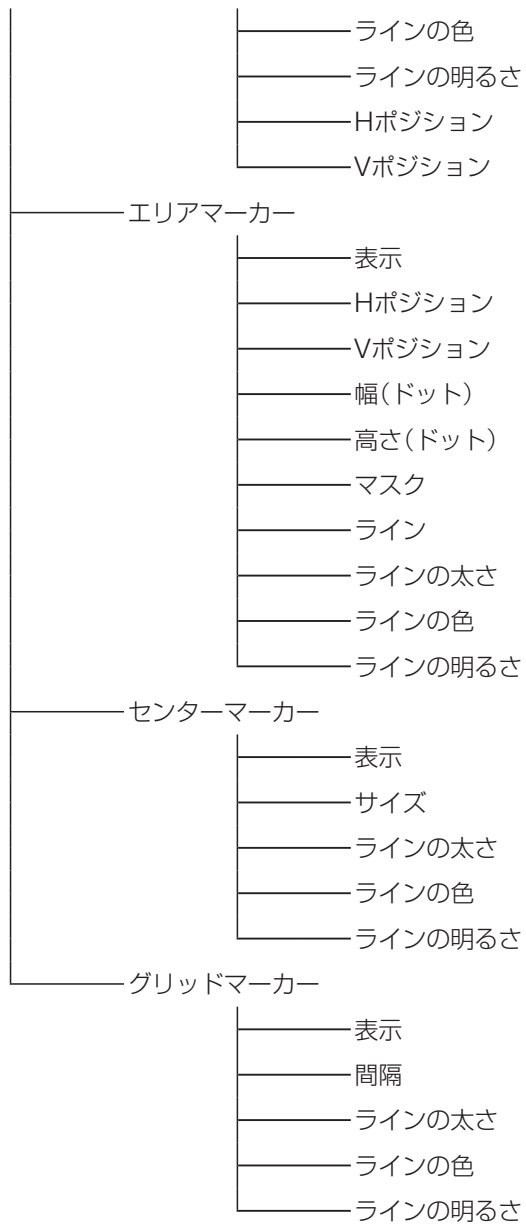
- セレクトチャンネル
- 入力設定
- 入力信号選択
- フォーマット
- インターナルシンク
- チャンネル名
- ピクチャーモード
- カラーレンジ

ディスプレイ設定 (F55)

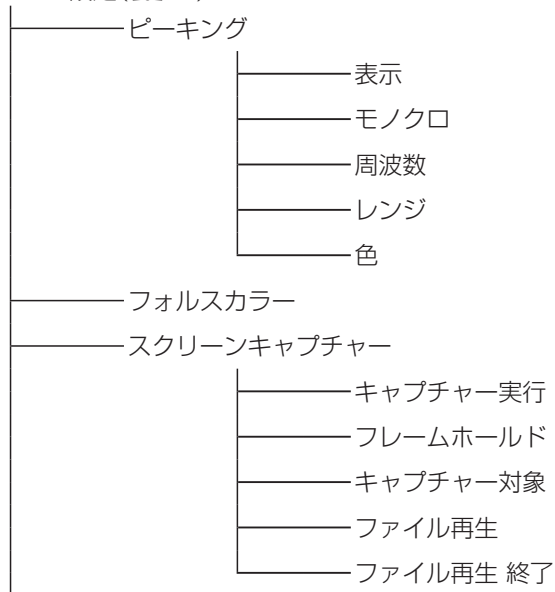
- スクリーンスケーリング
- ズーム
- スケーリング法
- フレームホールド
- バックグラウンドカラー
- I/PsF
- I/P変換
- PsF
- フィルムケイデンス

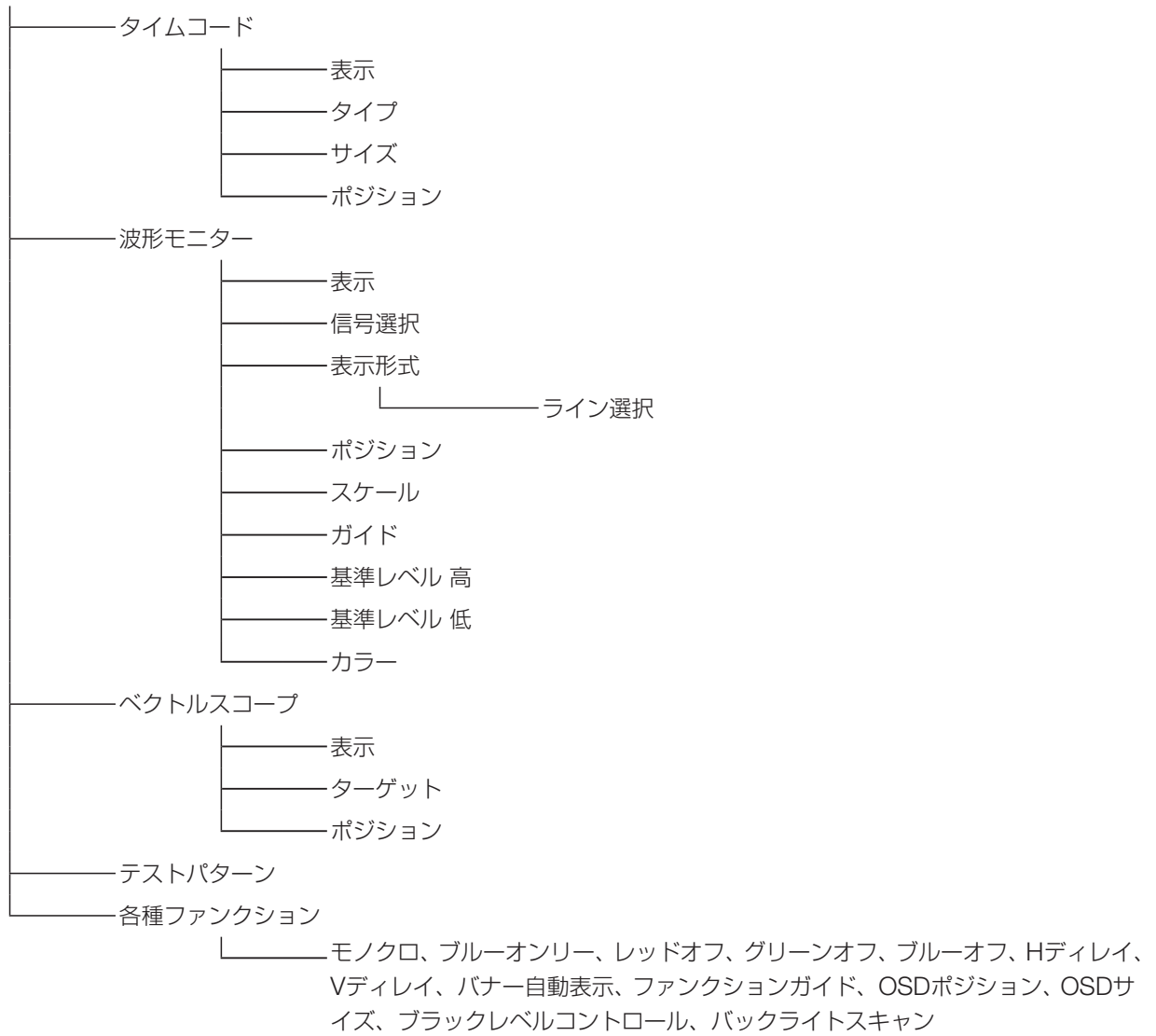
マーカー設定 (F58)

- マーカープリセット
- アスペクトマーカー
 - 表示
 - マスク
 - アスペクト比
 - ライン
 - ラインの太さ
 - ラインの色
 - ラインの明るさ
 - Hポジション
 - Vポジション
- セーフティゾーンマーカー1、2
 - 表示
 - アスペクト比
 - エリアのサイズ
 - 倍率(%)
 - 幅(ドット)
 - 高さ(ドット)
 - エリアの形
 - ラインの太さ

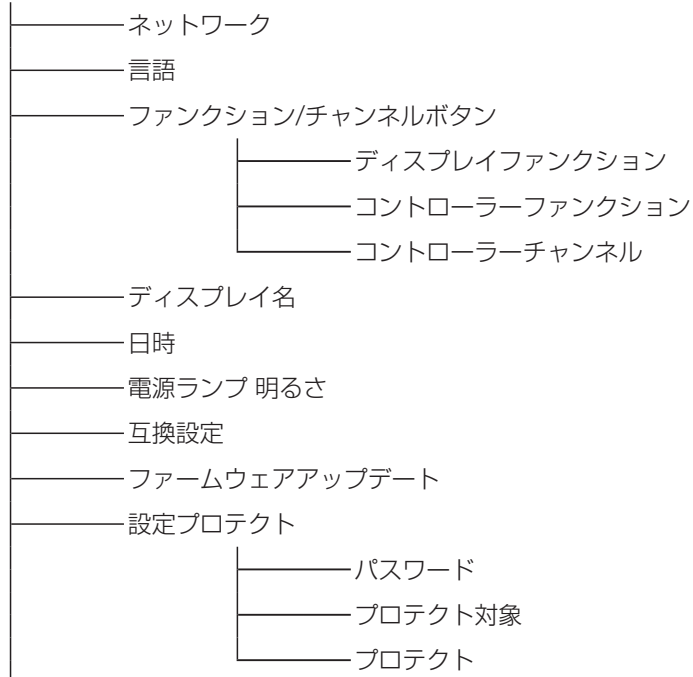


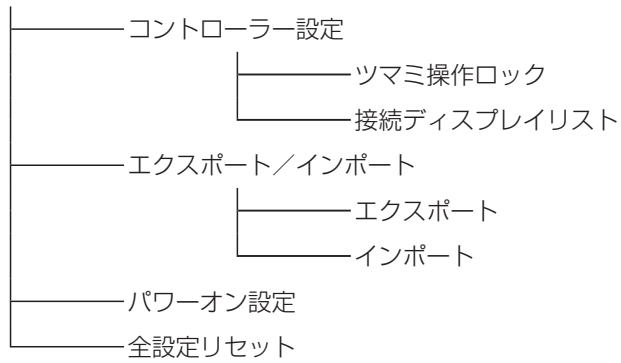
ファンクション設定 (63)




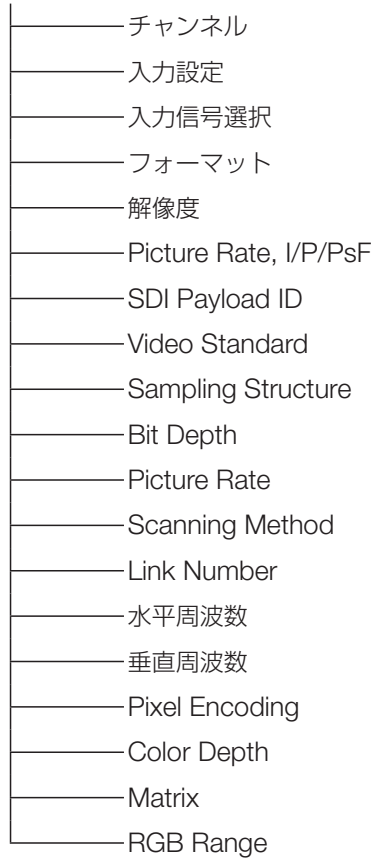



システム設定 (📄 68)

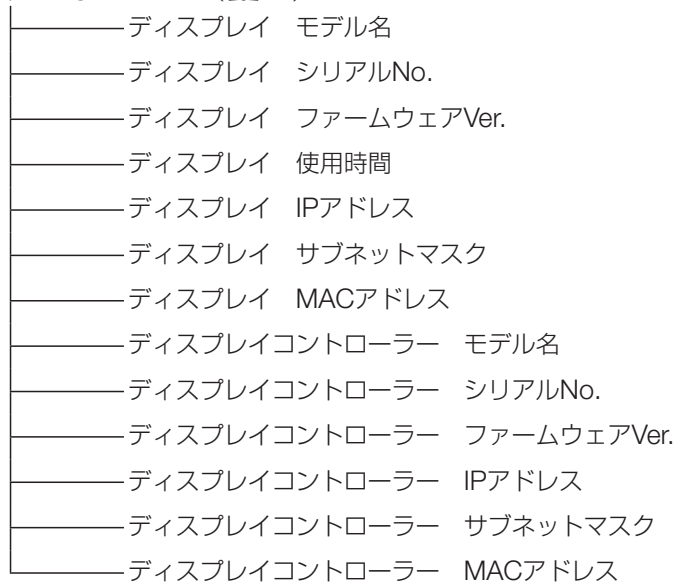




シグナルインフォメーション( 72)








システムインフォメーション( 72)




画質設定

画質を調整したり、PCレスでキャリブレーションをするときに使うメニューです。

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
ピクチャーモード	<p>プリセットモードを選択します。各設定値は  51 をご覧ください。</p> <p>SMPTE-C、EBU、ITU-R BT.709、ITU-R BT.2020、Adobe RGB、DCI-P3:各規格の輝度、色温度、ガンマ、3原色色度点の色域に設定されたモードです。</p> <p>User 1-7: 必要に応じてカスタマイズするモードです。「画質設定」にある各項目をそれぞれ設定します。モード名は半角英数記号16文字以内で変更できます。</p> <p>Canon Log: CINEMA EOS SYSTEMのカメラ/ビデオカメラで撮影した映像を表示するときに最適です。Viewing LUTをインポートしなくても、Canon Log映像を表示します。</p> <p>ACESproxy: ACESproxy(ACES 0.7/1.0)の映像を、ガンマ、色域を最適にして表示するモードです。ACESproxyのバージョンは、「システム設定」の「互換設定」で選択できます。</p>
コントラスト	<p>画像の白レベルを調整します。(1刻み)</p> <p>0 ~ 2000</p>
ブライトネス	<p>画像の黒レベルを調整します。(1刻み)</p> <p>-500 ~ 500</p>
クロマ	<p>画像の彩度(色の濃さ)を調整します。(1刻み)</p> <p>0 ~ 2000</p> <p> メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「CDL/User LUT」の「User LUT」を選択時は、調整できません。
シャープネス	<p>画像の鮮明さを調整します。(1刻み)</p> <p>0 ~ 100</p>
バックライト コントロール	<p>バックライトの制御方法を切り換えます。</p> <p>ローカルディミング(オート、強、中、弱): バックライトの発光量をエリアごとに制御する技術です。表示するコンテンツに合わせて、画像の明るい部分はバックライトを明るくし、暗い部分はバックライトを暗くします。「強」になるほど、コントラスト比が高くなります。「オート」の場合、コントラストの値に応じて自動的に発光量を制御します。コントラストの値を高くすると、「強」/「中」/「弱」の場合と比べて、画像の暗い部分はバックライトがより暗くなります。</p> <p>グローバルディミング: 画面全体でバックライトの発光量を制御する技術です。暗い画像であれば、全体を暗くします。</p> <p>オフ: いずれの処理もしません。</p> <p> メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「グローバルディミング」が設定されているとき、階調性を保持するため画像によっては一時的にコントラストが変わる場合があります。気になる場合には「オフ」にしてご確認ください。



項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)																		
色温度	<p>色温度を設定します。</p> <p>D93、D65、D61、D60、D56、D50、DCI-P3：プリセットの色温度を選択します。</p> <p>ゲインR/G/B、バイアスR/G/B：プリセットの色温度を選択したとき、1刻みで調整できます。</p> <p>ゲインR/G/B：0 ~ 1023</p> <p>バイアスR/G/B：-500 ~ 500</p> <p>カスタム(xy)：CIE x、yで0.001刻みの調整ができます。</p> <p>x：0.260 ~ 0.360</p> <p>y：0.260 ~ 0.360</p> <p>オフ：色温度を設定しません。</p> <p> メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「カスタム(xy)」と、「ゲインR/G/B」または「バイアスR/G/B」は同時に選択できません。 「ゲインR/G/B」または「バイアスR/G/B」を調整している場合、プリセットの色温度モードに「*」が表示されます。 表示される色度座標(x、y)の値は調整時の目安となるもので、絶対値を保証するものではありません。 																		
カラーガマット	<p>「ピクチャーモード」で「User 1-7」または「Canon Log」選択時に、色域を選択できます。</p> <p>SMPTE-C、EBU、ITU-R BT.709、ITU-R BT.2020、Adobe RGB、DCI-P3：各基準に準拠した色域です。</p> <p>Native：本機で表現可能な色域です。</p> <p>Cinema Gamut to 709、Cinema Gamut to 2020、Cinema Gamut to DCI、DCI-P3+ to 709、DCI-P3+ to DCI、DCI-P3 to 709、ITU-R BT.2020 to 709：CINEMA EOS SYSTEMのデジタルシネマカメラで撮影したCinema Gamut、DCI-P3+、ITU-R BT.2020、DCI-P3の映像をモニタリングするために、色域を変換するモードです。</p> <p>ACESproxy：「Canon Log」を選択時に、ACESproxyの色域を表示します。</p> <p>Gamut LUT 1 ~ Gamut LUT 8：外部のLUTを選択します。</p> <p> メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> CINEMA EOS SYSTEMのデジタルシネマカメラで撮影した映像を確認するときは、「CINEMA EOS SYSTEMとDP-V3010の設定値対応表(52)」をご参照ください。 「ITU-R BT.2020」、「Cinema Gamut to 709」、「Cinema Gamut to 2020」、「Cinema Gamut to DCI」、「DCI-P3+ to 709」、「DCI-P3+ to DCI」、「DCI-P3 to 709」、または「ITU-R BT.2020 to 709」を選択した場合、DP-V3010では次のように変換して表示します。変換後の色域外のデータも最適に表示します。 <table border="1" data-bbox="619 1451 1302 1863"> <thead> <tr> <th>入力映像の色域</th> <th>DP-V3010 で変換後の色域</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ITU-R BT.2020</td> <td>Native</td> </tr> <tr> <td>Cinema Gamut to 709</td> <td>ITU-R BT.709</td> </tr> <tr> <td>Cinema Gamut to 2020</td> <td>Native</td> </tr> <tr> <td>Cinema Gamut to DCI</td> <td>DCI-P3</td> </tr> <tr> <td>DCI-P3+ to 709</td> <td>ITU-R BT.709</td> </tr> <tr> <td>DCI-P3+ to DCI</td> <td>DCI-P3</td> </tr> <tr> <td>DCI-P3 to 709</td> <td>ITU-R BT.709</td> </tr> <tr> <td>ITU-R BT.2020 to 709</td> <td>ITU-R BT.709</td> </tr> </tbody> </table>	入力映像の色域	DP-V3010 で変換後の色域	ITU-R BT.2020	Native	Cinema Gamut to 709	ITU-R BT.709	Cinema Gamut to 2020	Native	Cinema Gamut to DCI	DCI-P3	DCI-P3+ to 709	ITU-R BT.709	DCI-P3+ to DCI	DCI-P3	DCI-P3 to 709	ITU-R BT.709	ITU-R BT.2020 to 709	ITU-R BT.709
入力映像の色域	DP-V3010 で変換後の色域																		
ITU-R BT.2020	Native																		
Cinema Gamut to 709	ITU-R BT.709																		
Cinema Gamut to 2020	Native																		
Cinema Gamut to DCI	DCI-P3																		
DCI-P3+ to 709	ITU-R BT.709																		
DCI-P3+ to DCI	DCI-P3																		
DCI-P3 to 709	ITU-R BT.709																		
ITU-R BT.2020 to 709	ITU-R BT.709																		

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
ガンマ	<p>ガンマを設定します。</p> <p>2.2、2.35、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、Canon Log、Canon Log 2、Canon Log 3 : プリセットのガンマを選択します。</p> <p>Canon Log (HDR)、Canon Log 2(HDR)、Canon Log 3 (HDR)、SMPTE ST 2084、Hybrid Log-Gamma Y、Hybrid Log-Gamma RGB : HDR表示用のガンマを選択します。</p> <p>Gamma LUT 1 ~ Gamma LUT 8 : 外部のLUTを選択します。</p> <p>オフ : ガンマを設定しません。</p> <p> メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> • CINEMA EOS SYSTEMのデジタルシネマカメラで撮影した映像を確認するときは、「CINEMA EOS SYSTEMとDP-V3010の設定値対応表(52)」をご参照ください。

「カラーガマット」と選択できる「ガンマ」の関係は次のとおりです。カラーガマットを変更した場合、現在設定中のガンマ値が選択できないときは、下線の値(初期値)に変更されます。


ピクチャーモード	カラーガマット	選択できるガンマ
SMPTE-C	選択不可	オフ、 <u>2.2</u> 、2.35、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、Canon Log、Canon Log (HDR)、SMPTE ST 2084、Gamma LUT 1 ~ Gamma LUT 8
EBU		オフ、 <u>2.2</u> 、 <u>2.35</u> 、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、Canon Log、Canon Log (HDR)、SMPTE ST 2084、Gamma LUT 1 ~ Gamma LUT 8
ITU-R BT.709、ITU-R BT.2020		オフ、 <u>2.2</u> 、2.35、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、Canon Log、Canon Log (HDR)、Canon Log 2、Canon Log 2(HDR)、Canon Log 3、Canon Log 3 (HDR)、SMPTE ST 2084、Hybrid Log-Gamma Y、Hybrid Log-Gamma RGB、Gamma LUT 1 ~ Gamma LUT 8
DCI-P3		オフ、2.2、2.35、2.4、 <u>2.6</u> 、ITU-R BT.1886、Canon Log、Canon Log (HDR)、Canon Log 2、Canon Log 2(HDR)、Canon Log 3、Canon Log 3 (HDR)、SMPTE ST 2084、Gamma LUT 1 ~ Gamma LUT 8
Adobe RGB		オフ、 <u>2.2</u> 、2.35、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、Gamma LUT 1 ~ Gamma LUT 8
Canon Log、User 1-7	SMPTE-C	オフ、 <u>2.2</u> 、2.35、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、Canon Log、Canon Log (HDR)、SMPTE ST 2084、Gamma LUT 1 ~ Gamma LUT 8
	EBU	オフ、2.2、 <u>2.35</u> 、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、Canon Log、Canon Log (HDR)、SMPTE ST 2084、Gamma LUT 1 ~ Gamma LUT 8
	ITU-R BT.709、ITU-R BT.2020	オフ、 <u>2.2</u> 、2.35、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、Canon Log、Canon Log (HDR)、Canon Log 2、Canon Log 2(HDR)、Canon Log 3、Canon Log 3 (HDR)、SMPTE ST 2084、Hybrid Log-Gamma Y、Hybrid Log-Gamma RGB、Gamma LUT 1 ~ Gamma LUT 8
	Adobe RGB	オフ、 <u>2.2</u> 、2.35、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、Gamma LUT 1 ~ Gamma LUT 8
	DCI-P3	オフ、2.2、2.35、2.4、 <u>2.6</u> 、ITU-R BT.1886、Canon Log、Canon Log (HDR)、Canon Log 2、Canon Log 2(HDR)、Canon Log 3、Canon Log 3 (HDR)、SMPTE ST 2084、Gamma LUT 1 ~ Gamma LUT 8
	Native	オフ、 <u>2.2</u> 、2.35、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、SMPTE ST 2084、Gamma LUT 1 ~ Gamma LUT 8
	Cinema Gamut to 709、Cinema Gamut to DCI	<u>Canon Log</u> 、Canon Log (HDR)、Canon Log 2、Canon Log 2(HDR)、Canon Log 3、Canon Log 3 (HDR)
	Cinema Gamut to 2020	<u>Canon Log 2</u> 、Canon Log 2 (HDR)、Canon Log 3、Canon Log 3 (HDR)
	DCI-P3 to 709、ITU-R BT.2020 to 709	<u>Canon Log 2</u> 、Canon Log 3
	DCI-P3+ to 709、DCI-P3+ to DCI	<u>Canon Log</u> 、Canon Log (HDR)
Gamut LUT 1 ~ Gamut LUT 8	オフ、 <u>2.2</u> 、2.35、2.4、2.6、ITU-R BT.1886、Gamma LUT 1 ~ Gamma LUT 8	

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
HDRレンジ	<p>HDR表示用ガンマを選択時の表示方法を設定します。</p> <p>Canon Log(HDR) :「Canon Log」が持つ0～800%のダイナミックレンジをどのレンジまで表示するかを設定します。(100刻み) 100～800</p> <p>Canon Log 2(HDR) :「Canon Log 2」が持つ0～1600%のダイナミックレンジをどのレンジまで表示するかを設定します。(100刻み) 100～1600</p> <p>Canon Log 3 (HDR) :「Canon Log 3」が持つ0～1600%のダイナミックレンジをどのレンジまで表示するかを設定します。(100刻み) 100～1600</p> <p>SMPTE ST 2084 :「SMPTE ST 2084」が持つ0.005～10,000 nitのダイナミックレンジをどのレンジまで表示するかを設定します。(100刻み) 100～4000 (2000)</p> <p>Hybrid Log-Gamma Y/RGB :「Hybrid Log-Gamma」が持つダイナミックレンジをどのレンジまで表示するかを設定します。(100～1000までは、100刻み) 上限値は、「Hybrid Log-Gamma System」の設定内容に応じて変わります。 (49)</p> <p>Hybrid Log-Gamma Y : 100～1000/2000/4000 Hybrid Log-Gamma RGB : 100～1000/2000</p> <p>※設定のしかた Canon Log(HDR)を例にとって説明します。 最大値(800%)に設定すると、Canon Logの800%のダイナミックレンジを、本機のダイナミックレンジに割り付けて表示します。見た目の明るさは低下しますが、映像信号に含まれるダイナミックレンジを確認できます。200%に設定すると、200%を超える部分はクリップ(階調を飽和させる)し、200%以下を本機のダイナミックレンジに割り付けて表示します。 「SMPTE ST 2084」の場合は、0.005～10,000 nitのダイナミックレンジを持っているため、最大値(4000 nit)に設定すると、4000 nitを超える部分はクリップし、4000 nit以下を本機のダイナミックレンジに割り付けて表示します。見た目の明るさは低下しますが、4000 nitまでのダイナミックレンジを確認できます。1000 nitに設定すると、1000 nitを超える部分はクリップし、1000 nit以下を本機のダイナミックレンジに割り付けて表示します。 本機の表示輝度は、コントラスト設定値に対応した明るさになります。</p> <p style="text-align: center;">Canon Log 800%の信号 (コントラスト : 2000)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>Canon Log (HDR) : 800に設定</p> <p>Canon Log のレンジ</p> <p>DP-V3010 のレンジ</p> <p>800%</p> <p>200%</p> <p>DP-V3010のレンジに割りつけて階調を再現する(輝度は低下する)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>Canon Log (HDR) : 200に設定</p> <p>Canon Log のレンジ</p> <p>DP-V3010 のレンジ</p> <p>800%</p> <p>200%</p> <p>クリップ(階調を飽和させる)</p> <p>200% コントラスト設定に対応した輝度値</p> </div> </div>

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)																	
Output Transform	<p>「ピクチャーモード」の「Canon Log(「カラーガマット」→「ACESproxy」を選択)」または「ACESproxy」を選択時、ガンマ、カラーガマットに代わって表示されます。 ITU-R BT.709、ITU-R BT.2020、DCI-P3 : ACESproxyをそれぞれのモードに変換します。</p> <p> メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ITU-R BT.2020」は、「互換設定」の「ACES」で「1.0」を選択時のみ設定できます。 																	
Output Transform Surround	<p>「ピクチャーモード」の「Canon Log(「カラーガマット」→「ACESproxy」を選択)」または「ACESproxy」を選択時、「ガンマ」、「カラーガマット」に代わって表示されます。 「互換設定」の「ACES」で、「1.0」を選択時のみ、設定できます。</p> <p>Dim Surround : ACESproxy (ACES 1.0)で規定されているDim Surround処理を有効にします。</p> <p>Dark Surround : ACESproxy (ACES 1.0)で規定されているDark Surround処理を有効にします。</p>																	
カラーレンジ	<p>量子化レンジを設定します。</p> <p>オート : 信号情報から自動的にレンジを設定します。</p> <p>フル(0-255) : 黒レベル : 0、白レベル : 1023(10-bit)/4095(12-bit)に設定します。</p> <p>リミテッド1(16-235) : 黒と白のレンジを制限します。 黒レベル : 64(10-bit)/256(12-bit) 白レベル : 940(10-bit)/3760(12-bit)</p> <p>リミテッド2(16-255) : 黒のレンジを制限します。 黒レベル : 64(10-bit)/256(12-bit) 白レベル : 1023(10-bit)/4095(12-bit)</p> <p> メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「互換設定」の「ACES」で「1.0」を選択をしている場合、「ピクチャーモード」の「ACESproxy」、または「カラーガマット」の「ACESproxy」を選択時は、設定できません。 「オート」時の動作は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> - DisplayPort選択時は、DisplayPort信号情報により「フル(0-255)」または「リミテッド1(16-235)」に自動設定。 - SDI選択時は、「ピクチャーモード」、「カラーガマット」、「ガンマ」の設定に応じて設定されます。 <table border="1" data-bbox="496 1339 1453 1796"> <thead> <tr> <th></th> <th>設定内容</th> <th>設定されるカラーレンジ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ピクチャーモード</td> <td>DCI-P3</td> <td rowspan="3">フル(0-255)</td> </tr> <tr> <td>カラーガマット</td> <td>DCI-P3、 Cinema Gamut to DCI、 DCI-P3+ to DCI</td> </tr> <tr> <td>ガンマ</td> <td>Canon Log(HDR)、 Canon Log 2(HDR)、 Canon Log 3(HDR)、 SMPTE ST 2084</td> </tr> <tr> <td></td> <td>Canon Log、Canon Log 2、 Canon Log 3</td> <td>リミテッド2(16-255)</td> </tr> <tr> <td>上記以外</td> <td></td> <td>リミテッド1(16-235)</td> </tr> </tbody> </table>			設定内容	設定されるカラーレンジ	ピクチャーモード	DCI-P3	フル(0-255)	カラーガマット	DCI-P3、 Cinema Gamut to DCI、 DCI-P3+ to DCI	ガンマ	Canon Log(HDR)、 Canon Log 2(HDR)、 Canon Log 3(HDR)、 SMPTE ST 2084		Canon Log、Canon Log 2、 Canon Log 3	リミテッド2(16-255)	上記以外		リミテッド1(16-235)
	設定内容	設定されるカラーレンジ																
ピクチャーモード	DCI-P3	フル(0-255)																
カラーガマット	DCI-P3、 Cinema Gamut to DCI、 DCI-P3+ to DCI																	
ガンマ	Canon Log(HDR)、 Canon Log 2(HDR)、 Canon Log 3(HDR)、 SMPTE ST 2084																	
	Canon Log、Canon Log 2、 Canon Log 3	リミテッド2(16-255)																
上記以外		リミテッド1(16-235)																

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
CDL/User LUT	<p>CDLまたはUser LUTの各種設定をします。 タイプ(CDL、User LUT、オフ): タイプを選択します。</p> <p>■「CDL」を選択時</p> <p>CDLプリセット: CDLのプリセットを選択します。 CDL 1 ~ CDL 15</p> <p>Power: 画像のガンマを調整します。(0.01刻み) 0.50 ~ 4.00(1.00)</p> <p>Saturation: 画像の彩度を調整します。(0.001刻み) 0.000 ~ 2.000(1.000)</p> <p>Offset: 画像の黒レベルを調整します。(0.001刻み) -1.000 ~ 1.000(0.000)</p> <p>Slope: 画像の白レベルを調整します。(0.001刻み) 0.000 ~ 2.000(1.000)</p> <p>CDL/User LUTバイパス: 「オン」にすると、CDLでの調整結果を一時的に無効にし、調整前の画質に戻すことができます。 オン、オフ</p> <p>詳細設定</p> <p>CDLエクスポート: CDLでの調整値をエクスポートします。 CDLプリセット(CDL 1 ~ CDL 15、すべて)、ファイル形式(CCC、CDL)、実行</p> <p>CDLインポート: CDLでの調整値をインポートします。 ファイル名、CDLプリセット(CDL 1 ~ CDL 15)、実行</p> <p>CDLプリセット名: 半角英数字記号16文字以内で、プリセットモードの名称を設定できます。</p> <p>CDLアンカー: 「Power」、「Saturation」、「Offset」、「Slope」の各調整値を一時的に保存して、その値に戻すことができます。(アンカーポイントの設定)</p> <p>CDLリセット: CDLでの調整値をリセットします。</p> <p>■「User LUT」を選択時</p> <p>User LUT: User LUTのプリセットを設定します。 User LUT 1 ~ User LUT 8</p> <p>CDL/User LUTバイパス: 「オン」にすると、User LUTを適用する前の画質に戻すことができます。 オン、オフ</p> <p>📝 メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「User LUT」を選択している場合、「CDL」の全項目、「クロマ」および「ブルーオンリー」は操作できません。

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
詳細設定	ピクチャーモードの詳細な設定をします。
LUTインポート	<p>「ピクチャーモード」の「Canon Log(「カラーガマット」→「ACESproxy」を選択)」または「ACESproxy」以外を選択時、LUTのインポートができます。インポートできるファイルの名称は、英数字記号(半角)で48文字までです(拡張子を含む)。</p> <p>ファイル名：ファイル名を選択します。</p> <p>LUTタイプ(User LUT、Gamma LUT、Gamut LUT)：LUTの種類を選択します。</p> <p>LUT選択：User LUT/Gamma LUT/Gamut LUT 1～8を選択します。</p> <p>基準カラーガマット(SMPTE-C、EBU、ITU-R BT.709、Adobe RGB、DCI-P3、Native)：「LUTタイプ」で「Gamut LUT」を選択した場合に、LUT作成時に使用した色域を選択します。</p> <p>実行：インポートを実行します。</p>
LUT名	<p>半角英数字記号24文字以内で、LUTの名称を設定できます。</p> <p>LUTタイプ(User LUT、Gamma LUT、Gamut LUT)：LUTの種類を選択します。</p> <p>LUT選択：User LUT/Gamma LUT/Gamut LUT 1～8を選択します。</p> <p>名称入力：LUTの名称を入力します。</p>
LUT消去	<p>インポートしたLUTを消去します。</p> <p>LUTタイプ(User LUT、Gamma LUT、Gamut LUT)：LUTの種類を選択します。</p> <p>LUT選択：User LUT/Gamma LUT/Gamut LUT 1～8を選択します。</p> <p>消去：消去を実行します。</p>
YCbCr カラーマトリクス	<p>入力信号がYCbCrフォーマットのときのマトリクス変換方法を設定します。</p> <p>オート：「ピクチャーモード」または「カラーガマット」の設定が「ITU-R BT.2020」のときはITU-R BT.2020規格、それ以外はITU-R BT.709規格に準拠したマトリクス係数を設定します。</p> <p>ITU-R BT.709：ITU-R BT.709規格に準拠したマトリクス係数を設定します。</p> <p>ITU-R BT.2020：ITU-R BT.2020規格に準拠したマトリクス係数を設定します。</p>
2020 ガマットマッピング	<p>「ピクチャーモード」の「ITU-R BT.2020」選択時、または「ピクチャーモード」の「User 1～User 7」または「Canon Log」で、かつ「カラーガマット」の「ITU-R BT.2020」選択時に設定します。</p> <p>ガマットマッピング：ネイティブ色域外の色をキヤノン独自の方式でマッピングします。</p> <p>クリッピング：ネイティブ色域外の色を一般的な方式でクリップします。</p>
Hybrid Log-Gamma System	<p>「ガンマ」の「Hybrid Log-Gamma Y」または「Hybrid Log-Gamma RGB」を選択時、ピーク輝度を設定します。</p> <p>各設定値の最大値が、「HDRレンジ」の上限値になります。</p> <p>■ 「Hybrid Log-Gamma Y」を選択時 $\gamma 1.2 - 1000 \text{ cd/m}^2$、$\gamma 1.325 - 2000 \text{ cd/m}^2$、$\gamma 1.45 - 4000 \text{ cd/m}^2$</p> <p>■ 「Hybrid Log-Gamma RGB」を選択時 $\gamma 1.2 - 1000 \text{ cd/m}^2$、$\gamma 1.2 - 2000 \text{ cd/m}^2$</p>

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
キャリブレーション	<p>「ピクチャーモード」の「User 1～User 7」選択時、設定した目標値をもとにキャリブレーションを実行します。</p> <p>ルミナンス：目標輝度を設定します。 48～200 cd/m²</p> <p>色温度：目標色温度を設定します。 D93、D65、D61、D60、D56、D50、DCI-P3：プリセットの色温度を選択します。 カスタム(xy)：CIE x, y で0.001刻みの調整ができます。 x：0.260～0.360(0.314) / y：0.260～0.360(0.351)</p> <p>カラーガマット：色域を設定します。 SMPTE-C、EBU、ITU-R BT.709、ITU-R BT.2020、Adobe RGB、DCI-P3</p> <p>ガンマ：目標ガンマを設定します。 2.2、2.35、2.4、2.6、ITU-R BT.1886</p> <p>スタート：キャリブレーションを実行します。</p> <p> メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ルミナンス」を高輝度に設定した場合、「色温度」の設定内容によっては、輝度の調整範囲を越えて、目標値より低い輝度でキャリブレーションされる場合があります。その場合は、「ルミナンス」を再設定してください。
ピクチャーモードコピー	<p>「ピクチャーモード」の「User 1～User 7」選択時、ピクチャーモードを選択してその内容をコピーします。選択できるモードは次のとおりです。</p> <p>ピクチャーモード：SMPTE-C、EBU、ITU-R BT.709、ITU-R BT.2020、Adobe RGB、DCI-P3、User 1-7(現設定値以外)</p> <p>実行：コピーを実行します。</p>
ピクチャーモード名	<p>半角英数字記号16文字以内で、「User 1～User 7」の名前を変更できます。</p>
画質設定アンカー	<p>SHARPNESS / CHROMA / BRIGHTNESS / CONTRASTを調整中に調整値を一時的に保存します(アンカーポイントの設定)。</p> <p>OK：アンカーポイントを設定します。</p> <p>キャンセル：アンカーポイント設定を実行せずに、1つ前の画面に戻ります。</p>
画質設定リセット	<p>「ピクチャーモード」の設定内容を工場出荷時に戻します。キャリブレーションを実行している「User 1～User 7」モードは、工場出荷時ではなくキャリブレーション後の設定内容に戻ります。選択すると「画質設定の設定値を初期状態に戻しますか？」というメッセージが表示されます。</p> <p>OK：リセットを実行します。</p> <p>キャンセル：リセットを実行せずに、1つ前の画面に戻ります。</p>

各「ピクチャーモード」の工場出荷時の設定内容は、次のとおりです。

設定項目	SMPTE-C	EBU	ITU-R BT. 709	ITU-R BT.2020	Adobe RGB
コントラスト	1000	1000	1000	1000	1000
ブライトネス	0	0	0	0	0
クロマ	1000	1000	1000	1000	1000
シャープネス	0	0	0	0	0
ローカルディミング	中	中	中	中	中
色温度	プリセット	D65	D65	D65	D65
	x	0.313	0.313	0.313	0.313
	y	0.329	0.329	0.329	0.329
	ゲインR/G/B	1023	1023	1023	1023
	バイアスR/G/B	0	0	0	0
ガンマ	2.2	2.35	2.2	2.2	2.2
カラーガマット	SMPTE-C	EBU	ITU-R BT.709	ITU-R BT.2020	Adobe RGB
カラーレンジ	オート	オート	オート	オート	オート
Output Transform	—	—	—	—	—
Output Transform Surround	—	—	—	—	—
CDLプリセット	CDL 1	CDL 2	CDL 3	CDL 4	CDL 5
User LUT	User LUT 1	User LUT 1	User LUT 1	User LUT 1	User LUT 1
YCbCr カラーマトリクス	オート	オート	オート	オート	オート
2020 ガマットマッピング	ガマットマッピング	ガマットマッピング	ガマットマッピング	ガマットマッピング	ガマットマッピング
Hybrid Log-Gamma System	$\gamma 1.2 - 1000 \text{ cd/m}^2$	$\gamma 1.2 - 1000 \text{ cd/m}^2$	$\gamma 1.2 - 1000 \text{ cd/m}^2$	$\gamma 1.2 - 1000 \text{ cd/m}^2$	$\gamma 1.2 - 1000 \text{ cd/m}^2$

設定項目		DCI-P3	User 1-7	Canon Log	ACESproxy
コントラスト		480	480	1000	480
ブライトネス		0	0	0	0
クロマ		1000	1000	1000	1000
シャープネス		0	0	0	0
ローカルディミング		中	中	中	中
色温度	プリセット	DCI-P3	DCI-P3	D65	D60
	x	0.314	0.314	0.313	0.322
	y	0.351	0.351	0.329	0.338
	ゲインR/G/B	1023	1023	1023	1023
	バイアスR/G/B	0	0	0	0
ガンマ		2.6	2.6	Canon Log	—
カラーガマット		DCI-P3	DCI-P3	ITU-R BT.709	ACESproxy
カラーレンジ		オート	オート	オート	オート
Output Transform		—	—	DCI-P3	DCI-P3
Output Transform Surround		—	—	Dark Surround	Dark Surround
CDLプリセット		CDL 6	CDL 7-13	CDL 14	CDL 15
User LUT		User LUT 1	User LUT 1	User LUT 1	User LUT 1
YCbCr カラーマトリクス		オート	オート	オート	オート
2020 ガマットマッピング		ガマットマッピング	ガマットマッピング	ガマットマッピング	ガマットマッピング
Hybrid Log-Gamma System		$\gamma 1.2 - 1000 \text{ cd/m}^2$	$\gamma 1.2 - 1000 \text{ cd/m}^2$	$\gamma 1.2 - 1000 \text{ cd/m}^2$	$\gamma 1.2 - 1000 \text{ cd/m}^2$

CINEMA EOS SYSTEMとDP-V3010の設定値対応表

CINEMA EOS SYSTEM		DP-V3010			
Color Space	Gamma	カラーガマット	ガンマ	色温度	カラーレンジ
BT.709	Canon Log	ITU-R BT.709	Canon Log	D65	オート
BT.2020		ITU-R BT.2020		D65	
Cinema Gamut		Cinema Gamut to 709		D65	
		Cinema Gamut to DCI-P3		DCI-P3	
DCI-P3+		DCI-P3+ to 709		D65	
		DCI-P3+ to DCI-P3		DCI-P3	
BT.2020	Canon Log 2, Canon Log 3	ITU-R BT.2020	Canon Log 2, Canon Log 3	D65	
Cinema Gamut		Cinema Gamut to 709		D65	
		Cinema Gamut to DCI-P3		DCI-P3	

チャンネル設定

入力信号に関する設定を行うときに使うメニューです。「セレクトチャンネル」からチャンネルを選択して、設定します。

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
セレクトチャンネル	<p>チャンネル番号を表示して、チャンネルを切り換えます。また、各チャンネルには、「チャンネル設定」の各内容を設定できます(54)。</p> <p>CH1 ~ CH30</p> <p> メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> チャンネルを切り換えるとき、10秒程度時間がかかる場合があります。
入力設定	<p>入力を選択します。工場出荷時の設定内容はチャンネルによって異なります(54)。</p> <p>3G/HD-SDI 1、3G/HD-SDI 2、Dual Link HD-SDI、DisplayPort、-(未設定)</p>
入力信号選択	<p>信号の表示方法を設定します(18)。</p> <p>オート：「4K Input」と「Single Input」を自動で判別します。</p> <p>4K Input：4つに分割して伝送された信号を表示します。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>Single Input：1入力からの信号を画面中央に表示します。A～Dの中から選択します。</p> <div style="text-align: center;">  </div>
フォーマット	<p>カラーフォーマットと信号の階調を設定します。</p> <p>オート、4:2:2 YCbCr 10-bit、4:2:2 YCbCr 12-bit、4:4:4 YCbCr 10-bit、4:4:4 YCbCr 12-bit、4:4:4 RGB 10-bit、4:4:4 RGB 12-bit、4:4:4 XYZ 12-bit</p> <p> メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> HD-SDIは「4:2:2 YCbCr 10-bit」固定です。 DisplayPortは「オート」固定です。 「オート」の場合 <ul style="list-style-type: none"> 「4K Input」のとき、表示エリアA→B→C→Dの順で選択された信号のPayloadで処理されます。 3G-SDIまたはDual Link HD-SDI入力時にPayloadがない信号は、「4:4:4 RGB 10-bit」で処理されます。
インターナルシンク	<p>「4K Input」のとき、4入力を同期させるかを設定します。</p> <p>オン：強制的に同期をとります。</p> <p>オフ：同期をとりません。</p>
チャンネル名	<p>選択したチャンネルに、名前を設定します。入力できる文字は英数字記号(半角)で、16文字までです。</p>
ピクチャーモード	<p>ピクチャーモードを設定します。</p>

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)																
カラーレンジ	<p>量子化レンジを設定します。</p> <p>オート：信号情報から自動的にレンジを設定します。</p> <p>フル(0-255)：黒レベル：0、白レベル：1023(10-bit)/4095(12-bit)に設定します。</p> <p>リミテッド1(16-235)：黒と白のレンジを制限します。 黒レベル：64(10-bit)/256(12-bit) 白レベル：940(10-bit)/3760(12-bit)</p> <p>リミテッド2(16-255)：黒のレンジを制限します。 黒レベル：64(10-bit)/256(12-bit) 白レベル：1023(10-bit)/4095(12-bit)</p> <p>📝 メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「互換設定」の「ACES」で「1.0」を選択をしている場合、「ピクチャーモード」の「ACESproxy」、または「カラーガマット」の「ACESproxy」を選択時は、設定できません。 「オート」時の動作は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> - DisplayPort選択時は、DisplayPort信号情報により「フル(0-255)」または「リミテッド1(16-235)」に自動設定。 - SDI選択時は、「ピクチャーモード」、「カラーガマット」、「ガンマ」の設定に応じて設定されます。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>設定内容</th> <th>設定されるカラーレンジ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ピクチャーモード</td> <td>DCI-P3</td> <td rowspan="3">フル(0-255)</td> </tr> <tr> <td>カラーガマット</td> <td>DCI-P3、 Cinema Gamut to DCI、 DCI-P3+ to DCI</td> </tr> <tr> <td>ガンマ</td> <td>Canon Log(HDR)、 Canon Log 2(HDR)、 Canon Log 3(HDR)、 SMPTE ST 2084</td> </tr> <tr> <td></td> <td>Canon Log、Canon Log 2、 Canon Log 3</td> <td>リミテッド2(16-255)</td> </tr> <tr> <td>上記以外</td> <td></td> <td>リミテッド1(16-235)</td> </tr> </tbody> </table>		設定内容	設定されるカラーレンジ	ピクチャーモード	DCI-P3	フル(0-255)	カラーガマット	DCI-P3、 Cinema Gamut to DCI、 DCI-P3+ to DCI	ガンマ	Canon Log(HDR)、 Canon Log 2(HDR)、 Canon Log 3(HDR)、 SMPTE ST 2084		Canon Log、Canon Log 2、 Canon Log 3	リミテッド2(16-255)	上記以外		リミテッド1(16-235)
	設定内容	設定されるカラーレンジ															
ピクチャーモード	DCI-P3	フル(0-255)															
カラーガマット	DCI-P3、 Cinema Gamut to DCI、 DCI-P3+ to DCI																
ガンマ	Canon Log(HDR)、 Canon Log 2(HDR)、 Canon Log 3(HDR)、 SMPTE ST 2084																
	Canon Log、Canon Log 2、 Canon Log 3	リミテッド2(16-255)															
上記以外		リミテッド1(16-235)															

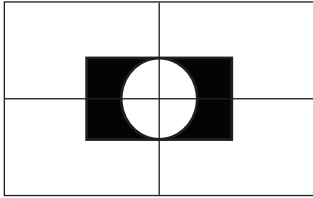
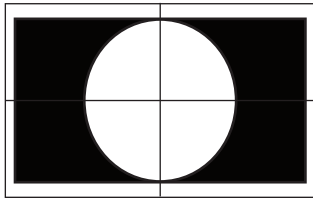
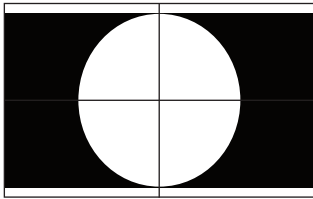

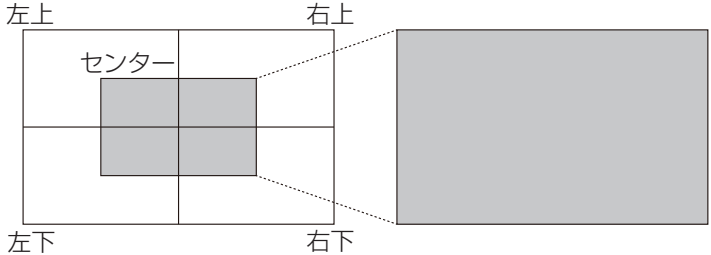

各チャンネルの工場出荷時の設定内容は表のとおりです。

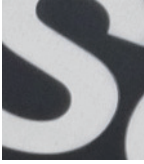


CH	CH1	CH2	CH3	CH4	CH5 ~ CH30
入力設定	3G/HD-SDI 1	3G/HD-SDI 2	Dual Link HD-SDI	DisplayPort	—
入力信号選択	オート	オート	オート	オート	オート
フォーマット	オート	オート	オート	オート	オート
インターナルシンク	オフ	オフ	オフ	オフ	オフ
チャンネル名	(空欄)	(空欄)	(空欄)	(空欄)	(空欄)
ピクチャーモード	DCI-P3	DCI-P3	DCI-P3	DCI-P3	DCI-P3
カラーレンジ	オート	オート	オート	オート	オート


—：未設定

ディスプレイ設定

表示のしかたを設定するときに使うメニューです。




項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
<p>スクリーン スケーリング</p>	<p>画像をスケーリングして画面にどのように表示するかを設定します。 Native Input Resolution : スケーリングをせずに入力信号をそのまま表示します。</p>  <p>1920x1080(オリジナル)</p> <p>200% : 縦横2倍に拡大します。</p>  <p>1920x1080→3840x2160</p> <p>オート : 画面全体に拡大して表示します。</p>  <p>1920x1080→4096x2304</p> <p> メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> 次の場合、「オート」を選択しても、拡大率は最大200%です。 <ul style="list-style-type: none"> - 「ピーキング1」または「ピーキング2」が選択されている場合 - 「フォルスカラー」が「オン」の場合
<p>ズーム</p>	<p>解像度が4096x2560、4096x2160または3840x2160の場合、画面の中央、または画面4分割中の1つを選択して、拡大表示します。 センター、左上、右上、左下、右下、オフ</p>  <p> メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> SDI信号で、「Hディレイ」または「Vディレイ」が「オン」の場合は設定できません。 DisplayPort信号の場合、「センター」は選択できません。


項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
スケーリング法	<p>「スクリーンスケーリング」で「200%」または「オート」を選択した場合の補間法を設定します。 <u>シェーブトレース</u>：ジャギーが目立たない滑らかな斜め線が再現できる、キヤノンオリジナルの処理です。</p>  <p><u>バイキュービック</u>：隣接する画素の情報を利用して補間画素を作る一般的な補間処理です。</p>  <p><u>ニアレストネイバー</u>：最も近くの画素の情報を用いて新しい画素を作る(コピー)処理です。元の画素をそのまま拡大して確認する場合には適しますが、ジャギーが目立ちます。</p>  <p><input checked="" type="checkbox"/> メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> SDI信号で、「Hディレイ」または「Vディレイ」が「オン」の場合は設定できません。
フレームホールド	<p>映像を一時停止します。 オン、オフ</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ピーキング1」または「ピーキング2」が選択されている場合、設定できません。 「フォルスカラー」が「オン」の場合、設定できません。
バックグラウンドカラー	<p>黒帯と映像との境界を確認するために、黒帯の色を設定します。 ホワイト、グレー、オフ</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ピーキング1」または「ピーキング2」が選択されている場合、設定できません。
I/PsF	<p>インターレース信号またはPsF信号をどのように表示するかを設定します。 オート：Payloadを元に自動判別し表示します。Payloadがない場合には、インターレースとして表示します。 インターレース：インターレースとして表示します。 PsF：PsFとして表示します。</p>
I/P変換	<p>インターレース信号のI/P変換法を設定します。 画質優先：画質を優先するモードです。「速度優先」より処理時間は長くなります。 速度優先：速度を優先するモードです。</p>
PsF	<p>PsF信号をどのように表示するかを設定します。 プログレッシブ：対になる2フィールドを検知し、画質を優先して補間します。 インターレース：隣接する2フィールドを用いて速度を優先して補間します。</p>

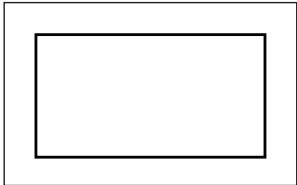
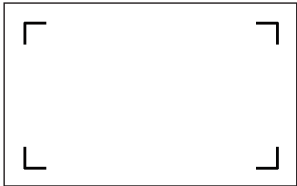
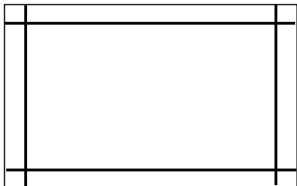
項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
フィルムケイデンス	<p>フィルムケイデンスモードを設定します。</p> <p>2-2 : 2-2プルダウン処理されたインターレース信号入力のとキプログレッシブ変換映像を表示します。</p> <p>2-3 : 2-3プルダウン処理されたインターレース信号入力のとキプログレッシブ変換映像を表示します。</p> <p>2-3-3-2 : 2-3-3-2プルダウン処理されたインターレース信号入力のとキプログレッシブ変換映像を表示します。</p> <p>オフ : フィルムケイデンスモード設定によるプログレッシブ変換を行いません。</p> <p> メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「I/P変換」の設定が「画質優先」の場合にのみ設定できます。


マーカー設定



各種マーカーを設定するときに使うメニューです。

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
マーカープリセット	マーカーをカスタマイズして、マーカー1～5に設定します。 マーカー1～5、オフ
アスペクトマーカー	アスペクトマーカーとは、指定されたアスペクト比で範囲を表示するものです。  <p> <input type="checkbox"/> メモ </p> <ul style="list-style-type: none"> SDI信号で、「Hディレイ」または「Vディレイ」が「オン」の場合は設定できません。 次の場合、アスペクトマーカーは表示できません。 <ul style="list-style-type: none"> 無信号、非対応信号、または「入力設定」が設定されていないチャンネルを選択した場合 画像がズーム表示されている場合 「スクリーンキャプチャー」の「ファイル再生」を実行中 「Hディレイ」または「Vディレイ」が「オン」の場合 「テストパターン」が表示されている場合 「ピーキング1」または「ピーキング2」が選択されている場合
表示	アスペクトマーカーの表示、非表示を切り換えます。 オン、オフ
マスク	マスクの色を切り換えます。マスクとは、マーカーの範囲外のブランキングエリアです。 ブラック：  <p> ハーフ(50%グレー)：  </p> <p> オフ： マスクを表示しません。 </p> <p> <input type="checkbox"/> メモ </p> <ul style="list-style-type: none"> 波形モニターとベクトルスコープ、タイムコードはマスクの下に表示されるため、表示の一部が見えなくなります。

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
アスペクト比	アスペクトマーカのアスペクト比を設定します。 16:9、15:9、14:9、13:9、4:3、2.39:1、2.35:1、1.896:1、1.85:1、1.66:1、バリエブル 「バリエブル」を選択すると、数値で入力できます(0.01:1刻み)。グレー表示されていたスライダーがアクティブになり、スライダーを動かすことで設定できます。 1.00:1 ~ 3.00:1(1.78:1)
ライン	「マスク」で「ブラック」または「ハーフ」を選択時に、アクティブになります。マスク上の線の表示、非表示を切り換えます。 オン、オフ
ラインの太さ	アスペクトマーカの線の太さを設定します。 太い、標準、細い
ラインの色	アスペクトマーカの線の色を設定します。 ホワイト、レッド、グリーン、ブルー、イエロー、シアン、マゼンタ
ラインの明るさ	アスペクトマーカの線の明るさを設定します。 明、暗
Hポジション	設定されたアスペクトのまま、水平位置を移動できます。 -65 ~ 65(0)
Vポジション	設定されたアスペクトのまま、垂直位置を移動できます。 -35 ~ 35(0)
セーフティゾーン マーカ-1、2	セーフティゾーンマーカ-は2種類を設定できます。設定項目は1、2共通です。セーフティゾーンマーカ-とは、映像の安全範囲(実際に映る範囲)を設定して、映像を確認するものです。  メモ <ul style="list-style-type: none"> • SDI信号で、「Hディレイ」または「Vディレイ」が「オン」の場合は設定できません。 • 次の場合、セーフティゾーンマーカ-は表示できません。 <ul style="list-style-type: none"> - 無信号、非対応信号、または「入力設定」が設定されていないチャンネルを選択した場合 - 画像がズーム表示されている場合 - 「スクリーンキャプチャー」の「ファイル再生」を実行中 - 「Hディレイ」または「Vディレイ」が「オン」の場合 - 「テストパターン」が表示されている場合 - 「ピーキング1」または「ピーキング2」が選択されている場合
表示	セーフティゾーンマーカ-の表示、非表示を切り換えます。 オン、オフ
アスペクト比	セーフティゾーンマーカ-のアスペクト比を設定します。 16:9、15:9、14:9、13:9、4:3、2.39:1、2.35:1、1.896:1、1.85:1、1.66:1、バリエブル 「バリエブル」を選択すると、数値で入力できます(0.01:1刻み)。グレー表示されていたスライダーがアクティブになり、スライダーを動かすことで設定できます。 1.00:1 ~ 3.00:1(1.78:1) メモ <ul style="list-style-type: none"> • 「エリアのサイズ」で「バリエブル(ドット)」が設定されている場合、「アスペクト比」は選択できません。






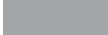










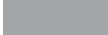









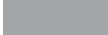





項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
エリアのサイズ	セーフティゾーンマーカのサイズを設定します。 80%、88%、90%、93%、バリアブル(%)、バリアブル(ドット) 「バリアブル(%)」を選択すると、グレー表示されていた「倍率(%)」がアクティブになります。「バリアブル(ドット)」を選択すると、グレー表示されていた「幅(ドット)」と「高さ(ドット)」がアクティブになります。スライドバーを動かすことで設定できます。
倍率(%)	「エリアのサイズ」で「バリアブル(%)」を選択したときにアクティブになります。スライドバーを動かすことにより、1%単位で現在表示されているマーカに対する比率を設定できます。 50 ~ 100(80)
幅(ドット)	「エリアのサイズ」で「バリアブル(ドット)」を選択したときにアクティブになります。スライドバーを動かすことにより、2ドット単位で設定できます。 360 ~ 4096(3276)
高さ(ドット)	「エリアのサイズ」で「バリアブル(ドット)」を選択したときにアクティブになります。スライドバーを動かすことにより、2ドット単位で設定できます。 240 ~ 2560(1728)
エリアの形	セーフティゾーンマーカのエリアの形を設定します。 ボックス：  ブラケット：  エンクロージャー： 
ラインの太さ	セーフティゾーンマーカの線の太さを設定します。 太い、標準、細い
ラインの色	セーフティゾーンマーカの線の色を設定します。 ホワイト、レッド、グリーン、ブルー、イエロー、シアン、マゼンタ
ラインの明るさ	セーフティゾーンマーカの線の明るさを設定します。 明、暗
Hポジション	設定されたアスペクトとサイズのまま、水平位置を移動できます。 -65 ~ 65(0)
Vポジション	設定されたアスペクトとサイズのまま、垂直位置を移動できます。 -35 ~ 35(0)




項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
エリアマーカー	<p>エリアマーカーは、矩形を設定して所定の部分を確認するときに使用するマーカーです。</p>  <p>✎ メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> SDI信号で、「Hディレイ」または「Vディレイ」が「オン」の場合は設定できません。 次の場合、「エリアマーカー」は表示できません。 <ul style="list-style-type: none"> 無信号、非対応信号、または「入力設定」が設定されていないチャンネルを選択した場合 画像がズーム表示されている場合 「スクリーンキャプチャー」の「ファイル再生」を実行中 「Hディレイ」または「Vディレイ」が「オン」の場合 「テストパターン」が表示されている場合 「ピーキング1」または「ピーキング2」が選択されている場合
表示	<p>エリアマーカーの表示、非表示を切り換えます。 オン、オフ</p>
Hポジション	<p>矩形の描画開始位置(X座標)を設定します(2刻み)。 0 ~ 4086(240)</p>
Vポジション	<p>矩形の描画開始位置(Y座標)を設定します(2刻み)。 0 ~ 2550(120)</p>
幅(ドット)	<p>矩形の幅を設定します(2刻み)。 10 ~ 4096(240)</p>
高さ(ドット)	<p>矩形の高さを設定します(2刻み)。 10 ~ 2560(120)</p>
マスク	<p>マスク(マーカー内)の色を切り換えます。 ブラック、ハーフ、オフ</p> <p>✎ メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> 波形モニターとベクトルスコープ、タイムコードはマスクの下に表示されるため、表示の一部が見えなくなります。
ライン	<p>矩形輪郭の線の表示、非表示を切り換えます。 オン、オフ</p>
ラインの太さ	<p>エリアマーカーの線の太さを設定します。 太い、標準、細い</p>
ラインの色	<p>エリアマーカーの線の色を設定します。 ホワイト、レッド、グリーン、ブルー、イエロー、シアン、マゼンタ</p>
ラインの明るさ	<p>エリアマーカーの線の明るさを設定します。 明、暗</p>

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
センターマーカー	<p>センターマーカーとは、映像の中心を表示するものです。</p>  <p> メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> • 画像がズーム表示されているときは、「センターマーカー」は表示できません。 • 「ピーキング1」または「ピーキング2」が選択されている場合、「センターマーカー」は表示できません。
表示	<p>センターマーカーの表示、非表示を切り換えます。 オン、オフ</p>
サイズ	<p>センターマーカーの大きさを設定します。 大、小</p>
ラインの太さ	<p>センターマーカーの線の太さを設定します。 太い、標準、細い</p>
ラインの色	<p>センターマーカーの線の色を設定します。 ホワイト、レッド、グリーン、ブルー、イエロー、シアン、マゼンタ</p>
ラインの明るさ	<p>センターマーカーの線の明るさを設定します。 明、暗</p>
グリッドマーカー	<p>グリッドマーカーとは、水平、垂直を確認するときに使用するマーカーです。</p>  <p> メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> • 画像がズーム表示されているときは、「グリッドマーカー」は表示できません。 • 「ピーキング1」または「ピーキング2」が選択されている場合、「グリッドマーカー」は表示できません。
表示	<p>グリッドマーカーの表示、非表示を切り換えます。 オン、オフ</p>
間隔	<p>縦横の線の間隔を設定します。 160 ドット、240 ドット、320 ドット</p>
ラインの太さ	<p>グリッドマーカーの線の太さを設定します。 太い、標準、細い</p>
ラインの色	<p>グリッドマーカーの線の色を設定します。 ホワイト、レッド、グリーン、ブルー、イエロー、シアン、マゼンタ</p>
ラインの明るさ	<p>グリッドマーカーの線の明るさを設定します。 明、暗</p>

ファンクション設定



ファンクションリストを表示させ機能を実行したり、タイムコードの表示などを設定するときに使うメニューです。

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)																																	
ピーキング	<p>ピーキングをカスタマイズして、ピーキング1、2に設定します。輪郭を着色して表示し、フォーカスの確認などに使用します。</p> <p> メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「スクリーンキャプチャー」の「ファイル再生」を実行中は、「ピーキング」は表示できません。 SDI信号で、「Hディレイ」または「Vディレイ」が「オン」の場合は設定できません。 																																	
表示	<p>ピーキングの表示モードと非表示を切り換えます。</p> <p>ピーキング1、ピーキング2、オフ</p> <p>「ピーキング1」または「ピーキング2」の詳細な設定をします。</p> <p>モノクロ：映像をモノクロ表示にします。</p> <p>オン、オフ</p> <p>周波数：輪郭強調信号の中心周波数を設定します。</p> <p>ピーキング1(低、中、高)、ピーキング2(低、中、高)</p> <p>レンジ：着色する帯域の幅を設定します。</p> <p>-3 ~ 3(0)</p> <p>色：着色の色を設定します。</p> <p>ホワイト、レッド、グリーン、ブルー、イエロー、シアン、マゼンタ</p>																																	
フォルスカラー	<p>「オン」にすると、映像の輝度レベルごとに異なる色で表示し、露出状態を確認しやすくなります。</p> <p>オン、オフ</p> <p>チャートの詳細は次のとおりです。数値はY信号のレベルを表します。</p> <table border="0"> <tr> <td>941 ~ 1023</td> <td></td> <td>赤</td> </tr> <tr> <td>877 ~ 940</td> <td></td> <td>オレンジ</td> </tr> <tr> <td>813 ~ 876</td> <td></td> <td>薄オレンジ</td> </tr> <tr> <td>749 ~ 812</td> <td></td> <td>黄色</td> </tr> <tr> <td>584 ~ 748</td> <td></td> <td>明るいグレー</td> </tr> <tr> <td>420 ~ 583</td> <td></td> <td>中グレー</td> </tr> <tr> <td>256 ~ 419</td> <td></td> <td>暗いグレー</td> </tr> <tr> <td>192 ~ 255</td> <td></td> <td>青</td> </tr> <tr> <td>128 ~ 191</td> <td></td> <td>青紫</td> </tr> <tr> <td>64 ~ 127</td> <td></td> <td>薄い紫</td> </tr> <tr> <td>0 ~ 63</td> <td></td> <td>紫</td> </tr> </table> <p> メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「スクリーンキャプチャー」の「ファイル再生」を実行中は、「フォルスカラー」は表示できません。 SDI信号で、「Hディレイ」または「Vディレイ」が「オン」の場合は設定できません。 	941 ~ 1023		赤	877 ~ 940		オレンジ	813 ~ 876		薄オレンジ	749 ~ 812		黄色	584 ~ 748		明るいグレー	420 ~ 583		中グレー	256 ~ 419		暗いグレー	192 ~ 255		青	128 ~ 191		青紫	64 ~ 127		薄い紫	0 ~ 63		紫
941 ~ 1023		赤																																
877 ~ 940		オレンジ																																
813 ~ 876		薄オレンジ																																
749 ~ 812		黄色																																
584 ~ 748		明るいグレー																																
420 ~ 583		中グレー																																
256 ~ 419		暗いグレー																																
192 ~ 255		青																																
128 ~ 191		青紫																																
64 ~ 127		薄い紫																																
0 ~ 63		紫																																
スクリーンキャプチャー	画面をキャプチャーします。																																	
キャプチャー実行	キャプチャーを実行します。USBメモリーのルートフォルダーに「YYYYMMDD_hhmmss.bmp」というファイル名で保存します。																																	
フレームホールド	映像を一時停止します。 オン、オフ																																	
キャプチャー対象	キャプチャーする対象を選択します。 すべて ：マーカーや波形モニターなどの映像補助機能やOSDメニューも含めてキャプチャーします。 映像のみ ：映像信号のみキャプチャーします。																																	

項目		設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
ファイル再生	<p>キャプチャーした画像を再生します。</p> <p>ファイル選択：ファイルを選択します。</p> <p>実行：再生を実行します。</p> <p> メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> • キャプチャーした画像を、本機以外で再生すると、正確な色で再生されない場合があります。 	
ファイル再生終了	再生を終了します。	
タイムコード	<p>SDI信号に重畳されたタイムコードを表示します。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p> メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> • 次の場合、タイムコードは表示できません。 <ul style="list-style-type: none"> - 画像がズーム表示されている場合 - 「フレームホールド」が「オン」の場合 - 「ピーキング1」または「ピーキング2」が選択されている場合 - 「スクリーンキャプチャー」の「ファイル再生」を実行中 - 「テストパターン」を表示中 	
表示	<p>タイムコードの表示、非表示を切り換えます。</p> <p>オン、オフ</p>	
タイプ	<p>タイプを選択します。</p> <p>VITC、LTC</p>	
サイズ	<p>サイズを選択します。</p> <p>大、小</p>	
ポジション	<p>表示位置を選択します。</p> <p>左上、右上、左下、右下</p>	








項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
波形モニター	<p>SDI信号のときに波形モニターを表示します。波形モニターは、横軸に映像の横解像度、縦軸に信号レベルを配置し表示します。</p> <div data-bbox="635 257 1241 582" data-label="Figure"> </div> <p>☑ メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> • 次の場合、波形モニターは表示できません。 <ul style="list-style-type: none"> - 「フレームホールド」または「フォルスカラー」が「オン」の場合 - 「ピーキング1」または「ピーキング2」が選択されている場合 - 「スクリーンキャプチャー」の「ファイル再生」を実行中 - 「テストパターン」を表示中 - 「Hディレイ」または「Vディレイ」が「オン」の場合 • 「波形モニター」を「オン」にすると、「ベクトルスコープ」は「オフ」になります。
表示	波形モニターの表示、非表示を切り換えます。 オン、オフ
信号選択	表示波形を設定します。 Y、Cb、Cr、R、G、B
表示形式	表示形式を設定します。「ライン」を選択すると、1ライン分の表示をします。 すべて、ライン 「ライン」を選択したとき、どのラインを表示するかを選択します。 ライン選択：1～2160
ポジション	表示位置を選択します。 左下、右下
スケール	波形モニターのスケールを設定します。 オート ：波形モニターのスケールを、ガンマの設定内容に応じて設定します。 IRE、Canon Log、Canon Log 2、Canon Log 3、SMPTE ST 2084 ：スケールを選択します。
ガイド	指定した位置にガイドが表示されます。「255」で非表示になります。 1～255
基準レベル 高	基準表示レベル(高)を設定します。「255」で非表示になります。 190～255
基準レベル 低	基準表示レベル(低)を設定します。「0」で非表示になります。 0～64

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)						
カラー	<p>表示する信号と、基準レベルを超えた信号の表示色を設定します。</p> <p>Y、Cb、Cr、R、G、B：信号を選択します。</p> <p>選択した信号の色を選択します。</p> <p>ホワイト、レッド、グリーン、ブルー、イエロー、シアン、マゼンタ</p> <p>各信号の初期値は次のとおりです。</p> <p>Y(ホワイト)、Cb(ホワイト)、Cr(ホワイト)、R(レッド)、G(グリーン)、B(ブルー)</p> <p>基準レベル 高、基準レベル 低：基準レベルを選択します。</p> <p>ホワイト、レッド、グリーン、ブルー、イエロー、シアン、マゼンタ</p> <p>各基準レベルの初期値は次のとおりです。</p> <p>基準レベル 高(マゼンタ)、基準レベル 低(シアン)</p>						
ベクトルスコープ	<p>SDI信号のときにベクトルスコープを表示します。ベクトルスコープは、横軸に色差信号Cb、縦軸にCrを配置し、色信号の強さや色相を表示します。</p> <div data-bbox="638 627 1197 1008" data-label="Diagram"> </div> <p>メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> 次の場合、ベクトルスコープは表示できません。 <ul style="list-style-type: none"> - 「フレームホールド」または「フォルスカラー」が「オン」の場合 - 「ピーキング1」または「ピーキング2」が選択されている場合 - 「スクリーンキャプチャー」の「ファイル再生」を実行中 - 「テストパターン」を表示中 - 「Hディレイ」または「Vディレイ」が「オン」の場合 「ベクトルスコープ」を「オン」にすると、「波形モニター」は「オフ」になります。 <table border="1" data-bbox="247 1366 1477 1612"> <tr> <td data-bbox="247 1366 411 1451">表示</td> <td data-bbox="411 1366 1477 1451">ベクトルスコープの表示、非表示を切り換えます。 オン、オフ</td> </tr> <tr> <td data-bbox="247 1451 411 1536">ターゲット</td> <td data-bbox="411 1451 1477 1536">ターゲットを設定します。 75%、100%</td> </tr> <tr> <td data-bbox="247 1536 411 1612">ポジション</td> <td data-bbox="411 1536 1477 1612">表示位置を選択します。 左下、右下</td> </tr> </table>	表示	ベクトルスコープの表示、非表示を切り換えます。 オン、オフ	ターゲット	ターゲットを設定します。 75%、100%	ポジション	表示位置を選択します。 左下、右下
表示	ベクトルスコープの表示、非表示を切り換えます。 オン、オフ						
ターゲット	ターゲットを設定します。 75%、100%						
ポジション	表示位置を選択します。 左下、右下						


項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
テストパターン	<p>本体に内蔵されているテストパターンを設定します。 ホワイト、グレー(20%)、ブラック、レッド、グリーン、ブルー、Ramp、5 Step、カラーバー、PLUGE、<u>オフ</u></p> <p> メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> 電源を入れ直した場合、テストパターンは表示できません。 次の場合、テストパターンは消去されます。 <ul style="list-style-type: none"> キャリブレーションが開始されたとき CHボタン、チャンネルアップ/ダウンが登録されたFボタン、「チャンネル設定」の「セレクトチャンネル」でチャンネルを切り換えたとき 「チャンネル設定」の「入力設定」または「入力信号選択」を切り換えたとき 「全設定リセット」を実行したとき
各種ファンクション	<p>ファンクションリストを表示させ、機能を切り換えます。 モノクロ(オン、<u>オフ</u>)、ブルーオンリー(オン、<u>オフ</u>)、レッドオフ(オン、<u>オフ</u>)、グリーンオフ(オン、<u>オフ</u>)、ブルーオフ(オン、<u>オフ</u>)、Hディレイ(オン、<u>オフ</u>)、Vディレイ(オン、<u>オフ</u>)、バナー自動表示(オン、<u>オフ</u>)^{*1}、ファンクションガイド(オン/<u>オフ</u>)^{*2}、OSDポジション(モード1(4096x2560)、モード2(3840x2160))^{*3}、OSDサイズ(大、小)^{*4}、ブラックレベルコントロール(オン、<u>オフ</u>)^{*5}、バックライトスキャン(強、弱、<u>オフ</u>)</p> <p>^{*1} バナー自動表示 「バナー自動表示」を「オフ」にすると、OSDメニュー非表示中にSETボタンを押したときのみバナーを表示します。</p> <p>^{*2} ファンクションガイド オン：OSDメニュー非表示中にSETボタンを押すと、本機のFボタンに登録されている機能の一覧を表示します。 オフ：ファンクションガイドを表示しません。</p> <p>^{*3} OSDポジション モード1 (4096x2560)：OSDを4096x2560領域に表示します。 モード2 (3840x2160)：OSDを3840x2160領域に表示します。</p> <p>^{*4} OSDサイズ：OSDメニューのサイズを「大」「小」から選択できます。</p> <p>^{*5} ブラックレベルコントロール：「バックライトコントロール」で「ローカルディミング」が選択されているとき、画像の暗い部分の黒レベルを調整します。</p> <p> メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「Hディレイ」と「Vディレイ」は、SDI信号のときに使用できます。「ピーキング1」または「ピーキング2」が選択されていて、「フォルスカラー」が「オフ」の場合のみ設定できます。 「Hディレイ」が「オン」の場合、1280x720 / 24.00P、25.00P、30.00Pの信号は、ディスプレイコントローラーの ◀▶ ボタンで映像の表示位置を移動できます。メニュー画面を閉じて操作してください。 「Hディレイ」または「Vディレイ」でブランキング期間を確認する場合、音声信号の有無は確認できませんが、データの一部は表示できません。 「CDL/User LUT」の「User LUT」を選択時、「ブルーオンリー」は設定できません。

システム設定

本体とディスプレイコントローラーのシステムに関する設定をするときに使うメニューです。

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
ネットワーク	<p>本体とディスプレイコントローラーのネットワークの設定をします。</p> <p> メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「パワーオン設定」が「User 1-3」の場合は設定できません。
IP アドレス取得	<p>自動：DHCP/Auto IPにより自動で取得します。</p> <p>手動：IPアドレスとサブネットマスクを手動で設定します。</p>
ディスプレイ	192.168.0.1
ディスプレイコントローラー	192.168.0.10
サブネットマスク	255.255.255.0
言語	<p>OSDメニューやメッセージの表示言語を設定します。</p> <p>English、日本語、簡体中文</p>
ファンクション/チャンネルボタン	FボタンやCHボタンに登録する機能やチャンネルを設定します。
ディスプレイファンクション	<p>本体のFボタンに登録する機能を設定します。Fボタンを選択して、リストから機能を登録します(71)。工場出荷時に設定されている機能は次のとおりです。</p> <p>F1：チャンネルアップ</p> <p>F2：チャンネルダウン</p> <p>F3：タイムコード</p> <p>F4：アスペクトマーカー</p> <p> メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「チャンネルアップ/ダウン」でチャンネルを切り換える場合、「入力設定」(53)が「-」のチャンネルはスキップします。 「OSD一時消去」は、すべてのOSDを非表示にする機能です。「オン」を選択すると、OSDと「バックグラウンドカラー」が非表示となりますが、メニューの操作はできます。
コントローラーファンクション	<p>ディスプレイコントローラーのFボタンに登録する機能を設定します。Fボタンを選択して、リストから機能を登録します(71)。工場出荷時に設定されている機能は次のとおりです。</p> <p>F1：Hディレイ</p> <p>F2：Vディレイ</p> <p>F3：モノクロ</p> <p>F4：ブルーオンリー</p> <p>F5：レッドオフ</p> <p>F6：グリーンオフ</p> <p>F7：ブルーオフ</p> <p>F8：スクリーンスケールリング</p> <p>F9：バックライトスキャン</p> <p>F10：ツマミ操作ロック</p> <p> メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「チャンネルアップ/ダウン」でチャンネルを切り換える場合、「入力設定」(53)が「-」のチャンネルはスキップします。 「OSD一時消去」は、すべてのOSDを非表示にする機能です。「オン」を選択すると、OSDと「バックグラウンドカラー」が非表示となりますが、メニューの操作はできます。

項目		設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)
	コントローラー チャンネル	ディスプレイコントローラーのCHボタンに登録するチャンネルを設定します。 CHボタンを選択して、チャンネル番号を登録します。リストは「チャンネル設定」(☰53)で設定されている内容が表示されます。
ディスプレイ名		本体の名前を設定します。入力できる文字は英数字記号(半角)で、16文字までです。
日時		年/月/日/時/分を設定します。
電源ランプ 明るさ		本体の電源ランプの明るさを調整します。5が最も明るいです。 オフ、1～5(2)
互換設定		ACESproxyのバージョンを設定します。
	ACES	0.7、1.0
ファームウェアアップデート		ファームウェアをアップデートするときに使用します。詳細は、キヤノンのホームページでご確認ください。
設定プロテクト		設定内容を変更できないようにします。MENUボタンを押した場合「シグナル/システムインフォメーション」は表示しますが、それ以外は操作できないためグレー表示になります。 <ul style="list-style-type: none"> 設定プロテクトの解除のしかた 「プロテクト」にフォーカスを移動させ、SETボタンを約3秒長押しします。パスワード設定時はパスワードを入力後、「OK」を選択します。
	パスワード	プロテクトをする場合のパスワードを設定します。数字4桁(0000～9999)です。パスワードの初期値は未設定です。
	プロテクト対象	ピクチャーモードとセレクトチャンネルは、プロテクト設定の対象からはずすことができます。 ピクチャーモード ：「オン」にすると「ピクチャーモード」の設定内容をプロテクトします。「オフ」にすると、「ピクチャーモード」の設定内容をプロテクト対象からはずします。 オン、オフ セレクトチャンネル ：「オン」にすると「セレクトチャンネル」の設定内容をプロテクトします。「オフ」にすると、「セレクトチャンネル」の設定内容をプロテクト対象からはずします。 オン、オフ
	プロテクト	プロテクトするときは「OK」を選択します。パスワード設定時はパスワードを入力後、「OK」を選択します。
コントローラー設定		ディスプレイコントローラーの各種設定をします。
	ツマミ操作ロック	OSDメニューを閉じているとき、ディスプレイコントローラーのSHARPNESS / CHROMA / BRIGHTNESS / CONTRASTのツマミとRESETボタンをロックします(CDL選択時も同様)。ディスプレイコントローラーのF10ボタンにも設定されています(☰68)。 オン、オフ
	接続ディスプレイリスト	ディスプレイコントローラーに登録されているディスプレイの一覧を表示します。複数台のディスプレイが認識されている場合は、ディスプレイの削除や順番の入れ替えができます。 消去 ：登録されているディスプレイを削除します。 入れ替え ：ディスプレイが登録されているFボタン(F1～F10)を変更します。

項目	設定内容(下線は工場出荷時の設定内容)								
エクスポート／インポート	<p>メインメニューのエクスポート／インポートの設定をします。</p> <p> メモ</p> <ul style="list-style-type: none"> 次の設定内容はエクスポート／インポートされません。 <table border="1" data-bbox="475 315 1442 533"> <tr> <td>画質設定</td> <td>キャリブレーションの目標値(キャリブレーション結果を含む)</td> </tr> <tr> <td>ディスプレイ設定</td> <td>ズーム、フレームホールド</td> </tr> <tr> <td>ファンクション設定</td> <td>テストパターン、各種ファンクション(モノクロ、ブルーオンリー、レッドオフ、グリーンオフ、ブルーオフ、Hディレイ、Vディレイ)</td> </tr> <tr> <td>システム設定</td> <td>日時、エクスポート／インポート、パワーオン設定</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> User LUTのデータは、「ターゲット」の「User 1 ~ User 3」にはエクスポート/インポートされません。 本機からエクスポートしたデータは、ファームウェアのバージョンが本機より前の製品にはインポートできない場合があります。インポートしたいときは、最新のファームウェアのバージョンにアップデートしてからお使いください。 	画質設定	キャリブレーションの目標値(キャリブレーション結果を含む)	ディスプレイ設定	ズーム、フレームホールド	ファンクション設定	テストパターン、各種ファンクション(モノクロ、ブルーオンリー、レッドオフ、グリーンオフ、ブルーオフ、Hディレイ、Vディレイ)	システム設定	日時、エクスポート／インポート、パワーオン設定
画質設定	キャリブレーションの目標値(キャリブレーション結果を含む)								
ディスプレイ設定	ズーム、フレームホールド								
ファンクション設定	テストパターン、各種ファンクション(モノクロ、ブルーオンリー、レッドオフ、グリーンオフ、ブルーオフ、Hディレイ、Vディレイ)								
システム設定	日時、エクスポート／インポート、パワーオン設定								
エクスポート	<p>ターゲット：エクスポート先を選択します。</p> <p>USB：USBメモリーにエクスポートします。</p> <p>User 1 ~ User 3：本体内のメモリーにエクスポートします。</p> <p>ファイル名：工場出荷時の初期値は「dinfo.dat」です。USBメモリーにエクスポートするファイル名は半角英数記号16文字以内で変更できます。</p> <p>実行：エクスポートを実行します。</p>								
インポート	<p>ターゲット：インポートするファイルの保存先を指定します。</p> <p>USB、User 1 ~ User 3</p> <p>ファイル名：拡張子(.dat)のファイルを表示し、選択します。</p> <p>設定種別(すべて、画質設定、チャンネル設定、ディスプレイ設定、マーカー設定、ファンクション設定、システム設定)：インポートする設定を選択します。</p> <p>実行：インポートを実行します。</p>								
パワーオン設定	<p>電源投入後のディスプレイの設定状態を選択できます。</p> <p>ラストメモリー：前回の電源投入時の設定で起動します。</p> <p>User 1-3：「エクスポート」で「User 1 ~ User 3」に保存した設定で起動します。現在の設定は、「User 1 ~ User 3」に保存されている設定に変更されます。</p>								
全設定リセット	<p>すべての設定を工場出荷時に戻します。選択すると「すべての設定を工場出荷時の設定に戻しますか?」というメッセージが表示されます。</p> <p>OK：リセットを実行します。</p> <p>キャンセル：リセットを実行せずに、1つ前の画面に戻ります。</p>								

ディスプレイ本体またはディスプレイコントローラーのFボタンに登録できる機能は、次のとおりです(☐68)。

項目	機能
画質設定	ピクチャーモード
	バックライトコントロール
	ガンマ
	HDR
	HDRレンジ
	ゲイン
	バイアス
	xy
ピクチャーモード	SMPTE-C
	EBU
	ITU-R BT.709
	ITU-R BT.2020
	Adobe RGB
	DCI-P3
	User 1 ~ User 7
	Canon Log
	ACESproxy
	カラーガンマット
EBU	
ITU-R BT.709	
ITU-R BT.2020	
Adobe RGB	
DCI-P3	
Native	
Cinema Gamut to 709	
Cinema Gamut to 2020	
Cinema Gamut to DCI	
DCI-P3+ to 709	
DCI-P3+ to DCI	
DCI-P3 to 709	
ITU-R BT.2020 to 709	
ACESproxy	
Gamut LUT 1 ~ Gamut LUT 8	
ガンマ	2.2
	2.35
	2.4
	2.6
	ITU-R BT.1886
	Canon Log
	Canon Log (HDR)
	Canon Log 2
	Canon Log 2 (HDR)
	Canon Log 3
	Canon Log 3 (HDR)
	SMPTE ST 2084
	Hybrid Log-Gamma Y
	Hybrid Log-Gamma RGB
	Gamma LUT 1 ~ Gamma LUT 8

項目	機能
CDL	CDLプリセット
	User LUT
	CDL/User LUTバイパス
	CDLエクスポート/インポート
	CDLパラメーター保存
	CDLパラメーター読み込み
チャンネル設定	チャンネルアップ
	チャンネルダウン
	入力信号選択 CH1 ~ CH20
ディスプレイ設定	スクリーンスケーリング
	ズーム
	スケーリング法
	フレームホールド バックグラウンドカラー
マーカー設定	マーカープリセット
	アスペクトマーカー
	セーフティゾーンマーカー1
	セーフティゾーンマーカー2
	エリアマーカー
	センターマーカー グリッドマーカー
ファンクション設定	ピーキング
	ピーキング1
	ピーキング2
	フォルスカラー
	キャプチャー
	タイムコード
	WFM/VEC
	波形モニター
	波形モニター信号選択
	ベクトルスコープ
	モノクロ
	ブルーオンリー
	レッドオフ
	グリーンオフ
	ブルーオフ
	Hディレイ
Vディレイ	
バックライトスキャン	
システム設定	OSD一時消去
	ツマミ操作ロック

シグナルインフォメーション

信号の情報を表示します。「入力信号選択」が「4K Input」のときは、信号全体と各入力の情報が表示できます。メニュー右上のガイドに従ってSETまたは◀▶ボタンで選択してください。画面に表示されていないが信号情報が取得されている場合には、その内容をグレーアウト表示します。

SDI信号		DisplayPort信号	
項目	表示例	項目	表示例
チャンネル	CH1	チャンネル	CH4
入力設定	3G/HD-SDI 1 (3G Level A)	入力設定	DisplayPort
入力信号選択	オート	入力信号選択	オート
フォーマット	オート	フォーマット	オート
解像度	4096x2160	解像度	4096x2560
Picture Rate, I/P/PsF*	24.00P	水平周波数	79.57 kHz
SDI Payload ID	89 C3 46 01	垂直周波数	59.96 Hz
Video Standard	3G-SDI	Pixel Encoding	4:4:4 RGB
Sampling Structure	4:4:4:4 GBRA	Color Depth	10-bit
Bit Depth	10-bit	Matrix	sRGB
Picture Rate	24.00	RGB Range	フル
Scanning Method	Progressive/Progressive (Transport/Picture)		
Link Number	Single/Link_1		

* グレーアウト表示している際に、「24.00P *」のように「Picture Rate」の精度が低いことを示す「*」が表示される場合があります。

システムインフォメーション

本機のステータスやネットワーク情報を表示します。

項目	表示例
ディスプレイ	DP-V3010
シリアルNo.	000000000000
ファームウェアVer.	1.3
使用時間*	5 h
IPアドレス	192.168.0.1
サブネットマスク	255.255.255.0
MACアドレス	FF:FF:FF:FF:FF:FF
ディスプレイコントローラー	CL-01
シリアルNo.	00000000
ファームウェアVer.	4.0.0
IPアドレス	192.168.0.10
サブネットマスク	255.255.255.0
MACアドレス	FF:FF:FF:FF:FF:FF

* 工場出荷時の検査などにより、購入時の使用時間は「0」ではない場合があります。

主な仕様／性能

ディスプレイ本体

パネル		
パネルタイプ	IPS液晶パネル	
画面サイズ	30型(76.1 cm)	
アスペクト比	16:10	
解像度	4096x2560 (10.5メガピクセル)	
有効表示領域	約645.1×403.2 mm	
ピクセルピッチ	157.5 μm	
パネルドライバー	1024階調 RGB各色10-bit	
画質		
輝度(標準)	48 cd/m ² (DCI-P3)、100 cd/m ²	
視野角(上、下、左、右)	89°(コントラスト比 10 : 1以上)	
表面処理	低反射グレア	
一般		
バックライトタイプ	RGB LED、直下型	
電源	定格電圧 : AC 100 ~ 240 V 定格周波数 : 50/60 Hz	
消費電力	最大負荷時(経年変化に伴う輝度変化を含む) : 約370 W 工場出荷状態 : 約130 W	
環境条件	使用	温湿度 : 5 ~ 35 °C (20 ~ 80 %RH 結露がないこと) 推奨温度 15 ~ 30 °C 気圧 : 700 ~ 1060 hPa
	保存／輸送	温湿度 : -20 ~ 40 °C (10 ~ 85 %RH 結露がないこと) 41 ~ 60 °C (10 ~ 40 %RH 結露がないこと) 気圧 : 700 ~ 1060 hPa
外形寸法(幅×高さ×奥行)	約708×474×189 mm	
質量	約24 kg	
取り付け穴ピッチ	VESA規格 200×200 mm	
インターフェース		
入力	3G/HD-SDI	8個(2系統) BNC (75 Ω) レセプタクル端子 3G-SDI : SMPTE 2048-2/274M/296/372/425-1/428-19/428-9準拠 HD-SDI : SMPTE 2048-2/274M/292-1/296/428-19/428-9準拠 HD-SDI Dual : SMPTE 2048-2/274M/372/428-19/428-9準拠
	DisplayPort	4個(1系統) DisplayPort端子 DisplayPort Standard Specification Ver.1.1a準拠
出力	3G/HD-SDI	8個(パススルー2系統)

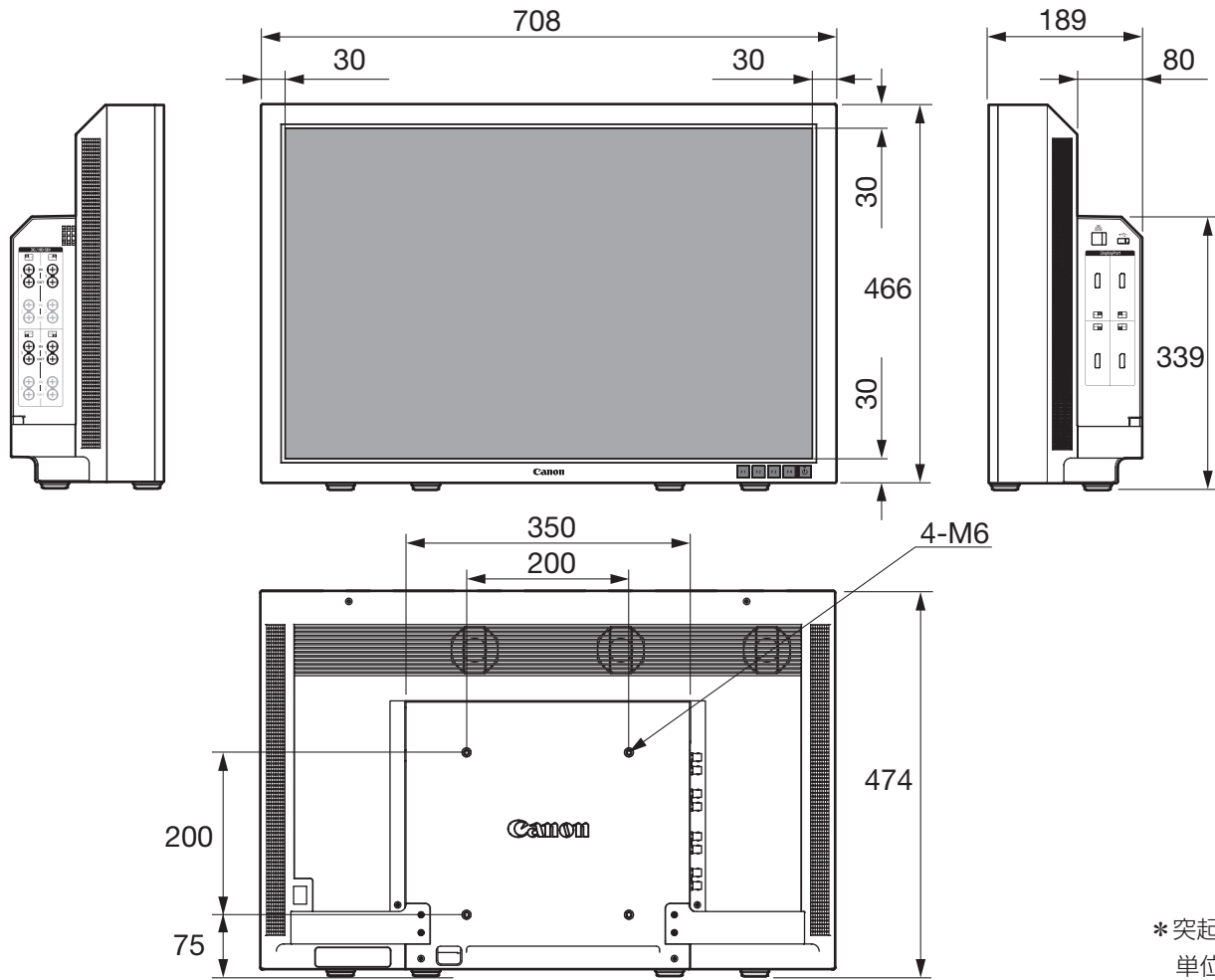
インターフェース		
コントロール	USB	1個 USB A レセプタクル端子 Universal Serial bus specification revision 2.0準拠LS (Low Speed)/FS (Full Speed)/HS (High Speed)モード対応 Enhanced host controller interface specification revision 1.0準拠
	LAN	1個 RJ-45端子 IEEE802.3 10BASE-TX/IEEE802.3u 100BASE-TX準拠

ディスプレイコントローラー

一般		
電源		定格電圧：AC 100～240 V 定格周波数：50/60 Hz
消費電力		最大負荷時：約2 W 工場出荷状態：約2 W
環境条件	使用	温湿度：5～35℃(20～80%RH 結露がないこと)
	保存／輸送	温湿度：-20～40℃(10～85%RH 結露がないこと) 41～60℃(10～40%RH 結露がないこと)
外形寸法(幅×高さ×奥行き)		約419×56×88 mm
質量		約460 g
取り付け穴ピッチ		EIA2U規格 76.2×465.9 mm
インターフェース		
コントロール	LAN	1個 RJ-45端子

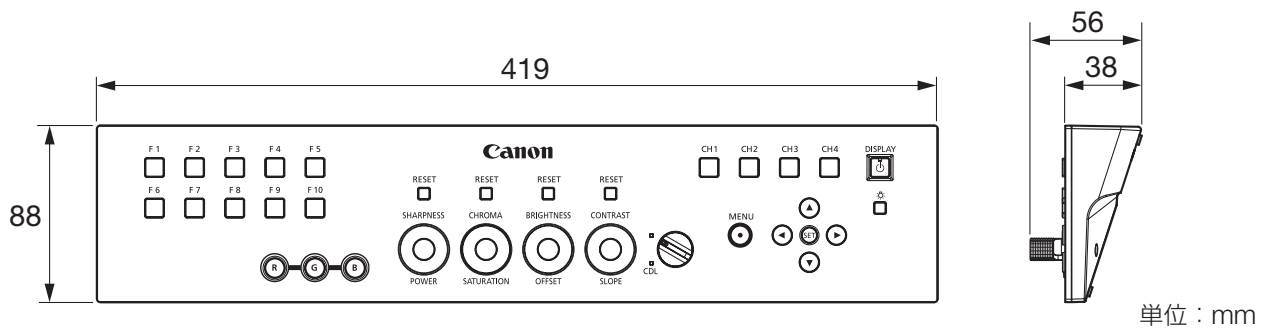
外形寸法

■ディスプレイ本体



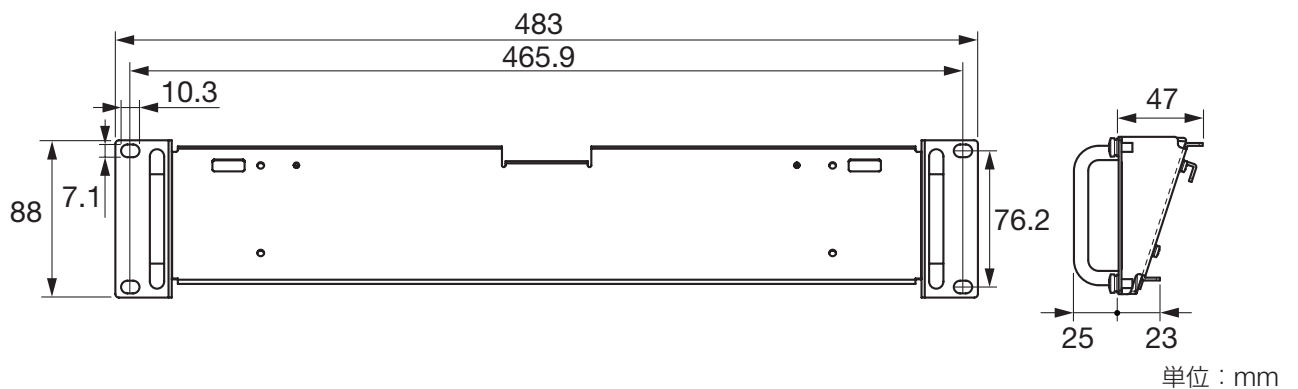
*突起物除く
単位：mm

■ディスプレイコントローラー



単位：mm

■その他付属品(ラックマウント金具RB-01)



単位：mm

付録

対応信号フォーマット

■ SDI

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
HD-SDI x 1	1280x720P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 292-1 SMPTE 296
	1280x720P 50.00 Hz			
	1280x720P 29.97/30.00 Hz			
	1280x720P 25.00 Hz			
	1280x720P 23.98/24.00 Hz			
	1920x1080i 59.94/60.00 Hz			
	1920x1080i 50.00 Hz			
	1920x1080P 29.97/30.00 Hz			
	1920x1080PsF 29.97/30.00 Hz			
	1920x1080P 25.00 Hz			
	1920x1080PsF 25.00 Hz			
	1920x1080P 23.98/24.00 Hz			SMPTE 292-1 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
	1920x1080PsF 23.98/24.00 Hz			
	2048x1080i 59.94/60.00 Hz			
	2048x1080i 50.00 Hz			
	2048x1080P 29.97/30.00 Hz			
	2048x1080PsF 29.97/30.00 Hz			
	2048x1080P 25.00 Hz			
	2048x1080PsF 25.00 Hz			
	2048x1080P 23.98/24.00 Hz			
2048x1080PsF 23.98/24.00 Hz				

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
HD-SDI Dual x 1	1920x1080P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 372 SMPTE 274M
	1920x1080i 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
	1920x1080P 50.00 Hz	4:2:2 YCbCr	12-bit	
		4:2:2 YCbCr	10-bit	
	1920x1080i 50.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
	1920x1080P 29.97/30.00 Hz	4:2:2 YCbCr	12-bit	
		4:2:2 YCbCr	10-bit	
	1920x1080PsF 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
	1920x1080P 25.00 Hz	4:2:2 YCbCr	12-bit	
		4:2:2 YCbCr	10-bit	
	1920x1080PsF 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
	1920x1080P 23.98/24.00 Hz	4:2:2 YCbCr	12-bit	
		4:2:2 YCbCr	10-bit	
	1920x1080PsF 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr		
	2048x1080P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 372 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
2048x1080i 59.94/60.00 Hz		4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
	2048x1080P 50.00 Hz	4:4:4 YCbCr		
4:4:4 X'Y'Z'		12-bit		
2048x1080i 50.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 372 SMPTE 2048-2	
	4:2:2 YCbCr	10-bit		
2048x1080P 47.95/48.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit		
	4:4:4 YCbCr			
2048x1080P 47.95/48.00 Hz	4:4:4 X'Y'Z'	12-bit		
	4:2:2 YCbCr	10-bit		
2048x1080P 47.95/48.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 372 SMPTE 2048-2	
	4:2:2 YCbCr	10-bit		

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
HD-SDI Dual x 1	2048x1080P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 372 SMPTE 428-9
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 372
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	2048x1080PsF 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 372 SMPTE 428-9
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 372
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	2048x1080P 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 372 SMPTE 428-9
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 372
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	2048x1080PsF 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 372 SMPTE 428-9
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 372
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	2048x1080P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 372 SMPTE 428-9
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 372
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
2048x1080PsF 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 372 SMPTE 428-9	
	4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2	
	4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 372	
	4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2	
3G-SDI Level A x 1	1280x720P 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 296
	1280x720P 50.00 Hz	4:4:4 YCbCr		
	1280x720P 29.97/30.00 Hz			
	1280x720P 25.00 Hz			
	1280x720P 23.98/24.00 Hz			
	1920x1080P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 274M

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格	
3G-SDI Level A x 1	1920x1080i 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 274M	
		4:4:4 YCbCr			
		1920x1080P 50.00 Hz	4:2:2 YCbCr	12-bit	
				10-bit	
	1920x1080i 50.00 Hz	4:4:4 RGB	4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
				12-bit	
		1920x1080P 29.97/30.00 Hz	4:2:2 YCbCr	12-bit	
				10-bit	
	1920x1080PsF 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	4:4:4 YCbCr	10-bit	
				12-bit	
		1920x1080P 25.00 Hz	4:4:4 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 274M
				12-bit	
	1920x1080P 25.00 Hz	4:4:4 RGB	4:4:4 YCbCr	10-bit	
				12-bit	
	1920x1080PsF 25.00 Hz	4:4:4 RGB	4:4:4 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 274M
				12-bit	
		1920x1080P 23.98/24.00 Hz	4:2:2 YCbCr	12-bit	
				10-bit	
	1920x1080PsF 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	4:4:4 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 274M
				12-bit	
		2048x1080P 59.94/60.00 Hz	4:4:4 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
				12-bit	
	2048x1080i 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB	4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
				12-bit	
4:4:4 X'Y'Z'			12-bit		
		4:2:2 YCbCr			

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
3G-SDI Level A x 1	2048x1080P 50.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 2048-2
	2048x1080i 50.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
		4:4:4 X'Y'Z'		
	4:2:2 YCbCr			
	2048x1080P 47.95/48.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 2048-2
	2048x1080P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 428-9
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	2048x1080PsF 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 428-9
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	2048x1080P 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 428-9
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	2048x1080PsF 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 428-9
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	2048x1080P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 428-9
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
4:4:4 YCbCr		12-bit/10-bit	SMPTE 425-1	
4:2:2 YCbCr		12-bit	SMPTE 2048-2	
2048x1080PsF 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 428-9	
	4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2	
	4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1	
	4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2	

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
3G-SDI Level B x 1	1920x1080P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 274M
	1920x1080i 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	1920x1080P 50.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	
	1920x1080i 50.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	1920x1080P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	1920x1080PsF 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	1920x1080P 25.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	1920x1080PsF 25.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	1920x1080P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	1920x1080PsF 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	2048x1080P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
	2048x1080i 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
4:4:4 X'Y'Z' 4:2:2 YCbCr		12-bit		
2048x1080P 50.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 2048-2	
2048x1080i 50.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit		
	4:4:4 X'Y'Z' 4:2:2 YCbCr	12-bit		
2048x1080P 47.95/48.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 2048-2	

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
3G-SDI Level B x 1	2048x1080P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 372 SMPTE 2048-2
	2048x1080PsF 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 372 SMPTE 2048-2
	2048x1080P 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 372 SMPTE 2048-2
	2048x1080PsF 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 372 SMPTE 2048-2
	2048x1080P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 372 SMPTE 2048-2

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
3G-SDI Level B x 1	2048x1080PsF 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 2048-2
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
HD-SDI x 4	3840x2160i 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 292-1 SMPTE 274M
	3840x2160i 50.00 Hz			
	3840x2160P 29.97/30.00 Hz			
	3840x2160PsF 29.97/30.00 Hz			
	3840x2160P 25.00 Hz			
	3840x2160PsF 25.00 Hz			
	3840x2160P 23.98/24.00 Hz			
	3840x2160PsF 23.98/24.00 Hz			
	4096x2160i 59.94/60.00 Hz			
	4096x2160i 50.00 Hz			
	4096x2160P 29.97/30.00 Hz			
	4096x2160PsF 29.97/30.00 Hz			
	4096x2160P 25.00 Hz			
	4096x2160PsF 25.00 Hz			
	4096x2160P 23.98/24.00 Hz			
	4096x2160PsF 23.98/24.00 Hz			
	SMPTE 292-1 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2			

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
HD-SDI Dual x 4	3840x2160P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 372 SMPTE 274M
	3840x2160i 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
	3840x2160P 50.00 Hz	4:2:2 YCbCr	12-bit	
	3840x2160i 50.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
	3840x2160P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
	3840x2160PsF 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
	3840x2160P 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
	3840x2160PsF 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
	3840x2160P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
3840x2160PsF 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit		
	4:4:4 YCbCr	12-bit		
4096x2160P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 372 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2	
4096x2160i 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit		
	4:4:4 X'Y'Z'	12-bit		
4096x2160P 50.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 372 SMPTE 2048-2	
4096x2160i 50.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit		
	4:4:4 X'Y'Z'	12-bit		
4096x2160P 47.95/48.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 372 SMPTE 2048-2	

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
HD-SDI Dual x 4	4096x2160P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 372
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	4096x2160PsF 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 372
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	4096x2160P 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 372
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	4096x2160PsF 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 372
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
	4096x2160P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 372
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2
4096x2160PsF 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 372	
	4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2	
	4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 372	
	4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 2048-2	

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
3G-SDI Level A x 4	3840x2160P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 274M
	3840x2160i 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
	3840x2160P 50.00 Hz	4:2:2 YCbCr		12-bit
	3840x2160i 50.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
	3840x2160P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB		12-bit/10-bit
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
	3840x2160PsF 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB		10-bit
			12-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
		4:4:4 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 274M
	4:2:2 YCbCr	12-bit		
	3840x2160P 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
	3840x2160PsF 25.00 Hz	4:4:4 RGB		10-bit
			12-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
		4:4:4 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 274M
	4:2:2 YCbCr	12-bit		
	3840x2160P 23.98/24.00 Hz	4:2:2 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
	3840x2160PsF 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB		10-bit
			12-bit	
4:4:4 YCbCr		12-bit		
4:4:4 YCbCr		10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 274M	
4:2:2 YCbCr	12-bit			
4096x2160P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2	
		12-bit		
4096x2160i 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit		
		4:4:4 YCbCr		
	4:4:4 X'Y'Z'	12-bit		
	4:2:2 YCbCr			

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
3G-SDI Level A x 4	4096x2160P 50.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 2048-2
	4096x2160i 50.00 Hz	4:4:4 RGB 4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	
		4:4:4 X'Y'Z' 4:2:2 YCbCr	12-bit	
	4096x2160P 47.95/48.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 2048-2
	4096x2160P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 2048-2
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	4096x2160PsF 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 2048-2
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	4096x2160P 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 2048-2
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	4096x2160PsF 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 2048-2
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
	4096x2160P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 2048-2
		4:2:2 YCbCr	12-bit	
4096x2160PsF 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2	
	4:4:4 X'Y'Z'	12-bit		
	4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 2048-2	
	4:2:2 YCbCr	12-bit		

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
3G-SDI Level B x 4	3840x2160P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 274M
	3840x2160i 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
	3840x2160P 50.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	
	3840x2160i 50.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
	3840x2160P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
	3840x2160PsF 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
	3840x2160P 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
	3840x2160PsF 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
	3840x2160P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	
		4:4:4 YCbCr	12-bit	
3840x2160PsF 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit		
	4:4:4 YCbCr	12-bit		
4096x2160P 59.94/60.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2	
4096x2160i 59.94/60.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit		
	4:4:4 X'Y'Z' 4:2:2 YCbCr	12-bit		
4096x2160P 50.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 2048-2	
4096x2160i 50.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit		
	4:4:4 X'Y'Z' 4:2:2 YCbCr	12-bit		

伝送方式	信号フォーマット	カラーフォーマット	カラーデプス	規格
3G-SDI Level B x 4	4096x2160P 47.95/48.00 Hz	4:2:2 YCbCr	10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372 SMPTE 2048-2
	4096x2160P 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 372 SMPTE 2048-2
	4096x2160PsF 29.97/30.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 372 SMPTE 2048-2
	4096x2160P 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 372 SMPTE 2048-2
	4096x2160PsF 25.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
		4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 372 SMPTE 2048-2
	4096x2160P 23.98/24.00 Hz	4:4:4 RGB	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1 SMPTE 372
		4:4:4 X'Y'Z'	12-bit	SMPTE 428-9 SMPTE 428-19 SMPTE 2048-2
		4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1
4:2:2 YCbCr		12-bit	SMPTE 372 SMPTE 2048-2	
4096x2160PsF 23.98/24.00 Hz	4:4:4 YCbCr	12-bit/10-bit	SMPTE 425-1	
	4:2:2 YCbCr	12-bit	SMPTE 372 SMPTE 2048-2	

■ DisplayPort

信号フォーマット	規格	PixelClock [MHz]	水平周波数 [kHz]	垂直周波数 [Hz]
640x480	VESA DMT	25.175	31.469	59.940
800x600	VESA DMT	40.000	37.879	60.317
1024x768	VESA DMT	65.000	48.363	60.004
1920x1080	VESA DMT	148.500	67.500	60.000
2048x1080 CVTRB	VESA CVT	147.000	66.576	59.924
2048x1280 CVTRB	VESA CVT	174.250	78.918	59.922
2048x1280	VESA CVT	220.250	79.570	59.962
3840x2160*	VESA DMT	148.500	67.500	60.000
4096x2160 CVTRB*	VESA CVT	147.000	66.576	59.924
4096x2560 CVTRB*	VESA CVT	174.250	78.918	59.922
4096x2560*	VESA CVT	220.250	79.570	59.962

* PixelClockと水平周波数は1端子の値です。

画像・フレーム表示

■SDI

入力(信号システム)			出力(表示フレームレート)	
1280x720	23.98/24.00	P	47.96/48.00	P*
	25.00	P	50.00	P*
	29.97/30.00	P	59.94/60.00	P*
	50.00	P	50.00	P
	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P
1920x1080	50.00	i	50.00	P
	59.94/60.00	i	59.94/60.00	P
	23.98/24.00	PsF	47.96/48.00	P*
	25.00	PsF	50.00	P*
	29.97/30.00	PsF	59.94/60.00	P*
	23.98/24.00	P	47.96/48.00	P*
	25.00	P	50.00	P*
	29.97/30.00	P	59.94/60.00	P*
	50.00	P	50.00	P
	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P
2048x1080	50.00	i	50.00	P
	59.94/60.00	i	59.94/60.00	P
	23.98/24.00	PsF	47.96/48.00	P*
	25.00	PsF	50.00	P*
	29.97/30.00	PsF	59.94/60.00	P*
	23.98/24.00	P	47.96/48.00	P*
	25.00	P	50.00	P*
	29.97/30.00	P	59.94/60.00	P*
	47.95/48.00	P	47.95/48.00	P
	50.00	P	50.00	P
	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P
3840x2160	50.00	i	50.00	P
	59.94/60.00	i	59.94/60.00	P
	23.98/24.00	PsF	47.96/48.00	P*
	25.00	PsF	50.00	P*
	29.97/30.00	PsF	59.94/60.00	P*
	23.98/24.00	P	47.96/48.00	P*
	25.00	P	50.00	P*
	29.97/30.00	P	59.94/60.00	P*
	50.00	P	50.00	P
	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P

入力(信号システム)			出力(表示フレームレート)	
4096x2160	50.00	i	50.00	P
	59.94/60.00	i	59.94/60.00	P
	23.98/24.00	PsF	47.96/48.00	P*
	25.00	PsF	50.00	P*
	29.97/30.00	PsF	59.94/60.00	P*
	23.98/24.00	P	47.96/48.00	P*
	25.00	P	50.00	P*
	29.97/30.00	P	59.94/60.00	P*
	47.95/48.00	P	47.95/48.00	P
	50.00	P	50.00	P
	59.94/60.00	P	59.94/60.00	P

*：フレーム2度描き

■ DisplayPort


入力(信号システム)			出力(表示フレームレート)	
640x480	59.940	P	59.940	P
800x600	60.317	P	60.317	P
1024x768	60.004	P	60.004	P
1920x1080	60.00	P	60.00	P
2048x1080	59.924	P	59.924	P
2048x1280	59.922/59.962	P	59.922/59.962	P
3840x2160	60.00	P	60.00	P
4096x2160	59.924	P	59.924	P
4096x2560	59.922/59.962	P	59.922/59.962	P


エラーメッセージ

メッセージ		説明と対処法
キャリブレーション	外付けセンサーの初期化に失敗しました。	CA-310、CA-210の説明書をご覧ください。
	エラーが発生したため、キャリブレーションを終了しました。	<ul style="list-style-type: none"> 外付けセンサーの設置や接続を確認し、キャリブレーションをし直してください(☞33)。 CA-310、CA-210のマトリックス校正を行ってください(☞34)。
	キャリブレーションが終了しました。 (目標輝度より低い輝度で設定しました)	キャリブレーションの「ルミナンス」を再設定してください(☞50)。
	外付けセンサーの検出に失敗しました。 センサーの接続を確認してください。	外付けセンサーを本体のUSB端子に正しく接続してください。
ネットワーク	通信エラーが発生しました。	IPアドレスが重複している、またはネットワーク通信異常などの可能性があります。ネットワーク環境をご確認ください。
	IPアドレスが不正です。	正しいIPアドレスを入力してください。
	サブネットマスクが不正です。	正しいサブネットマスクを入力してください。
各種設定、 CDLのエクスポート	USBメモリーの空き容量が不足しています。	別のUSBメモリーを接続するか、メモリー内の情報を削除してください。
	ファイルの書き込みに失敗しました。	USBメモリーに不具合がある、またはプロテクトされている可能性があります。USBメモリーをご確認ください。
LUT、各種設定、 CDLのインポート	(LUTインポート時)異なるLUTタイプのファイルです。 (CDLインポート時)異なるファイル形式です。	正しいファイル形式を選択してください。
	ファイルの読み込みに失敗しました。	USBメモリーに不具合がある、またはプロテクトされている可能性があります。USBメモリーをご確認ください。
	インポートに失敗しました。	インポートするファイルに異常があります。ファイルをご確認ください。
	インポートファイルがありません。	USBメモリー、または「User 1 ~ User 3」にインポートファイルが入っているかをご確認ください。
スクリーン キャプチャー	キャプチャーに失敗しました。	USBメモリーに不具合がある、またはプロテクトされている可能性があります。USBメモリーをご確認ください。
	無効な映像信号です。	無信号や、非対応の信号が入力されているなど、映像が表示されていない画面をキャプチャーしています。信号を確認後に再入力し、キャプチャーしてください。
	コピープロテクトされています。	キャプチャーしようとした信号は、DisplayPortのコピー保護規格HDCPでプロテクトされている可能性があります。この場合、キャプチャーはできません。DisplayPort信号をご確認ください。
	キャプチャーファイルの再生に失敗しました。	USBメモリーまたはファイルに不具合がある、またはプロテクトされている可能性があります。USBメモリーまたはファイルをご確認ください。
	キャプチャーファイルがありません。	USBメモリーにキャプチャーファイルが入っているかをご確認ください。

メッセージ		説明と対処法
ハードウェア	バックライトの異常を検出しました。	主電源を入れ直してください。 それでもこのメッセージが表示される場合には、 お客様相談センターにご相談ください。
	ファンの異常を検出しました。	
	パネルの異常を検出しました。	
	I/F部の異常を検出しました。	
	システムエラーを検出しました。	
入力信号	無信号	映像信号が入力されていないときに表示されます。
	非対応信号	非対応の映像信号が入力されています。対応信号 フォーマット(76)をご確認ください。
	入力設定とPayloadが異なっています。	「入力設定」(53)と「シグナルインフォメーション」(72)を確認し、設定が誤っている場合は「入力設定」を再設定してください。
操作	操作は無効です。	操作ができません。各設定項目をご確認ください。
	プロテクト設定中です。	OSDメニューを操作したい場合には、「プロテクト」にフォーカスを移動させ、SETボタンを約3秒長押ししてください。
	CDL/User LUTバイパス設定中です。	「CDL/User LUTバイパス」が「オン」のときは、「Power / Saturation / Offset / Slope」の調整はできません。
	パスワードが不正です。	正しいパスワードを入力してください。
	ツマミ操作ロック中です。	ツマミ操作をしたい場合には、「ツマミ操作ロック」を「オフ」にしてください。
USBメモリー	USBメモリーが接続されていません。	USBメモリーを本体のUSB端子に正しく接続してください。
	非対応USBメモリーです。	USBメモリーのフォーマット種別やセキュリ ティーがかかっていないかをご確認ください。

こんなときは

症状	原因と対処	
電源が入らない (電源ランプが点灯しない)	<ul style="list-style-type: none"> 主電源を入れてください。 	13
	<ul style="list-style-type: none"> AC電源コードが正しく接続されていることをご確認ください。 	24
	<ul style="list-style-type: none"> 電源ランプの明るさが「オフ」になっている可能性があります。「オフ」以外に設定してご確認ください。 	69
画面が表示されない	電源ランプが点灯しない場合 <ul style="list-style-type: none"> 主電源を入れてください。 AC電源コードが正しく接続されていることをご確認ください。 	13 24
	電源ランプが橙色に点灯している場合 <ul style="list-style-type: none"> ⏻ボタンを押してください。 	13
	電源ランプが橙色に点滅している場合 <ul style="list-style-type: none"> 点滅が3秒間に1回するとき：お客様相談センターにご相談ください。 点滅が3秒間に2回するとき：⏻ボタンで電源を入れてください。それでも電源が入らない場合は、お客様相談センターにご相談ください。 	13
ディスプレイコントローラーで本体を操作できない	<ul style="list-style-type: none"> 本体とディスプレイコントローラーが正しく接続されていることをご確認ください。 	21
	<ul style="list-style-type: none"> 正しくペアリングされていない可能性があります。ペアリングし直してください。 	25
	<ul style="list-style-type: none"> 「接続ディスプレイリスト」をご確認ください。ご使用のディスプレイがリストに表示されていない場合は、ディスプレイコントローラーに認識されていません。ネットワーク設定とネットワーク環境をご確認ください。 	68 69
希望の画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> 入力信号に合わせて、「チャンネル設定」の各項目を適切に設定してください。 	53
4K Inputのときに、表示されないエリアがある	<ul style="list-style-type: none"> 信号が入力されていない可能性があります。インターフェース部にある表示エリアアイコンで、入力のエリアと信号ケーブルが正しく接続されているかをご確認ください。 	19
	<ul style="list-style-type: none"> 端子ごとに異なる解像度、周波数の信号が入力されている可能性があります。信号をご確認ください。 	72
画面が明るすぎる／暗すぎる	<ul style="list-style-type: none"> OSDメニューの「コントラスト」で調整してください。 液晶ディスプレイのバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになった場合には、お客様相談センターにご相談ください。 	43
焼き付きが現れる	<ul style="list-style-type: none"> この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間使用することを極力避けることをお勧めします。 	—
画面に点灯しないドットがある、または赤、青、緑、白のドットがある	<ul style="list-style-type: none"> 液晶ディスプレイは、非常に精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、黒い点があらわれたり、赤や青、緑の点が常時点灯することがあります。これは、故障ではありません。 	—
画面上に干渉縞が見られる／液晶パネルを押しただけで消えない	<ul style="list-style-type: none"> 画面全体に白い画像または黒い画像を表示してください。症状が解消されることがあります。 	—
OSDメニューが操作できない	<ul style="list-style-type: none"> 「設定プロテクト」が設定されていないことをご確認ください。 	69

症状	原因と対処	
「アスペクトマーカ―」、「セーフティゾーンマーカ―」または「エリアマーカ―」が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> • 無信号、非対応信号、または「入力設定」が設定されていないチャンネルを選択している可能性があります。信号をご確認ください。 	72
	<ul style="list-style-type: none"> • 「Hディレイ」または「Vディレイ」が「オン」になっています。「オフ」に設定してください。 • 「ピーキング1」または「ピーキング2」が選択されている場合は表示できません。「オフ」に設定してください。 	63、67 68
「設定プロテクト」のパスワードを忘れた	<ul style="list-style-type: none"> • 本機がスタンバイ状態のとき、本体のF1ボタンとOボタンを押してください。パスワードが未設定状態にリセットされます。 	13
電源を入れたとき、前回電源を切ったときの状態で起動しない	<ul style="list-style-type: none"> • OSDメニューの「パワーオン設定」をご確認ください。「ラストメモリー」に設定すると、前回電源を切ったときの状態で起動します。 	70
「ピクチャーモード」のUserモードの画質がプリセットの画質と異なる	<ul style="list-style-type: none"> • 「ピクチャーモードコピー」でプリセットモードを選択し、設定内容をコピーしてください。 	50

保証書と修理対応

本機の保証は日本国内を対象としています。万一、海外で故障した場合の現地での修理対応はご容赦ください。

■保証書

本体には保証書が添付されています。必要事項が記入されていることをお確かめのうえ、大切に保管してください。

■修理対応

製品の保証について

- 使用説明書、本体注意ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間中に本製品が万一故障した場合は、保証書を製品に添付のうえ当該保証期間内に弊社修理受付窓口、またはお買い上げ店までご持参あるいはお送りいただければ、無料で修理いたします。この場合の交通費、送料および諸掛かりはお客様のご負担となります。また、お買い上げ店と弊社間の運賃諸掛りにつきましても、一部ご負担いただく場合があります。
- 保証期間内でも保証の対象にならない場合もあります。詳しくは保証書に記載されている保証内容をご覧ください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。
- 保証期間経過後の修理は有料となります。
- 本製品の故障または本製品の使用によって生じた直接、間接の損害および付随的損害については、弊社ではその責任を負いかねますのでご了承ください。

修理を依頼されるときは

故障内容を明確にご指示ください。また、修理品を送付される場合は十分な梱包でお送りください。

修理対応期間について

ディスプレイの修理対応期間は、製造打ち切り後8年です。なお、弊社の判断により保守サービスとして同一機種への本機交換を実施させていただく場合があります。その場合、旧製品でご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことがあります。

修理料金について

- 故障した製品を正常に修復するための技術料と修理に使用する部品代との合計金額からなります。
- 窓口で現品を拝見させていただいてから概算をお知らせいたします。なお、お電話での修理見積依頼につきましては、おおよその仮見積になりますので、その旨ご承知おきください。本機の保証は日本国内を対象としています。万一、海外で故障した場合の現地での修理対応はご容赦ください。

修理について

■修理に出すまえに

ご自身で変更した各種設定については、修理の前に必ずUSBメモリーにバックアップしてください(☎70)。なお、修理によって設定がリセットされた場合の補償についてはご容赦ください。

■修理のお問い合わせは

キヤノンお客様相談センター

050-555-90006 (全国共通)

平日：9:00～17:00

土日祝日と年末年始、弊社休業日はお休みさせていただきます。電話番号はよくご確認の上、おかけ間違いのないようお願いいたします。

- 購入年月日、製品の型名、故障内容を明確にお伝えください。不具合内容を確認の上、修理方法をご案内いたします。
- 修理を承る窓口をご案内いたします。
- 修理品の引き渡し方法(宅配便発送)やお届けについてご案内いたします。

本機で使用しているソフトウェアについて

本機に組み込まれているソフトウェアは、当社または第三者のソフトウェアモジュールが含まれています。

当社開発ソフトウェアとフリーソフトウェア

当社が開発または作成したソフトウェアおよび付帯するドキュメント類には当社の著作権が存在し、著作権法、国際条約条項およびその他の準拠法によって保護されています。

また本機は、第三者が著作権を所有しフリーソフトウェアとして配布されているソフトウェアモジュールを使用しています。それらの中には、GNU General Public License v2(以下、GPL)、GNU Lesser General Public License v2.1(以下、LGPL)またはその他のライセンス契約の適用を受けるソフトウェアモジュールが含まれています。

フリーソフトウェアのソースコードの入手方法

フリーソフトウェアには、実行形式のソフトウェアモジュールを配布する条件として、そのモジュールのソースコードの入手を可能にすることを求めるものがあります。こうしたフリーソフトウェアのソースコードの入手方法ならびにGPL、LGPL、およびその他のライセンス契約の確認方法については、製品をお買い上げいただいた販売会社にお問い合わせください。

本機には以下のフリーソフトウェアモジュールが組み込まれています。

- linux kernel
- SquashFS
- avahi-autoipd
- busybox
- FUSE
- libxml
- glibc
- libfuse
- zlib
- JFFS2
- libupnp
- libpng

本機で使用しているソフトウェアのライセンス表示

ライセンス表示の義務

本機に組み込まれているソフトウェアモジュールには、その著作権者がライセンス表示を義務付けているものがあります。そのライセンス表示を、以下に提示します。

■libupnp License

Copyright (c) 2000-2003 Intel Corporation All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * Neither name of Intel Corporation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL INTEL OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR

PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■libxml License

Copyright (C) 1998-2003 Daniel Veillard. All Rights Reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE DANIEL VEILLARD BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of Daniel Veillard shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from him.

索引

番号	
3G/HD-SDI	14、19
4K Input	53
5 Step(テストパターン)	67
200%(スクリーンスケール)	55
2020 ガマットマッピング	49

A	
ACESproxy	43
Adobe RGB	43

C	
Canon Log、Canon Log 2、Canon Log 3	45
CDL/User LUTバイパス	48
CDLエクスポート/インポート	36、48
Cinema Gamut to 709	44
Cinema Gamut to 2020	44
Cinema Gamut to DCI	44

D	
DCI-P3	43
DCI-P3+ to 709	44
DCI-P3+ to DCI	44
DisplayPort	14、20
Dual Link HD-SDI	14、19

E	
EBU	43

G	
Gamma LUT	45
Gamut LUT	44

H	
HD-SDI	14、19
Hybrid Log-Gamma System	49
Hybrid Log-Gamma Y/RGB	46
Hディレイ	67

I	
IPアドレス取得	68
I/PsF	56
I/P変換	56
ITU-R BT.709	43
ITU-R BT.1886	45
ITU-R BT.2020	43

L	
LAN	14、21
LTC	64
LUTインポート	34、49

M	
MACアドレス	72

N	
Native Input Resolution (スクリーンスケール)	55

O	
Offset	27、48
OSD一時消去	71
OSDサイズ	67
OSDポジション	67
OSDメニュー	30、38
Output Transform	47
Output Transform Surround	47

P	
PLUGE(テストパターン)	67
Power	27、48
PsF	56

R	
Ramp(テストパターン)	67

S	
Saturation	27、48
Single Input	53
Slope	27、48
SMPTE-C	43

U	
USB	14、33、34
User 1-7	43
User LUT	48

V	
VITC	64
Vディレイ	67

Y	
YCbCR カラーマトリクス	49

ア	
アスペクトマーカ	58
色温度	44
インターナルシンク	53
エクスポート/インポート	35、70
エリアマーカ	61

カ	
各種ファンクション(ファンクション設定)	67

画質設定	43
画質設定アンカー	28、50
画質設定リセット	50
画質優先	56
カスタム(xy) (色温度)	44
カラーガマット	44
カラーバー(テストパターン)	67
カラーレンジ	47、54
ガンマ	45
キャリブレーション	33、50
グリーンオフ	67
グリーン(テストパターン)	67
グリッドマーカー	62
グレー(20%) (テストパターン)	67
グローバルディミング	43
クロマ	27、43
ゲインR/G/B	44
言語	68
互換設定	69
コントラスト	27、43
コントローラーチャンネル	69
コントローラーファンクション	68

サ

サブネットマスク	68
シェプトレース	56
シグナルインフォメーション	72
システムインフォメーション	72
システム設定	68
シャープネス	27、43
詳細設定	
CDL	48
画質設定	49
使用時間	72
シリアルNo.	72
ズーム	55
スクリーンキャプチャー	63
スクリーンスケーリング	55
スケーリング法	56
セーフティゾーンマーカー1、2	59
設定種別	35、70
設定プロテクト	69
セレクトチャンネル	53
全設定リセット	70
センターマーカー	62
速度優先	56

タ

タイムコード	64
チャンネルアップ/チャンネルダウン	68
チャンネル設定	53
チャンネル名	37、53
ツマミ操作ロック	69

ディスプレイ設定	55
ディスプレイファンクション	68
ディスプレイ名	37、69
テストパターン	67
電源ランプ 明るさ	69

ナ

ニアレストネイバー	56
日時	36、69
入力信号選択	53
入力設定	53
ネットワーク	68

ハ

バイアスR/G/B	44
バイキュービック	56
波形モニター	65
パスワード	69
バックグラウンドカラー	56
バックライトコントロール	43
バックライトスキャン	67
バナー自動表示	67
パワーオン設定	70
ピーキング	63
ピクチャーモード	43
ファームウェアVer.	72
ファンクションガイド	67
ファンクション設定	63
フィルムケイデンス	57
フォーマット	53
フォルスカラー	63
ブライトネス	27、43
ブラック(テストパターン)	67
ブラックレベルコントロール	67
ブルーオフ	67
ブルーオンリー	67
ブルー(テストパターン)	67
フレームホールド	56、63
ベクトルスコープ	66
ホワイト(テストパターン)	67

マ

マーカー設定	58
マーカープリセット	58
モノクロ	67

ラ

ルミナンス	50
レッドオフ	67
レッド(テストパターン)	67
ローカルディミング	43

製品の取り扱い方法に関するご相談窓口

キヤノンお客様相談センター

050-555-90006(全国共通)

平日：9:00～17:00

※土日祝日と年末年始、弊社休業日は休ませていただきます。

※上記番号をご利用いただけない方は、03-5428-1208にお問い合わせください。

※上記番号はIP電話プロバイダーのサービスによってはつながらないことがあります。

キヤノン 動画ディスプレイホームページ

動画ディスプレイホームページを開設しています。

最新の情報が掲載されていますので、インターネットをご利用の方はぜひお立ち寄りください。

キヤノン 動画ディスプレイ製品情報

canon.jp/v-display

キヤノン サポートページ

canon.jp/support

■保証書は必ず「購入店・購入日」などの記入を確かめて、購入店よりお受け取りください。

■本書の記載内容は、2016年5月現在のものです。

製品の仕様および外観は予告なく変更することがあります。ご了承ください。最新の情報および説明書については、キヤノンのホームページなどでご確認ください。

キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6